

令和2年度

出会いから結婚・子育てまでの
切れ目ない支援のための
県民意識調査報告書

高 知 県

I 調査の設計

1. 調査の目的

この調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない支援を推進していくうえでの基礎資料とさせていただくことを目的として行うものです。

2. 調査の事項

(1) 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について

高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか

(2) 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて

『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために特に力を入れるべき施策／高知県が少子化対策の取り組みとして行っている事業の認知度及び関心度／高知県の少子化対策や取組について行っている情報発信の取り組みを知っているか

(3) 出会い・結婚について

結婚についての考え方／交際状況について／交際相手と知り合ったきっかけ／交際相手との出会いを求めるときに行いたいこと／将来結婚をしたいか／結婚をしていない理由／適当な相手にまだめぐり会わない理由／出会いや結婚に関する行政の支援で必要なこと

(4) 子育てについて

理想的な子どもの数／実際に持ちたいと思う子どもの数／理想の数だけ子どもを持たない理由／理想の数だけ子どもを持つために必要な環境／働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な制度、仕組みとは

(5) 三世代同居・近居について

自分又は配偶者（パートナー）の親との同居・近居の有無／同居・近居したきっかけ／出産後の住まいについて／自分又は配偶者（パートナー）の親と近居・同居できていない理由／親と同居・近居するメリット

3. 調査の対象

高知県内全域の18歳以上39歳以下の県民4,000人

(各市町村の「選挙人名簿」より抽出)

4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

5. 調査の方法

郵送法

6. 調査の期間

令和2年8月24日（月）～9月7日（月）までの14日間

7. 実査および集計

株式会社 トミーコーポレーション

8. 調査票配布数と回収状況

配 布 数 4, 0 0 0 票

有効回収数 1, 3 8 6 人（有効回収率 3 4. 7 %）

Ⅱ 調査結果の見方

1. 「Ⅴ 調査結果〔解説・グラフ〕」は「Ⅵ 調査結果〔統計表〕」に基づき、要点のみを記述してあるので、「Ⅵ 調査結果〔統計表〕」をあわせて参照すること。
2. 「Ⅵ 調査結果〔統計表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（％）算出の基礎となっている。
3. 「Ⅵ 調査結果〔統計表〕」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率（％）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4. 質問への回答方法は「1つだけ○印」、「3つまで○印」、「あてはまるもの全てに○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 設問によっては、該当者の人数を母数として回答率を算出した。

6. 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）及び回答者別（質問間クロス）で分析した。

F1	性	別	…	男性、女性、その他の3種類に分類					
F2	年	代	別	… 18歳～24歳、25歳～29歳、30歳～34歳、35歳～39歳の4階層に分類					
F3	職	業	別	… 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦・主夫、学生、無職、その他の12種類に分類					
F4	詳	細	職	業	別	… 雇用者（正規の職員・従業員）、雇用者（労働者派遣事業所の派遣社員）、雇用者（パート、アルバイト）、雇用者（契約社員、嘱託）、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者（自家営業の手伝い）、家庭内職者、無職（主婦、主夫、学生を含む）、その他の10種類に分類			
F5	世	帯	別	… 単身世帯（一人住まい）、夫婦（事実婚を含む）のみの世帯、親と子の世帯（二世帯世帯）、三世帯世帯（親、子、孫の世帯）、その他の5種類に分類					
F6	結	婚	の	有	無	… 結婚している（事実婚を含む）、結婚したことはない、離別・死別の3種類に分類			
F7	夫	婦	共	働	き	の	有	無	… はい、いいえの別
F8	お	子	さ	ん	の	数	別	… 子どもなし、1人、2人、3人、4人、5人以上の6種類に分類	

- F9 末子の子どもの状況別 … 未就学児、小学生、中学生以上の3種類に分類
- F10 広域市町村圏別 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類

※ 対象者の職業別、広域市町村圏別は次のとおりである。

◆職業別

農 林 業	}	(主婦の場合は家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間を比較して多い方を選択)
漁 業		
商工サービス業自営		(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事 務 職		(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、管理者以上を除く)
技 術 職		(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、管理者以上を除く)
労 務 職		(現場従業員、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管 理 職		(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自 由 業		(医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など)
主 婦・主 夫		(家庭内の仕事が一日で最も多い場合)
学 生		(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無 職		(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
そ の 他		(上のいずれにも属さないもの)

◆広域市町村圏別

高 知 市	
安 芸 広 域 圏	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村馬路村、芸西村
南国・香美広域圏	南国市、香南市、香美市
嶺 北 広 域 圏	本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁 淀 川 広 域 圏	土佐市、いの町、日高村
高 吾 北 広 域 圏	佐川町、越知町、仁淀川町
高 幡 広 域 圏	須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡 多 広 域 圏	宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

Ⅲ 調査対象者の特性

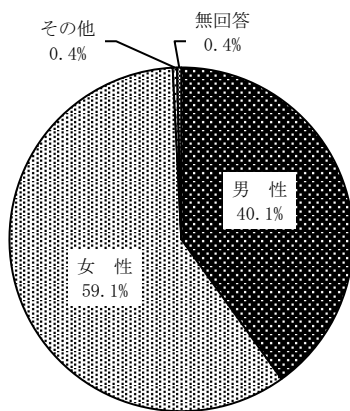
※構成比は小数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合もある。

1. 広域市町村圏別の配布・回収状況

広域市町村圏	配布数（人）	有効回収状況		
		回答数（人）	回収率（%）	構成比（%）
高知市	1,825	680	37.3	49.1
安芸広域圏	273	82	30.0	5.9
南国・香美広域圏	594	191	32.2	13.8
嶺北広域圏	66	24	36.4	1.7
仁淀川広域圏	310	98	31.6	7.1
高吾北広域圏	135	34	25.2	2.5
高幡広域圏	311	99	31.8	7.1
幡多広域圏	486	143	29.4	10.3
無回答		35		2.5
合 計	4,000	1,386	34.7	100.0

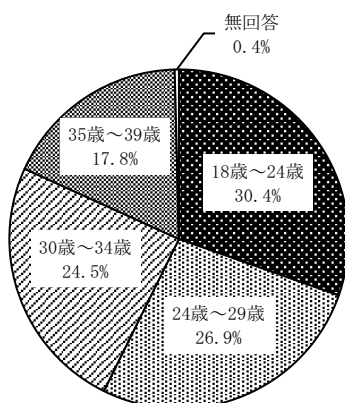
2. 対象者の特性

F 1 性別



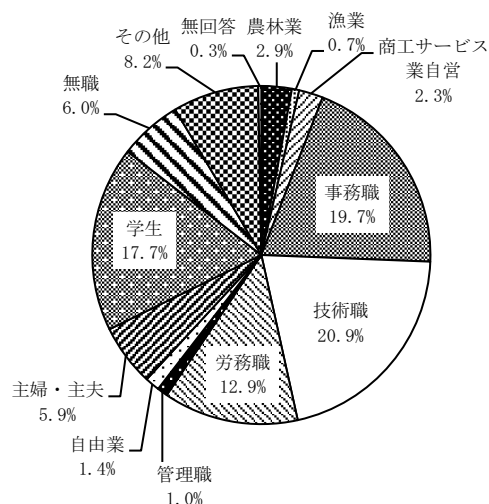
区 分	回答数（人）	構成比（%）
男 性	556	40.1%
女 性	819	59.1%
その他	5	0.4%
無回答	6	0.4%
合 計	1,386	100.0%

F 2 年代別



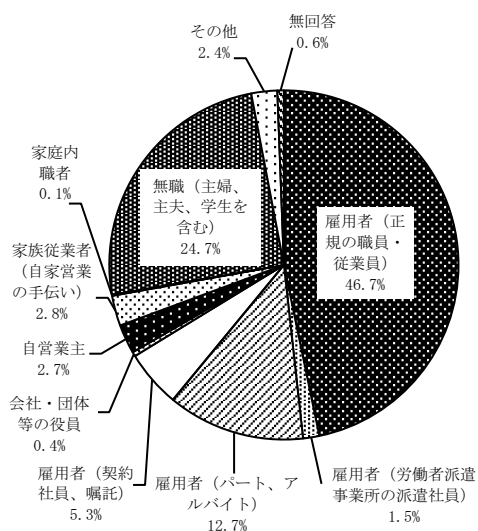
区 分	回答数（人）	構成比（%）
18歳～24歳	422	30.4%
25歳～29歳	373	26.9%
30歳～34歳	339	24.5%
35歳～39歳	247	17.8%
無回答	5	0.4%
合 計	1,386	100.0%

F 3 職業別



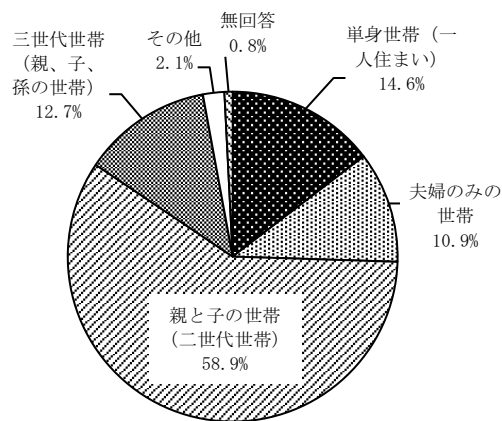
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	40	2.9%
漁 業	10	0.7%
商工サービス業	32	2.3%
事務職	273	19.7%
技術職	290	20.9%
労務職	179	12.9%
管理職	14	1.0%
自由業	19	1.4%
主婦・主夫	82	5.9%
学 生	246	17.7%
無 職	83	6.0%
その他	114	8.2%
無回答	4	0.3%
合 計	1,386	100.0%

F 4 詳細職業別



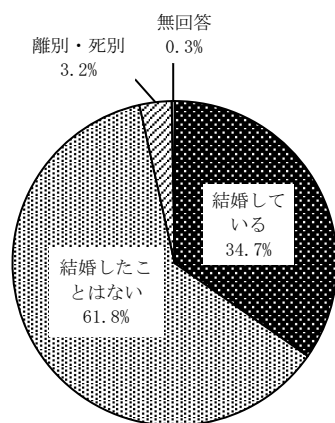
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
雇用者（正規の職員・従業員）	647	46.7%
雇用者（労働者派遣事業所の派遣社員）	21	1.5%
雇用者（パート、アルバイト）	176	12.7%
雇用者（契約社員、嘱託）	74	5.3%
会社・団体等の役員	6	0.4%
自営業主	37	2.7%
家族従業者（自家営業の手伝い）	39	2.8%
家庭内職者	2	0.1%
無職（主婦、主夫、学生を含む）	342	24.7%
その他	33	2.4%
無回答	9	0.6%
合 計	1,386	100.0%

F 5 世帯別



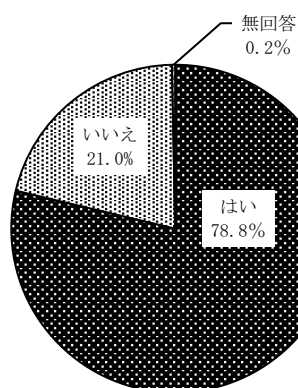
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
単身世帯 (一人住まい)	202	14.6%
夫婦のみの世帯	151	10.9%
親と子の世帯 (二世世代世帯)	817	58.9%
三世世代世帯 (親、子、孫の世帯)	176	12.7%
その他	29	2.1%
無回答	11	0.8%
合 計	1,386	100.0%

F 6 結婚の有無



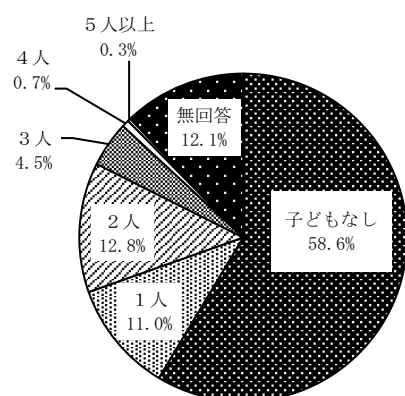
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
結婚している (事実婚を含む)	481	34.7%
結婚したことはない	857	61.8%
離別・死別	44	3.2%
無回答	4	0.3%
合 計	1,386	100.0%

F 7 夫婦共働きの有無



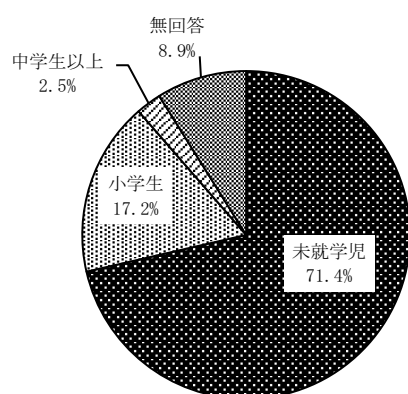
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
はい	379	78.8%
いいえ	101	21.0%
無回答	1	0.2%
合 計	481	100.0%

F 8 お子さんの数別



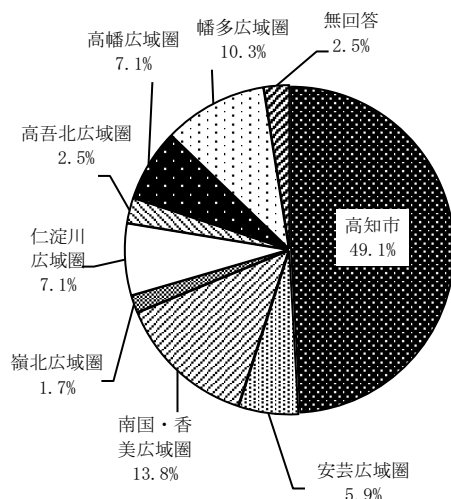
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
子どもなし	812	58.6%
1人	152	11.0%
2人	177	12.8%
3人	63	4.5%
4人	10	0.7%
5人以上	4	0.3%
無回答	168	12.1%
合 計	1,386	100.0%

F 9 末子の子どもの状況別



区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
未就学児	290	71.4%
小学生	70	17.2%
中学生以上	10	2.5%
無回答	36	8.9%
合 計	406	100.0%

F 10 広域市町村圏別



区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
高知市	680	49.1%
安芸広域圏	82	5.9%
南国・香美広域圏	191	13.8%
嶺北広域圏	24	1.7%
仁淀川広域圏	98	7.1%
高吾北広域圏	34	2.5%
高幡広域圏	99	7.1%
幡多広域圏	143	10.3%
無回答	35	2.5%
合 計	1,386	100.0%

IV 調査結果のあらまし

【1. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について】

問1 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか

「どちらともいえない」が38.8%と最も高く、次いで「ややそう思う」23.7%、「あまりそう思わない」20.6%が続いている。

【2. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて】

問2 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために、特に力を入れるべき施策

「ワークライフバランスの推進」が56.0%と最も高く、次いで「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」55.8%、「保育サービス等の子育て支援策の充実」50.3%が続いている。

問3 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている事業の認知度および関心度

1. 高知県少子化対策推進県民会議

「関心がない」が53.4%と最も高く、次いで「関心がある」24.2%、「活用したことがない：関心がない」14.4%が続いている。

2. 高知家の出会い・結婚・子育て応援団

「関心がない」が38.6%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」22.6%、「関心がある」21.0%が続いている。

3. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー

「関心がない」が42.6%と最も高く、次いで「関心がある」23.9%、「活用したことがない：関心がない」19.0%が続いている。

4. 高知で恋しよ！！応援サイト

「関心がない」が52.4%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」20.9%、「関心がある」11.9%が続いている。

5. 高知で恋しよ！！マッチング（会員制のお引き合わせシステム）

「関心がない」が55.6%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」20.4%、「関心がある」12.0%と続いている。

6. 高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）

「関心がない」が51.4%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」21.4%、「関心がある」11.8%と続いている。

7. 婚活サポーター（サブサポーター）

「関心がない」が59.5%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」18.8%、「関心がある」13.1%と続いている。

8. こうち子育て応援の店

「関心がない」が41.8%と最も高く、次いで「関心がある」29.4%、「活用したことがない：関心がある」13.4%と続いている。

9. 高知の子育て応援サイト「こうちプレマnet」

「関心がない」が46.2%と最も高く、次いで「関心がある」28.3%、「活用したことがない：関心がある」11.0%と続いている。

問4 高知県の少子化対策や取組について行っている情報発信の取り組みを知っているか

「知らない」が61.3%と最も高く、「知っている」の24.3%より37ポイント高くなっている。

【3. 出会い・結婚について】

問5 結婚についての考え方

「無理してしなくても良い」が44.2%と最も高く、次いで「できればしたほうが良い」41.4%、「必ずしたほうが良い」11.3%と続いている。

問6 交際状況について

「すでに結婚している」が34.8%と最も高く、次いで「現在交際している人はいない（かつてはいた）」28.6%、「現在交際している人はいない（まだ交際経験がない）」19.8%と続いている。

問7 交際相手と知り合ったきっかけ

「職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った」が29.5%と最も高く、次いで「学校で知り合った」21.8%、「友人や兄弟姉妹の紹介で知り合った」18.2%と続いている。

問8 交際相手との出会いを求めるときに行いたいこと

「特に何もしない」が37.9%と最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹に紹介を頼む」と「職場や仕事の関係で出会いを求める」が同率で27.4%、「学校・職場以外のサークルやクラブ活動に入ったり、習い事をはじめ」が23.7%と続いている。

問9 将来結婚をしたいか

「いずれは結婚を選択したいと思う」が50.0%で最も高く、次いで「結婚を選択する意思はない」12.6%、「2、3年以内には結婚を選択したいと思う」11.7%と続いている。

問10 結婚をしていない理由

「適当な相手にまだめぐり会わないから」が41.1%で最も高くなっている。次いで「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」26.3%、「安定した就労状況でないから」24.1%と続いている。

問11 適当な相手にまだめぐり会わない理由

「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が34.5%と最も高く、次いで「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」25.2%、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいらない」16.5%と続いている。

問12 出会いや結婚に関する行政の支援で必要なこと

「結婚生活を始める際の金銭的な支援（引っ越し費用や家賃への補助、祝金の支給など）」が46.5%と最も高く、次いで「出会いを直接の目的としない交流の場としてのイベントの実施への支援」39.5%、「出会いを目的としたイベントの実施への支援」29.5%と続いている。

【4. 子育てについて】

問13 理想的な子どもの人数

「2人」が49.7%と最も高く、次いで「3人」32.5%、「1人」6.9%と続いている。

問14 実際に持ちたいと思う子どもの人数

「2人」が53.8%と最も高く、次いで「3人」19.2%、「1人」13.4%と続いている。

問15 理想の数だけ子どもを持たない理由

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が79.3%で最も高く、次いで「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」33.1%、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられそうにないから」24.0%と続いている。

問16 理想の数だけ子どもを持つために必要な環境

「希望どおり産休や育休が取得できる」が48.8%と最も高く、次いで「保育園、幼稚園、認定こども園などへの入園の見通しが立っている」39.0%、「出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある」38.2%と続いている。

問17 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な制度、仕組みとは

「育児休業制度」が36.2%と最も高く、次いで「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」35.8%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」27.9%と続いている。

【5. 三世代同居・近居について】

問18 自分又は配偶者（パートナー）の親との同居・近居の有無

「現在、同居・近居していない」が37.4%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）の親と近居している」22.4%、「自分の親と近居している」17.7%と続いている。

問19 同居・近居したきっかけ

「結婚をきっかけに同居・近居した」が39.7%と最も高く、次いで「自宅又は親の住宅の新築・改築などをきっかけに同居・近居した」24.0%、「結婚前から引き続き同居している」13.9%と続いている。

問20 出産後の住まいについて

「特に希望はない」が31.0%と最も高く、次いで「自分の親と近居したい」29.8%、「同居も近居もしたいと思わない」12.5%と続いている。

問21 自分又は配偶者（パートナー）の親と近居・同居できていない理由

「自分又は配偶者（パートナー）の仕事の関係で同居や近居が困難である」が40.3%と最も高く、次いで「同居・近居のための住宅を用意することができない」32.5%、「子どもの教育の関係（学校や塾、習い事など）で同居や近居が困難である」10.4%と続いている。

問22 親と同居・近居するメリット

「親に家事・育児を手伝ってもらえる」が72.9%と最も高く、次いで「親の安否がすぐに確認できて安心である」41.7%、「衣食住における経済的な負担が軽くなる」31.8%と続いている。

V 調査結果

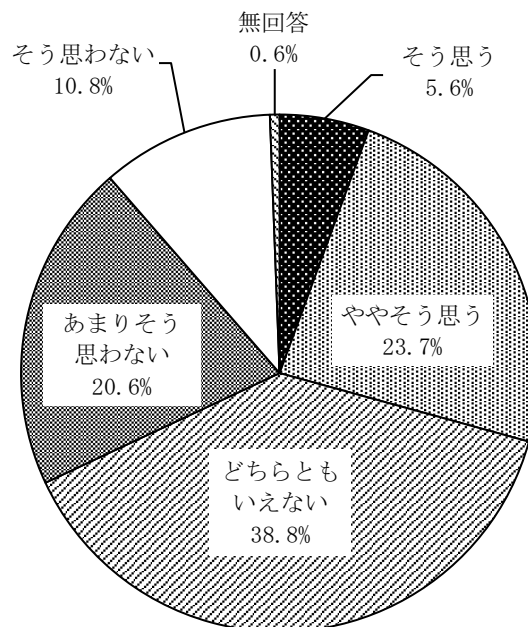
〔解説・グラフ〕

【１．「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について】

問１ あなたは、高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思いますか。（１つだけ○印）

「どちらともいえない」が38.8%と最も高く、次いで「ややそう思う」23.7%、「あまりそう思わない」20.6%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女とも「どちらともいえない」が最も高くなっている。

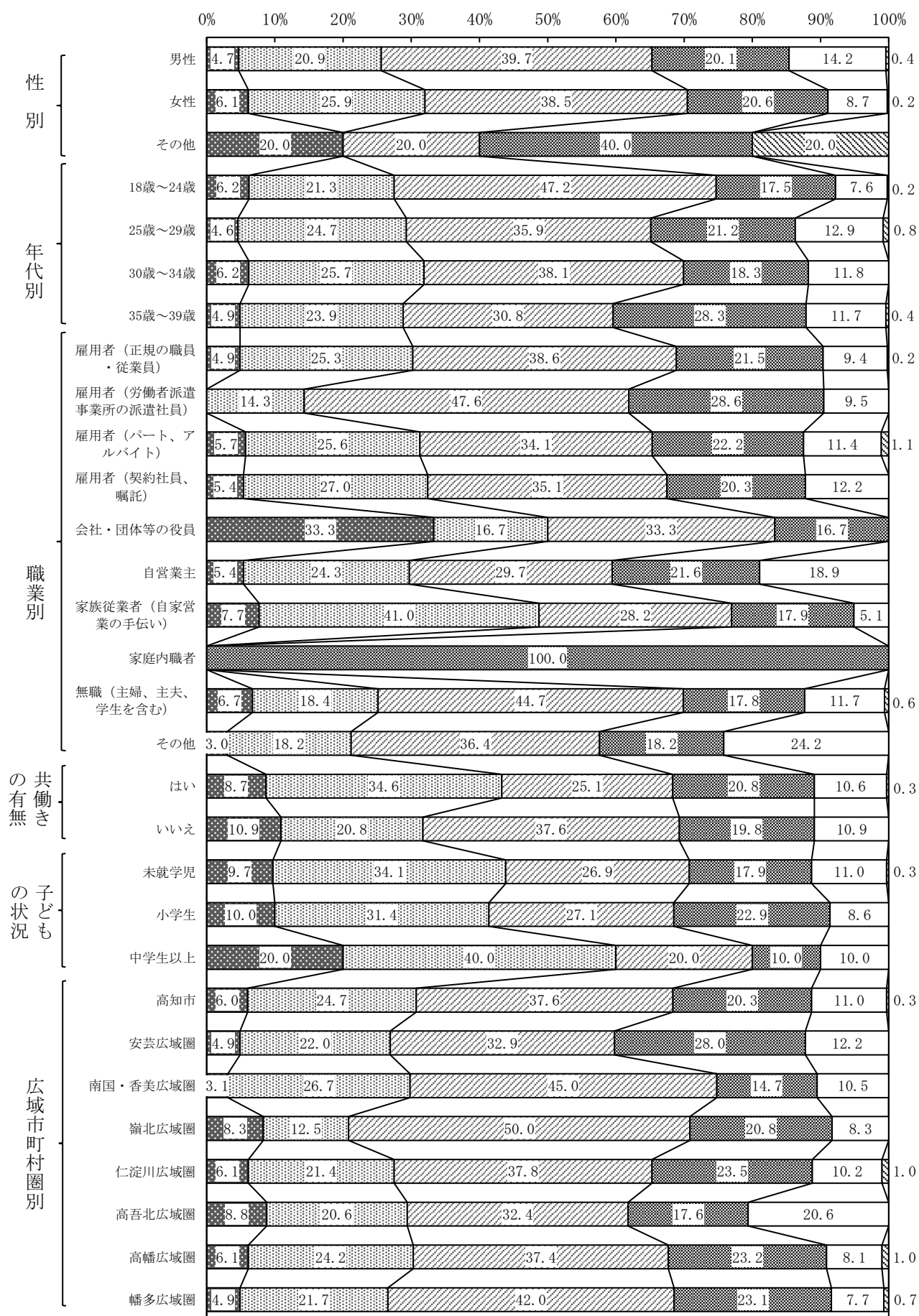
【年代別】

全ての年代で「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「どちらともいえない」が最も高くなっている。

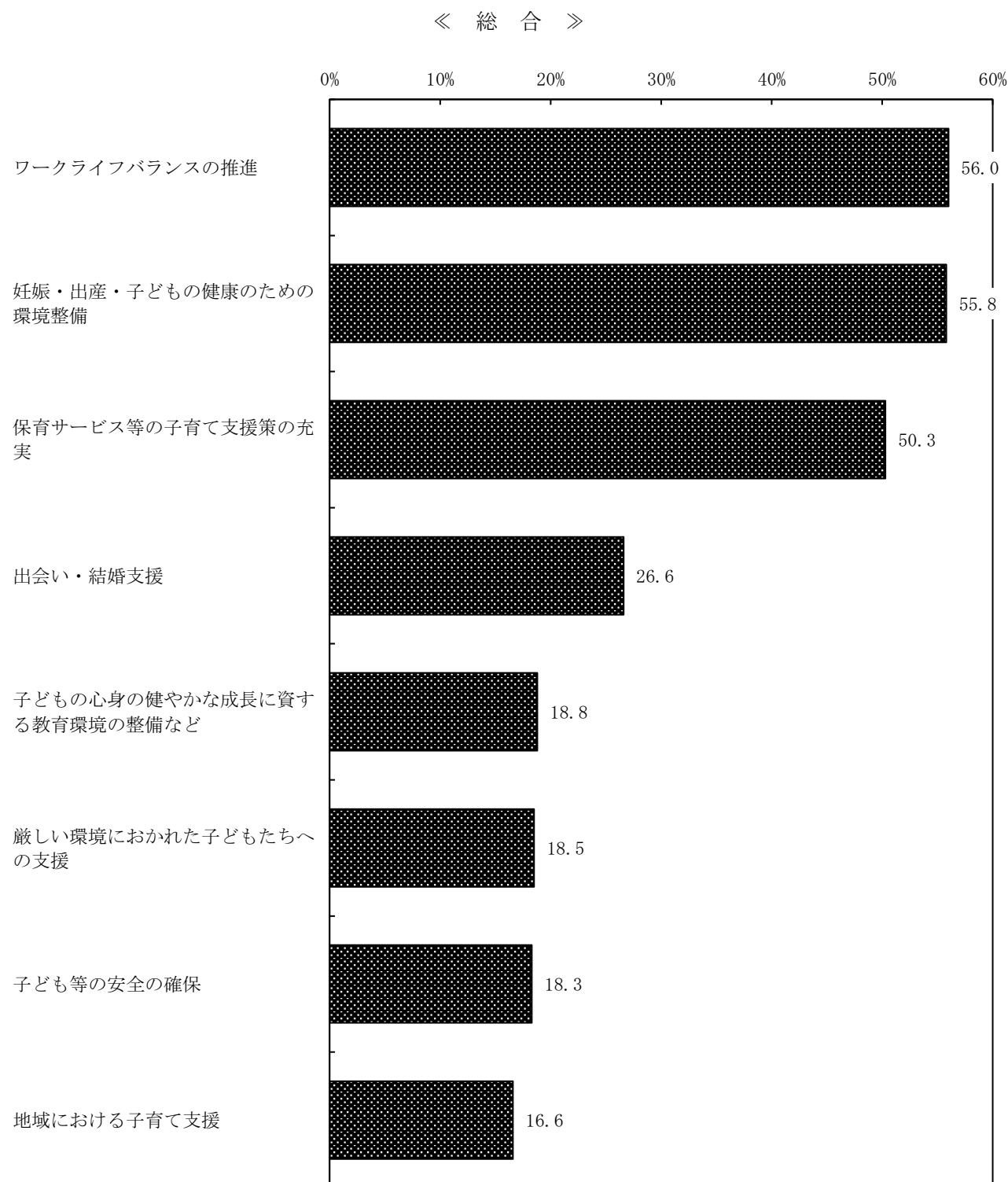
そう思う
 ややそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 そう思わない
 無回答



【2. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて】

問2 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために、特に力を入れるべき施策は何だと思いますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（3つまで○印）

「ワークライフバランスの推進」が56.0%と最も高く、次いで「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」55.8%、「保育サービス等の子育て支援策の充実」50.3%と続いている。

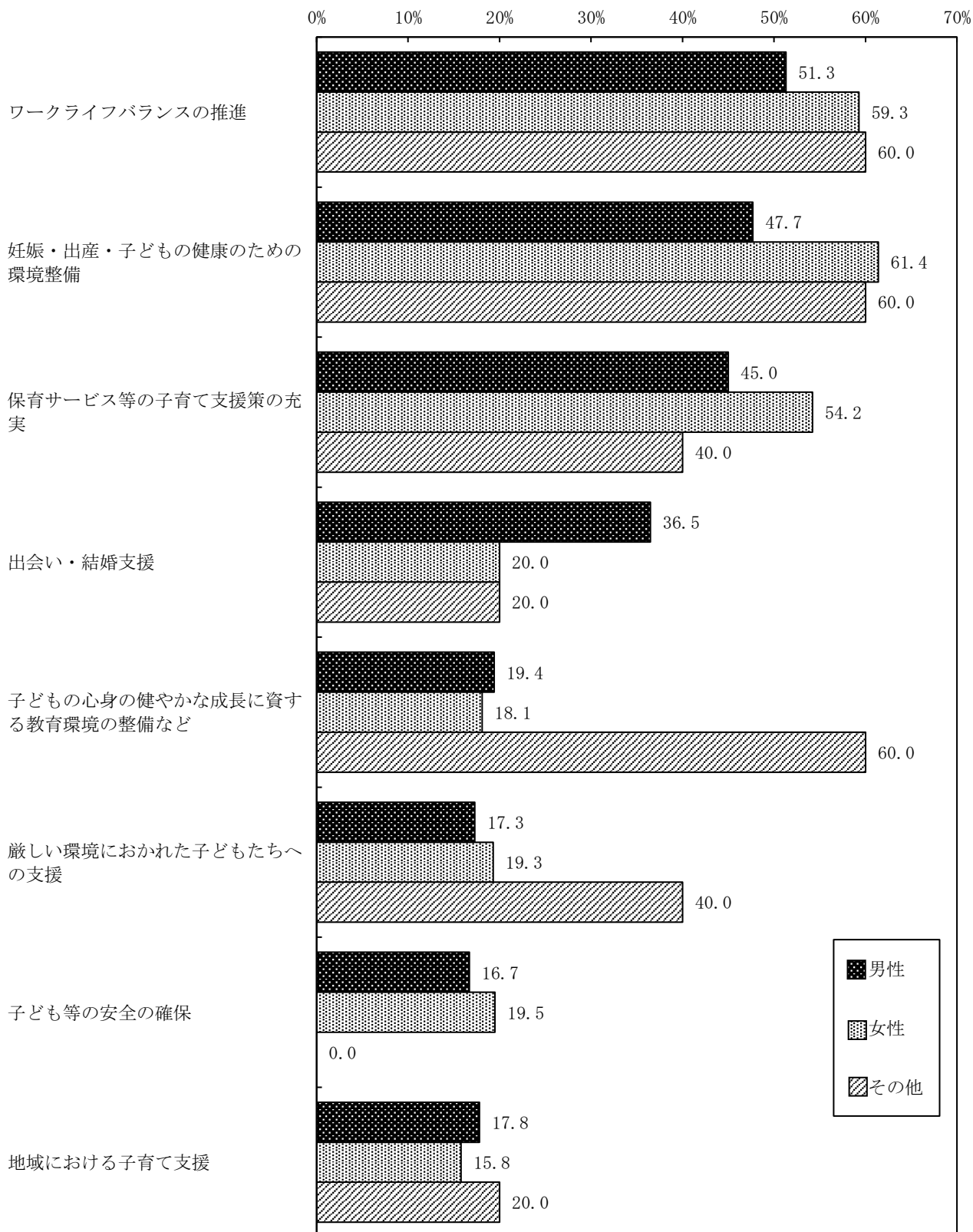


【性別】

男性では「ワークライフバランスの推進」が51.3%と最も高く、「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」47.7%、「保育サービス等の子育て支援策の充実」45.0%と続いている。

女性では「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」が61.4%と最も高く、「ワークライフバランスの推進」59.3%、「保育サービス等の子育て支援策の充実」54.2%と続いている。

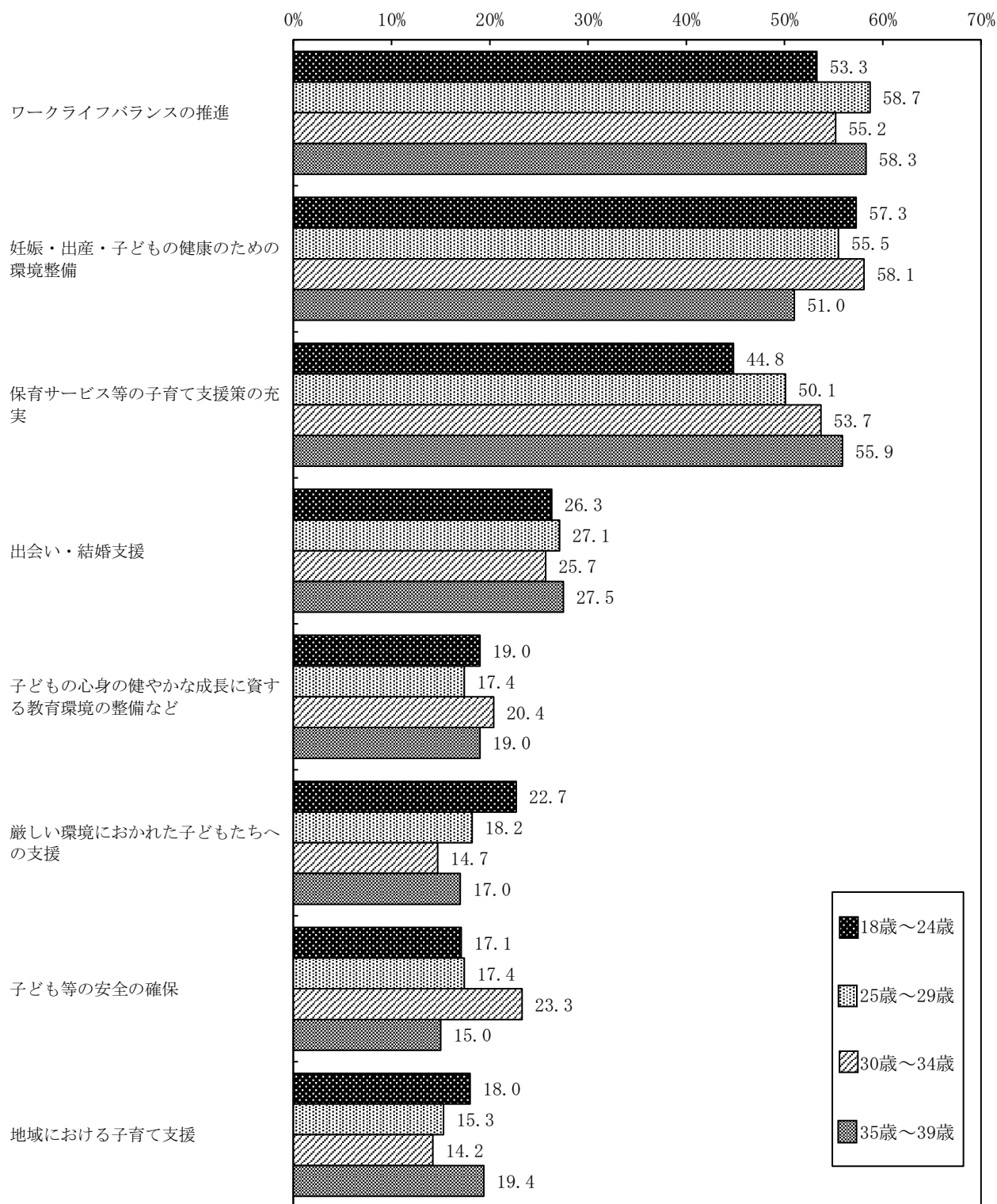
＜ 性 別 ＞



【年代別】

18歳～24歳と30歳～34歳では「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」が、25歳～29歳、35歳～39歳では「ワークライフバランスの推進」が最も高くなっている。

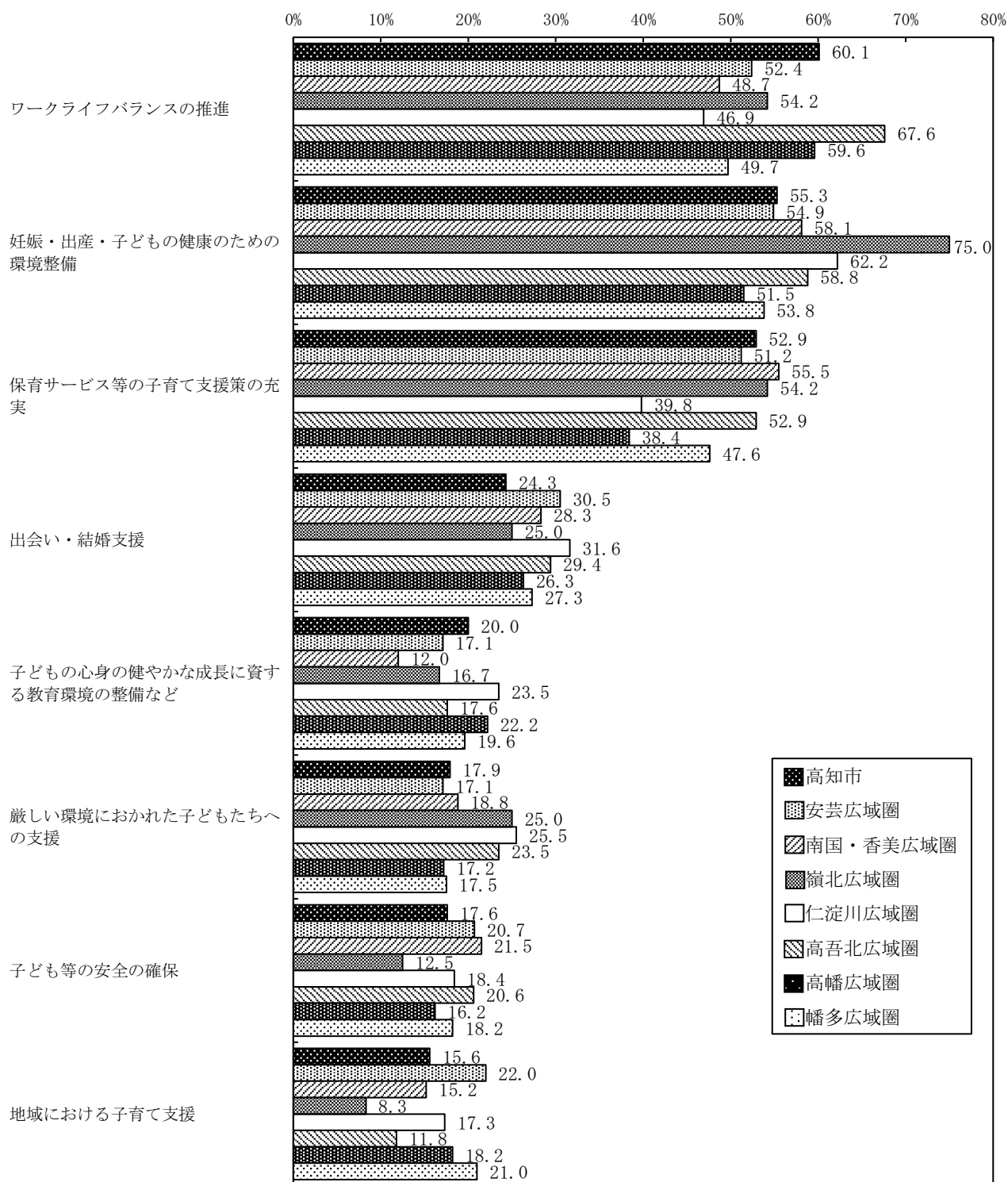
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

高知市、高吾北広域圏、高幡広域圏では「ワークライフバランスの推進」が、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」が最も高くなっている。

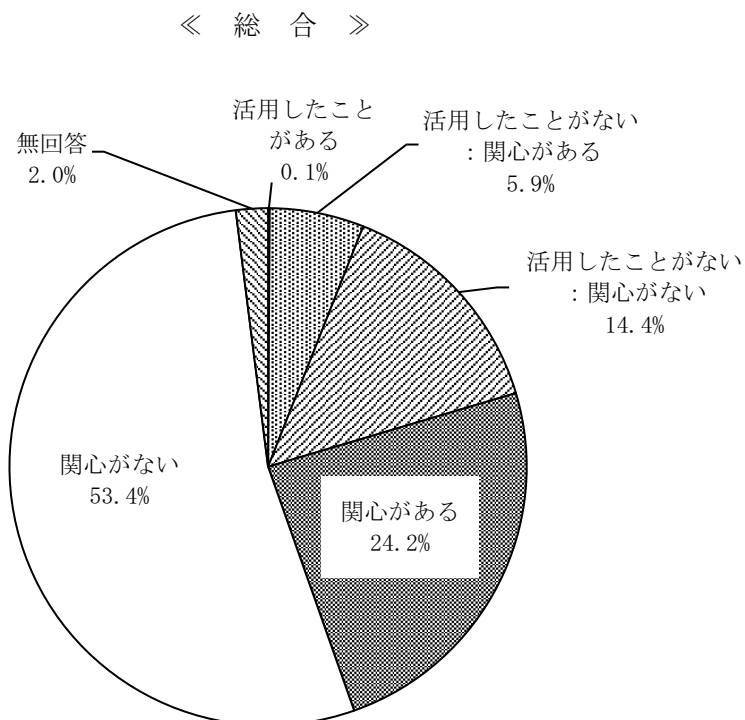
《広域市町村圏別》



問3 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている下記の事業について知っていますか。また、あなたの関心度はいかがですか。
各事業について、あなたの考えに近いものをお選びください。
(それぞれの項目であてはまるものに1つだけ○印)

1. 高知県少子化対策推進県民会議

「関心がない」が53.4%と最も高く、次いで「関心がある」24.2%、「活用したことがない：関心がない」14.4%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

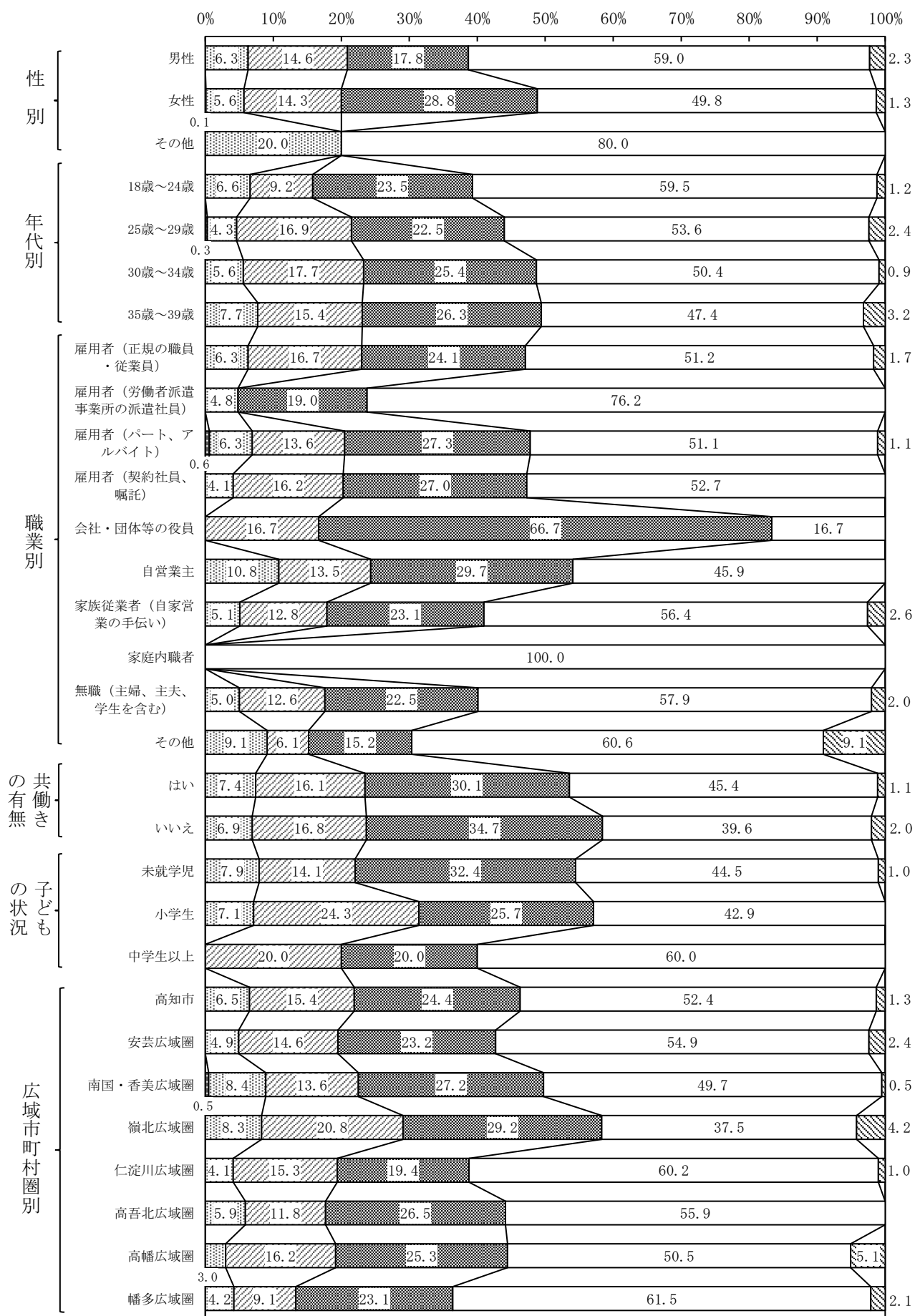
【年代別】

全ての年代で「関心がない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

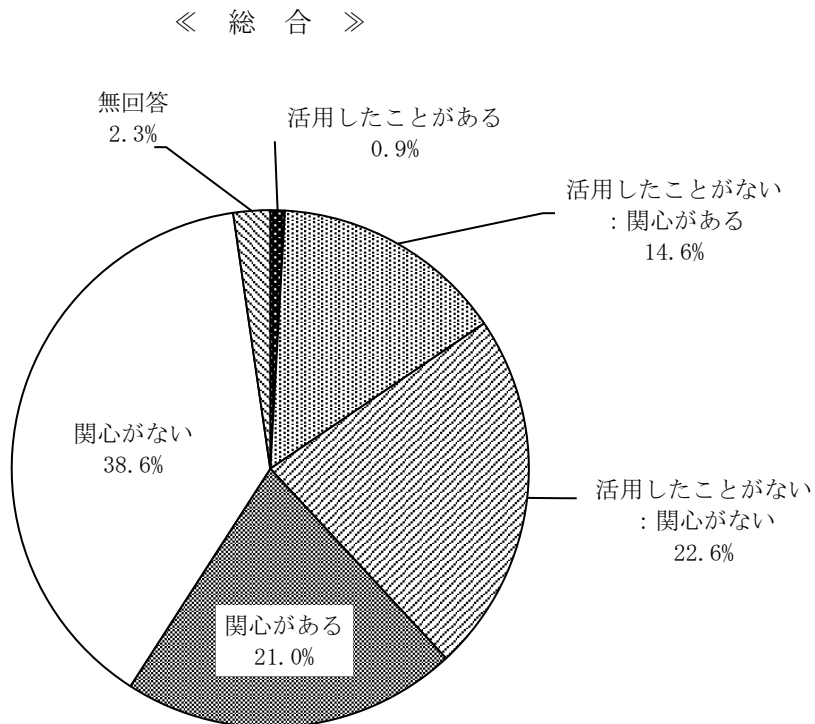
全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 活用したことがない
 活用したことがない
 関心がある
 関心がない
 無回答



2. 高知家の出会い・結婚・子育て応援団

「関心がない」が38.6%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」22.6%、「関心がある」21.0%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高く、男性では次いで「活用したことがない：関心がない」、「関心がある」と続いております、女性では「関心がある」、「活用したことがない：関心がない」と続いております。

【年代別】

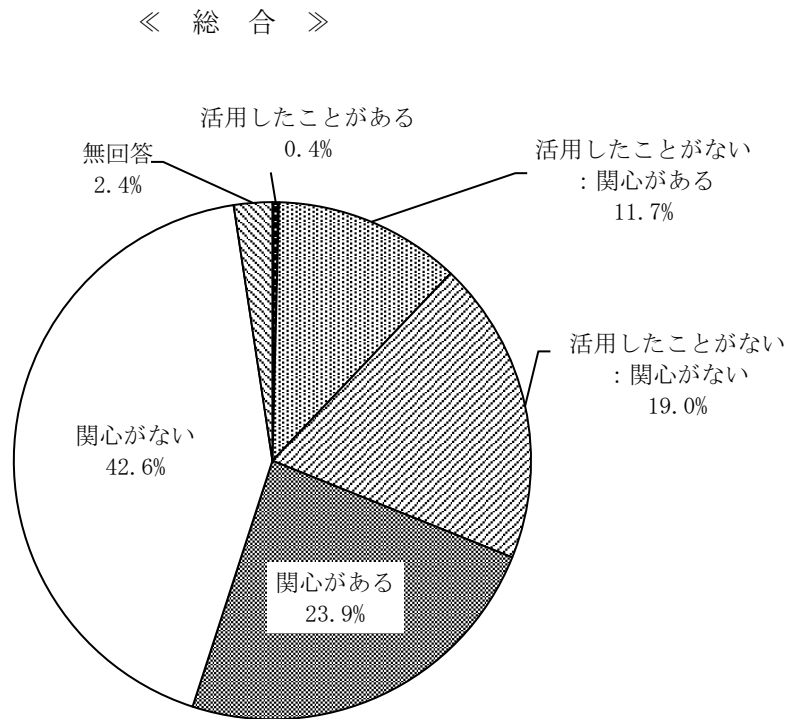
全ての年代で「関心がない」が最も高く、次いで18歳～24歳までを除く全ての年代で「活用したことがない：関心がない」、「関心がある」と続いております、18歳～24歳では「関心がある」、「活用したことがない：関心がない」と続いております。

【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっております。

3. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー

「関心がない」が42.6%と最も高く、次いで「関心がある」23.9%、「活用したことがない：関心がない」19.0%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

【年代別】

全ての年代で「関心がない」が最も高くなっている。

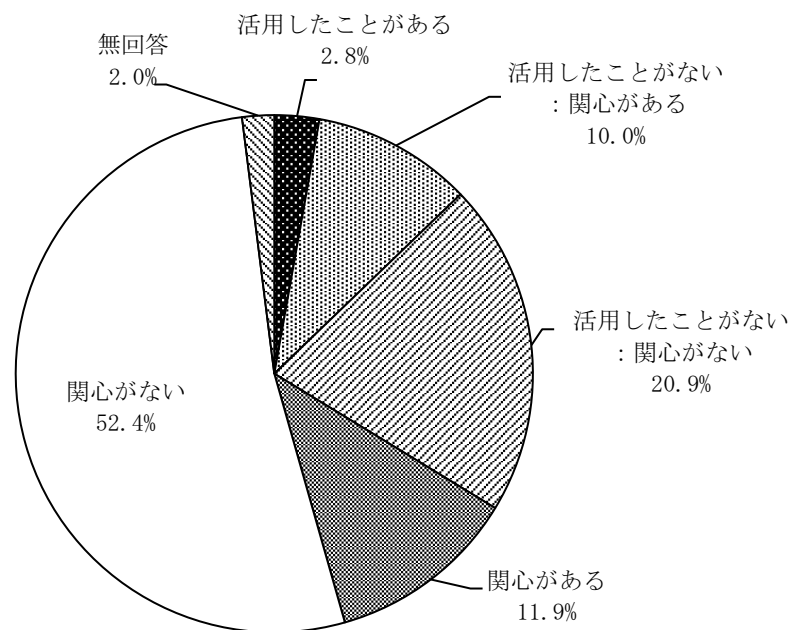
【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。

4. 高知で恋しよ！！応援サイト

「関心がない」が52.4%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」20.9%、「関心がある」11.9%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

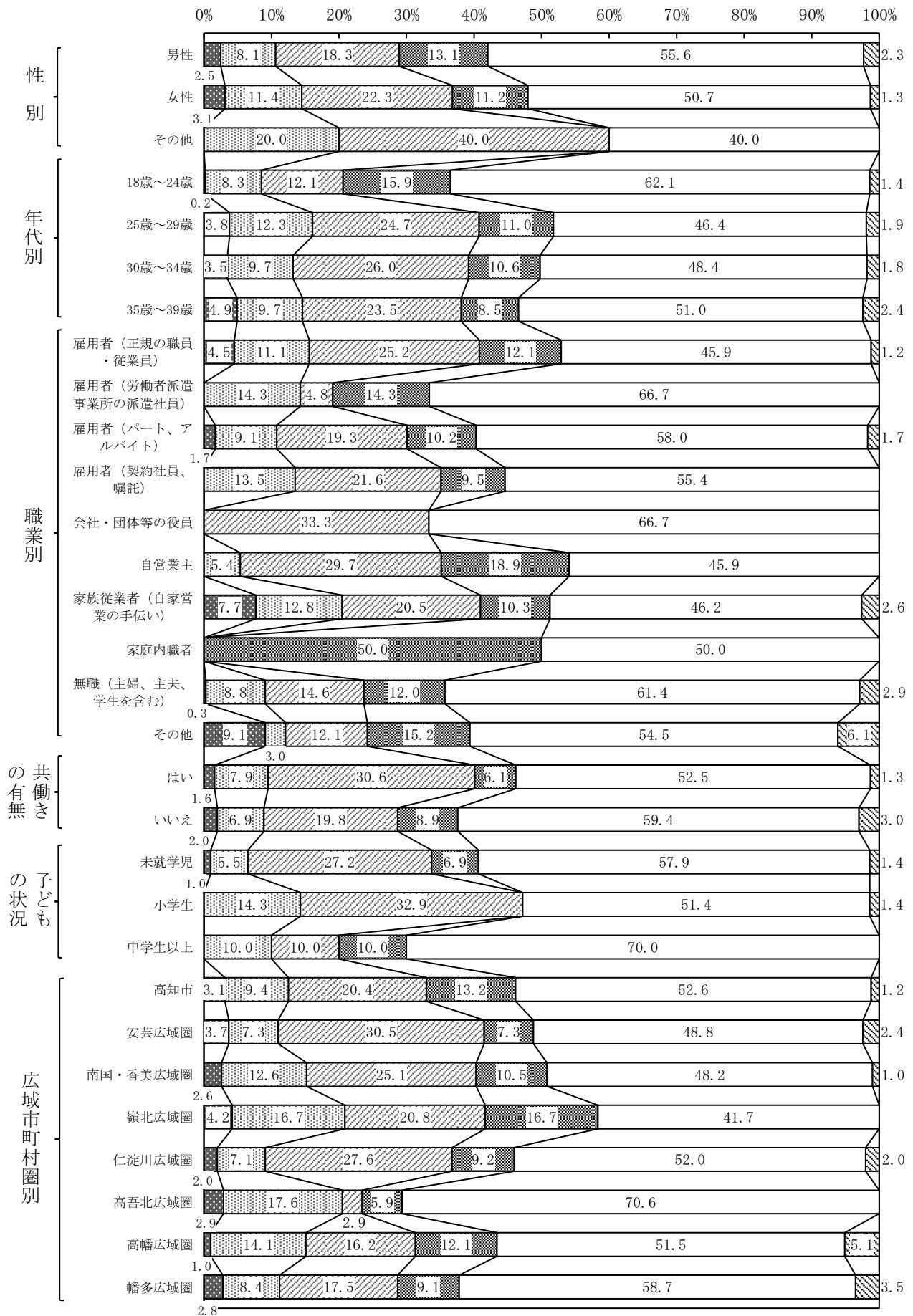
【年代別】

全ての年代で「関心がない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

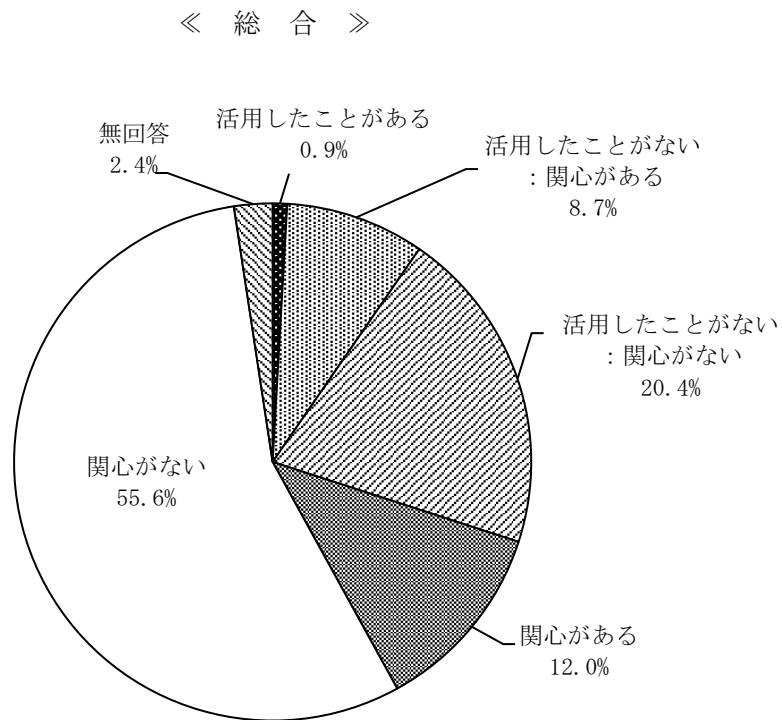
全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっており、中でも高吾北広域圏は70%を超えている。

活用したことがある
 活用したことがない
 活用したことがない
 関心がある
 関心がない
 無回答



5. 高知で恋しよ！！マッチング（会員制のお引き合わせシステム）

「関心がない」が55.6%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」20.4%、「関心がある」12.0%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

【年代別】

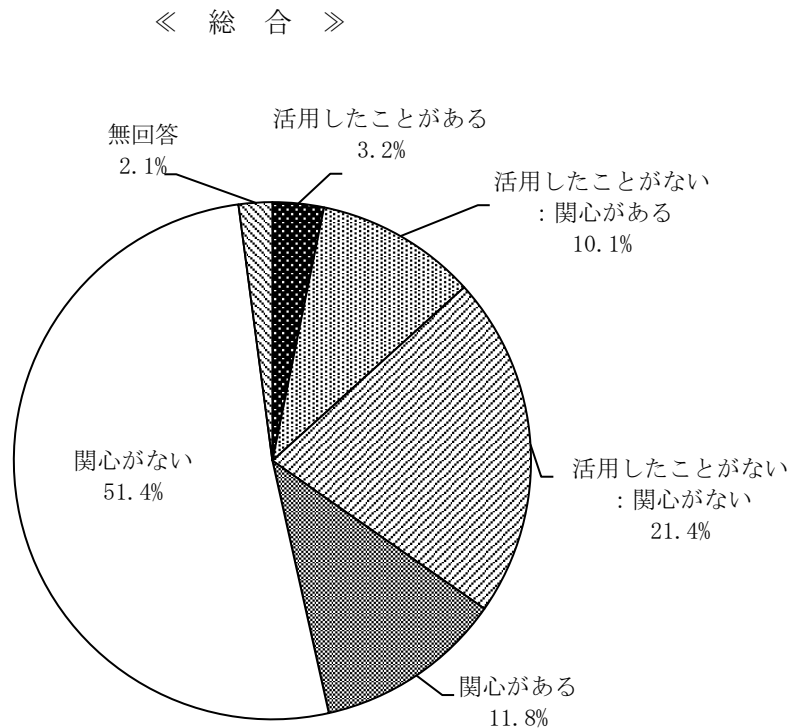
全ての年代で「関心がない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。

6. 高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）

「関心がない」が51.4%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」21.4%、「関心がある」11.8%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

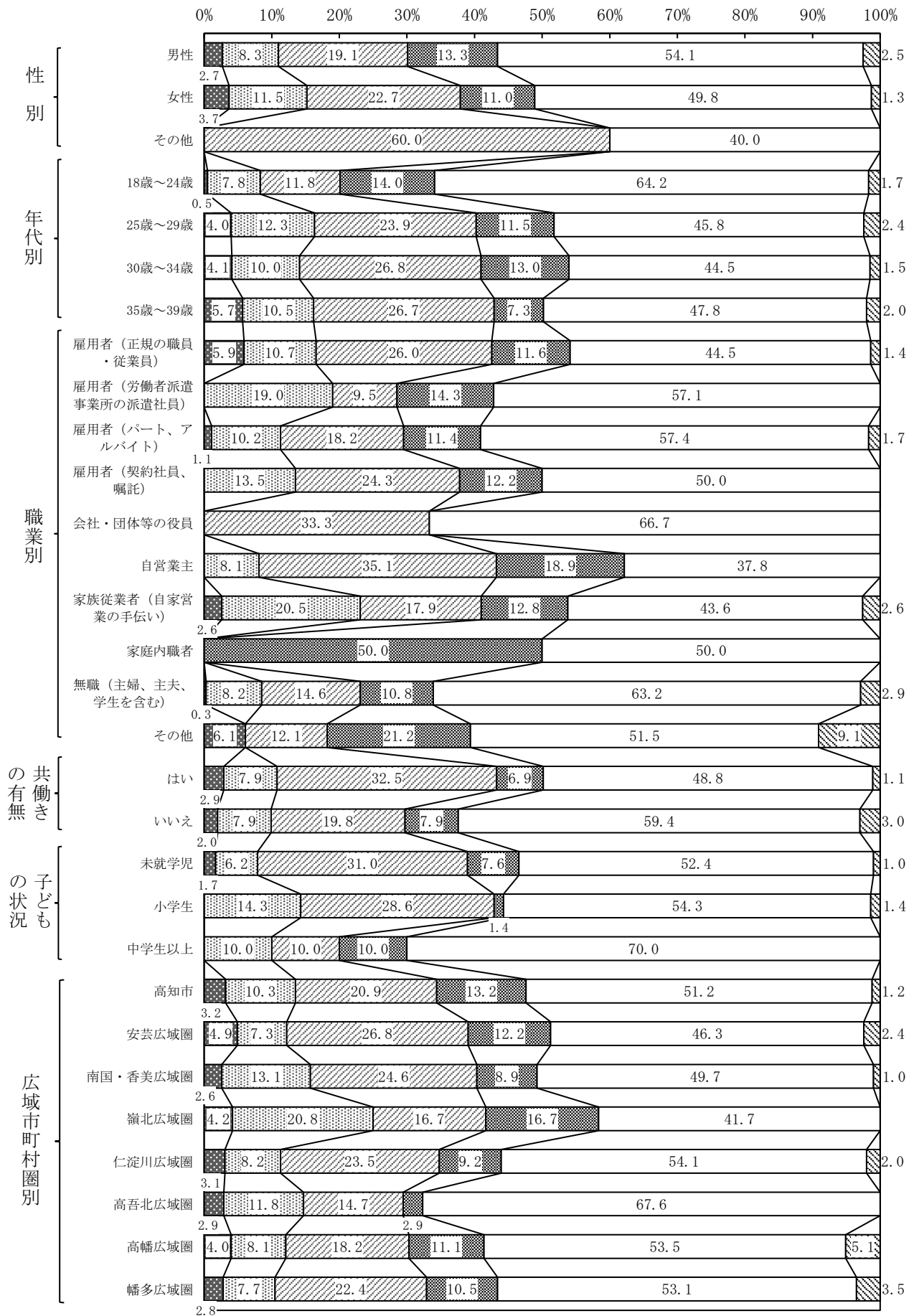
【年代別】

全ての年代で「関心がない」が最も高くなっている。また、男性では「関心がある」が、女性では「活用したことがない：関心がない」が二番目に高くなっている。

【広域市町村圏別】

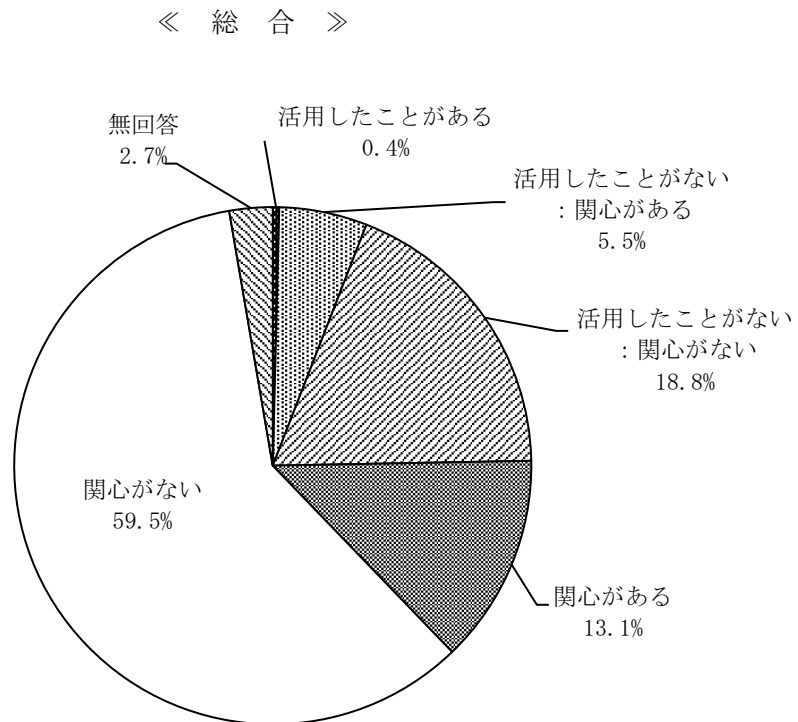
全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。また、嶺北広域圏を除く全ての広域市町村圏で「活用したことがない：関心がない」が、嶺北広域圏では「活用したことがない：関心がある」が二番目に高くなっている。

活用したことがある
 活用したことがない
 活用したことがない
 関心がある
 関心がない
 無回答



7. 婚活サポーター（サブサポーター）

「関心がない」が59.5%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」18.8%、「関心がある」13.1%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

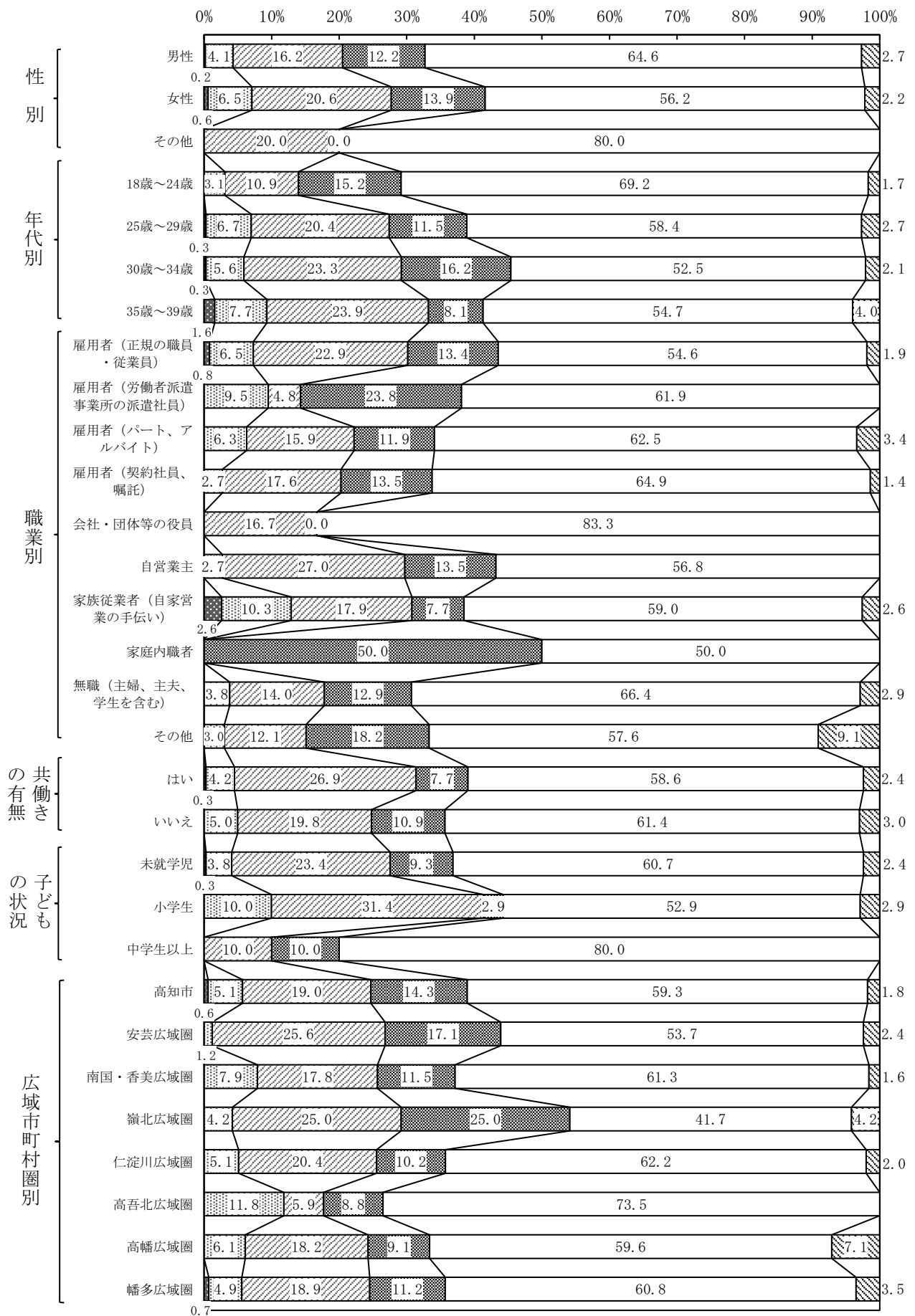
【年代別】

全ての年代で「関心がない」が最も高くなっている。また、18歳～24歳では「関心がある」が、25歳～29歳、30歳～34歳、35歳～39歳では「活用したことがない：関心がない」が二番目に高くなっている。

【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。また、高吾北広域圏を除く全ての広域市町村圏で「活用したことがない：関心がない」が、高吾北広域圏では「活用したことがない：関心がある」が二番目に高くなっている。

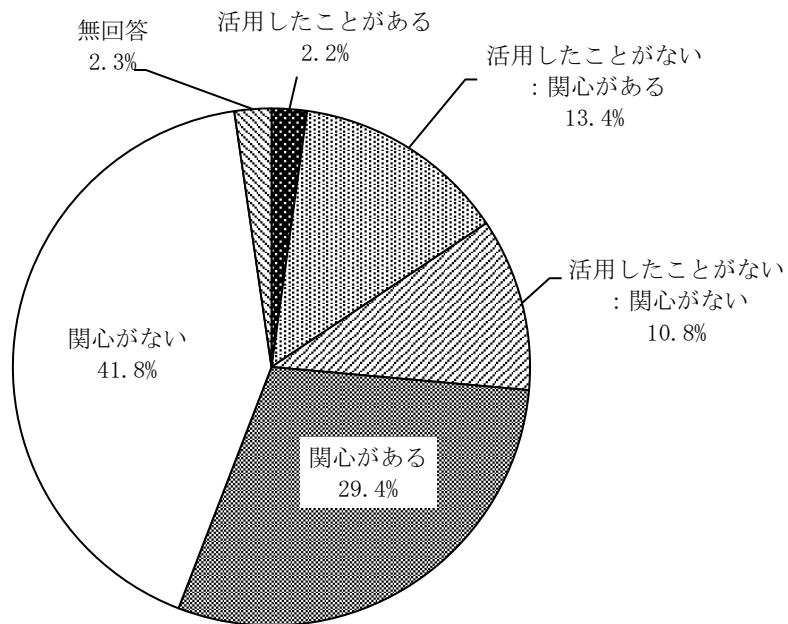
活用したことがある
 活用したことがない
 活用したことがない
 関心がある
 関心がない
 無回答



8. こうち子育て応援の店

「関心がない」が41.8%と最も高く、次いで「関心がある」29.4%、「活用したことがない：関心がある」13.4%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男性は「関心がない」が、女性では「関心がある」が最も高くなっている。

【年代別】

18歳～24歳、25歳～29歳、35歳～39歳は「関心がない」が、30歳～34歳では「関心がある」が最も高くなっている。

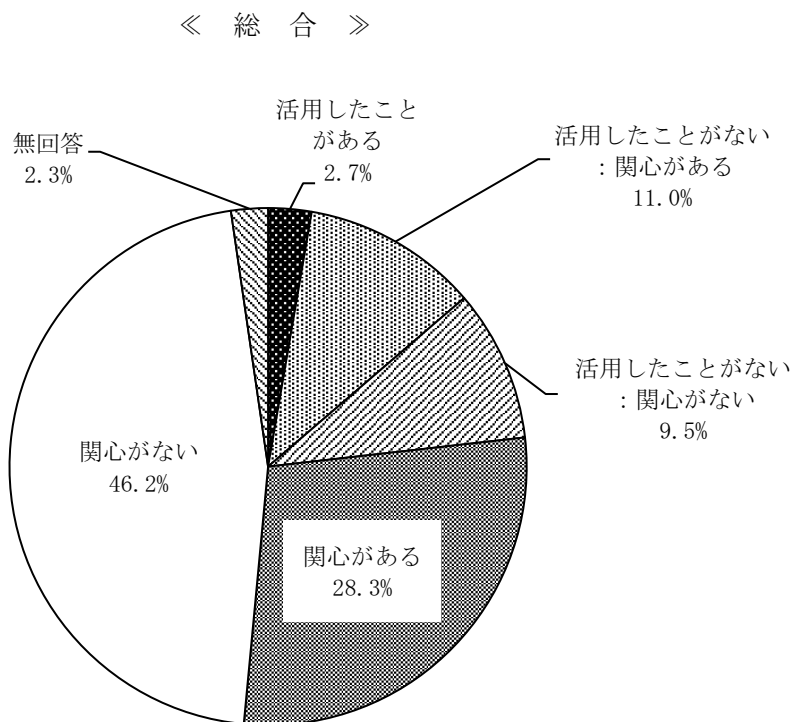
【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。



9. 高知の子育て応援サイト「こうちプレミア net」

「関心がない」が46.2%と最も高く、次いで「関心がある」28.3%、「活用したことがない：関心がある」11.0%と続いている。



【性別】

男女とも「関心がない」が最も高くなっている。

【年代別】

18歳～24歳、25歳～29歳、35歳～39歳は「関心がない」が、30歳～34歳では「関心がある」が最も高くなっている。

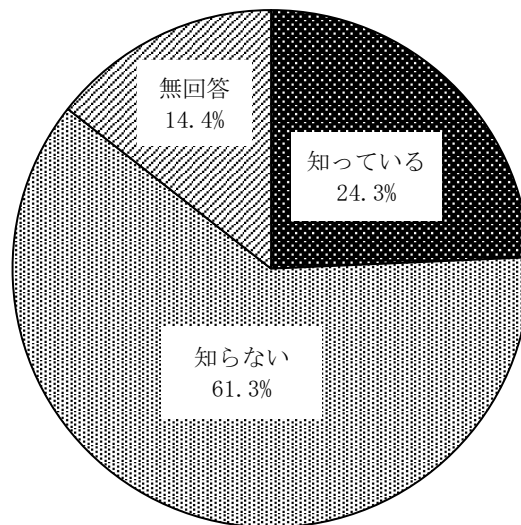
【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「関心がない」が最も高くなっている。

問4 高知県の少子化対策や取組について、テレビや新聞、チラシ、通信、ホームページ等により啓発を行っています、知っていますか。(ひとつだけ○印)

「知らない」が61.3%と最も高く、「知っている」の24.3%より37ポイント高くなっている。

《 総 合 》



【性別】

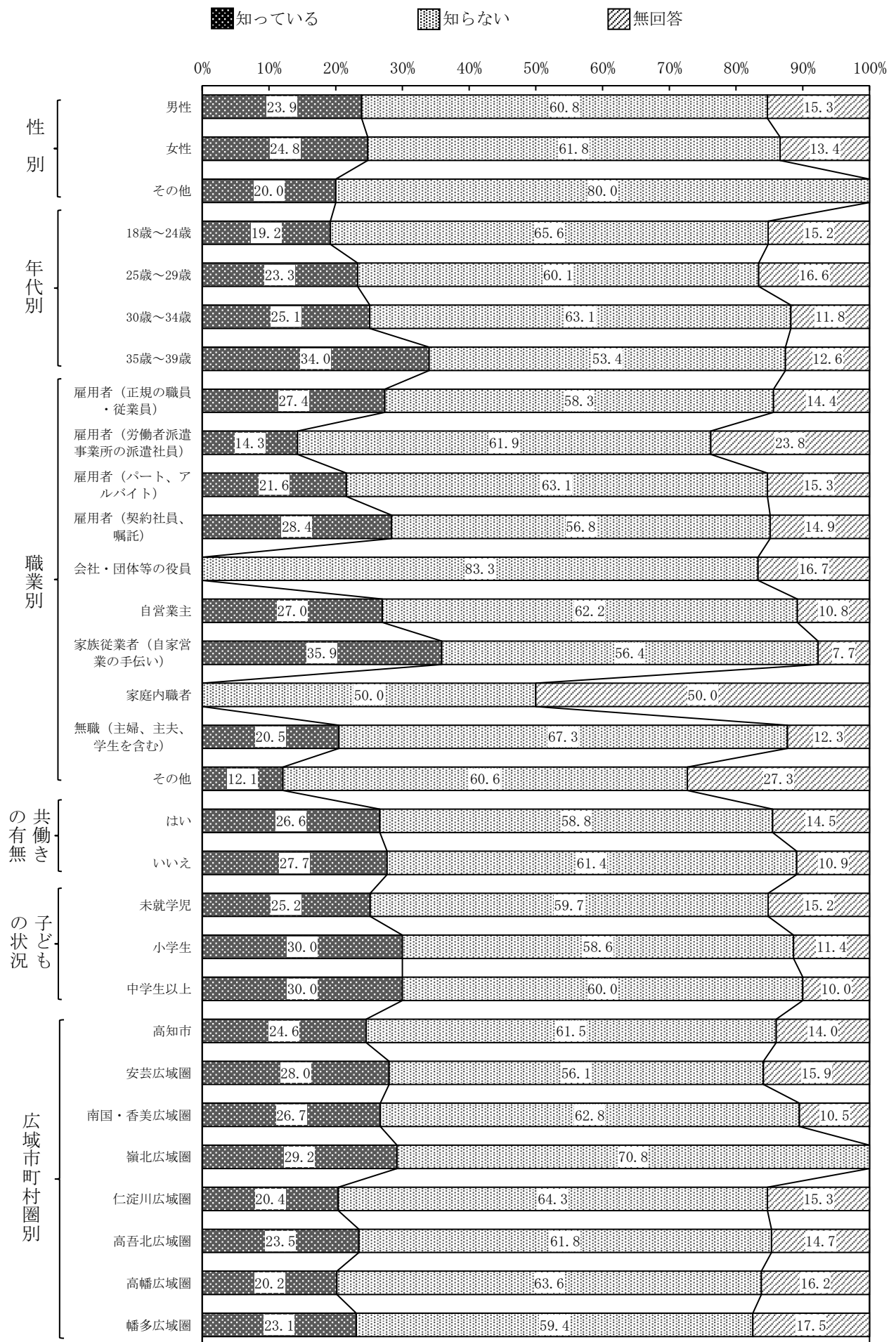
男女とも「知らない」が最も高くなっている。

【年代別】

全ての年代で「知らない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

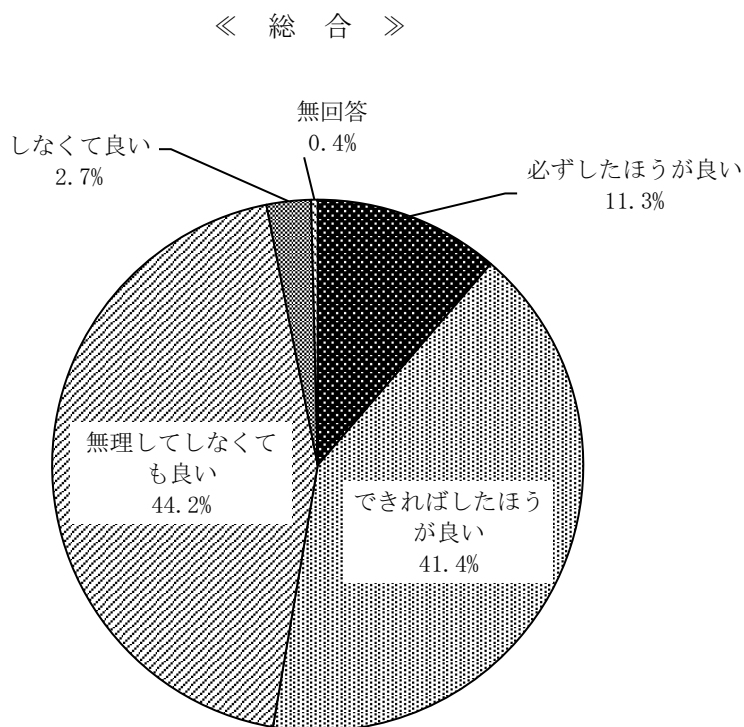
全ての広域市町村圏で「知らない」が最も高くなっている。総合と同じ傾向である。



【3. 出会い・結婚について】

問5 あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。最もよくあてはまるものをお選びください。
(1つだけ○印)

「無理してしなくても良い」が44.2%と最も高く、次いで「できればしたほうが良い」41.4%、「必ずしたほうが良い」11.3%と続いている。



【性別】

男性は「できればしたほうが良い」が最も高く、次いで「無理してしなくても良い」、「必ずしたほうが良い」と続いている。

女性は「無理してしなくても良い」が最も高く、「できればしたほうが良い」、「必ずしたほうが良い」と続いている。

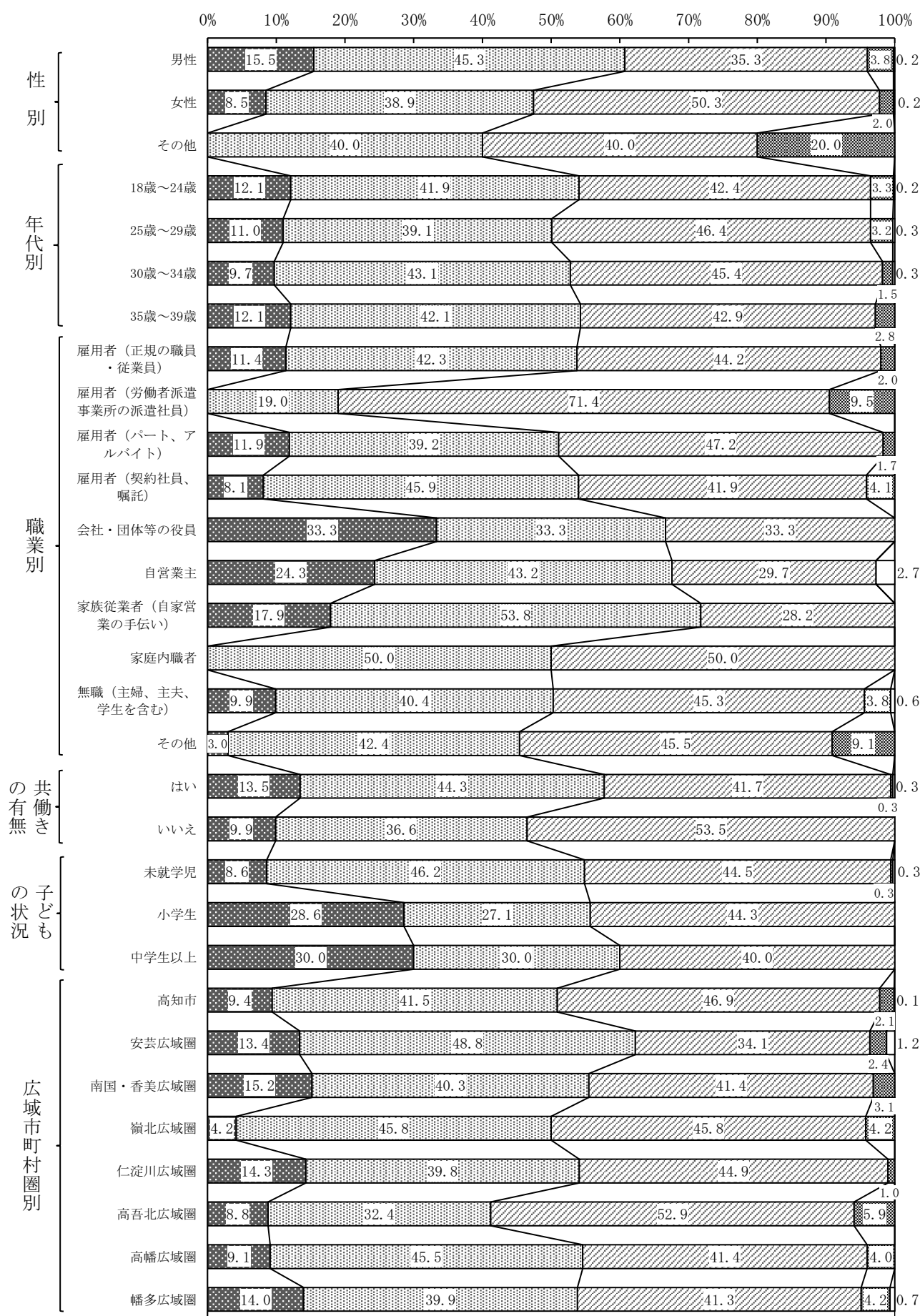
【年代別】

全ての年代で「無理してしなくても良い」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

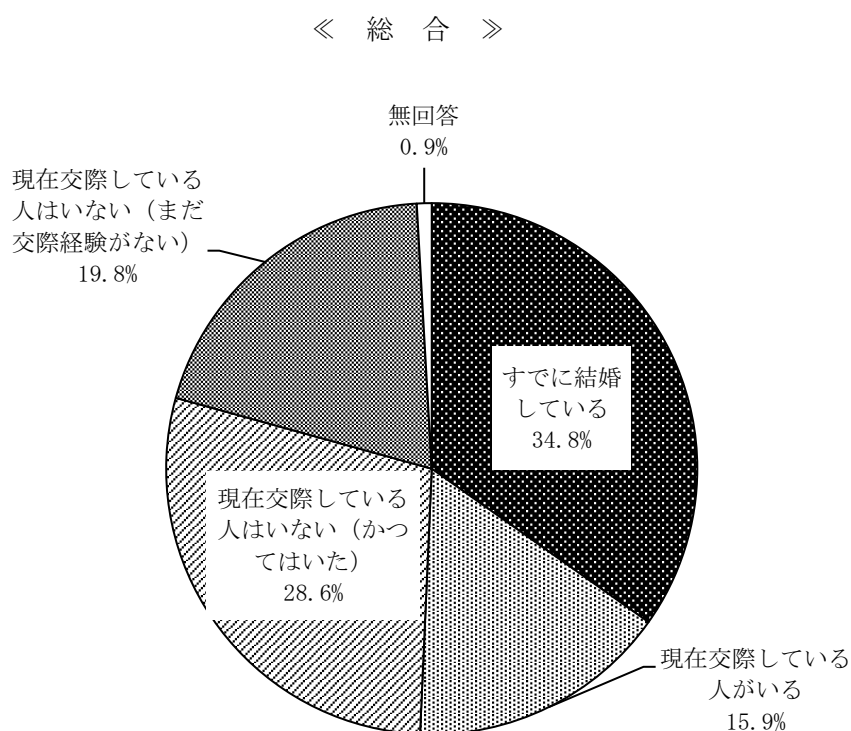
高知市、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏の6つの広域市町村圏で「無理してしなくても良い」が、安芸広域圏、高幡広域圏と同率での嶺北広域圏の3つの広域市町村圏で「できればしたほうが良い」が最も高くなっている。

必ずしたほうが良い
 できればしたほうが良い
 無理してしなくても良い
 しなくて良い
 無回答



問6 あなたの交際状況についておたずねします。次のうち、あなたに当てはまるものをお選びください。（1つだけ○印）

「すでに結婚している」が 34.8%と最も高く、次いで「現在交際している人はいない（かつてはいた）」28.6%、「現在交際している人はいない（まだ交際経験がない）」19.8%と続いている。



【性別】

男性は「現在交際している人はいない（かつてはいた）」が、女性では「すでに結婚している」が最も高くなっている。

【年代別】

18歳～24歳、25歳～29歳では「現在交際している人はいない（かつてはいた）」が、30歳～34歳、35歳～39歳では「すでに結婚している」が最も高くなっている。

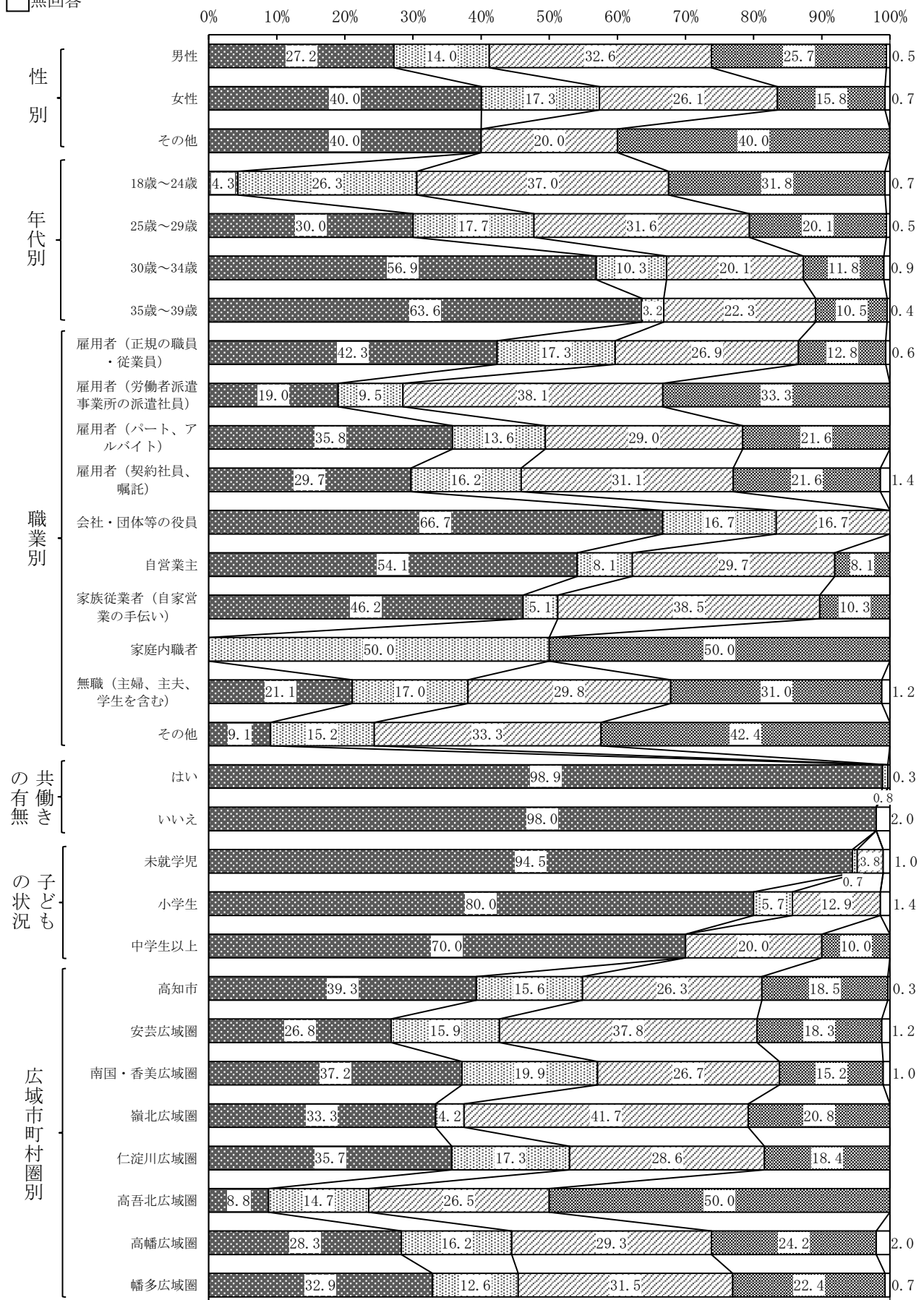
【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「すでに結婚している」が、安芸広域圏、嶺北広域圏、高幡広域圏では「現在交際している人はいない（かつてはいた）」が、高吾北広域圏では「現在交際している人はいない（まだ交際経験がない）」が最も高くなっている。

すでに結婚している
 現在交際している人がある

現在交際している人はいない（かつてはいた）
 現在交際している人はいない（まだ交際経験がない）

無回答

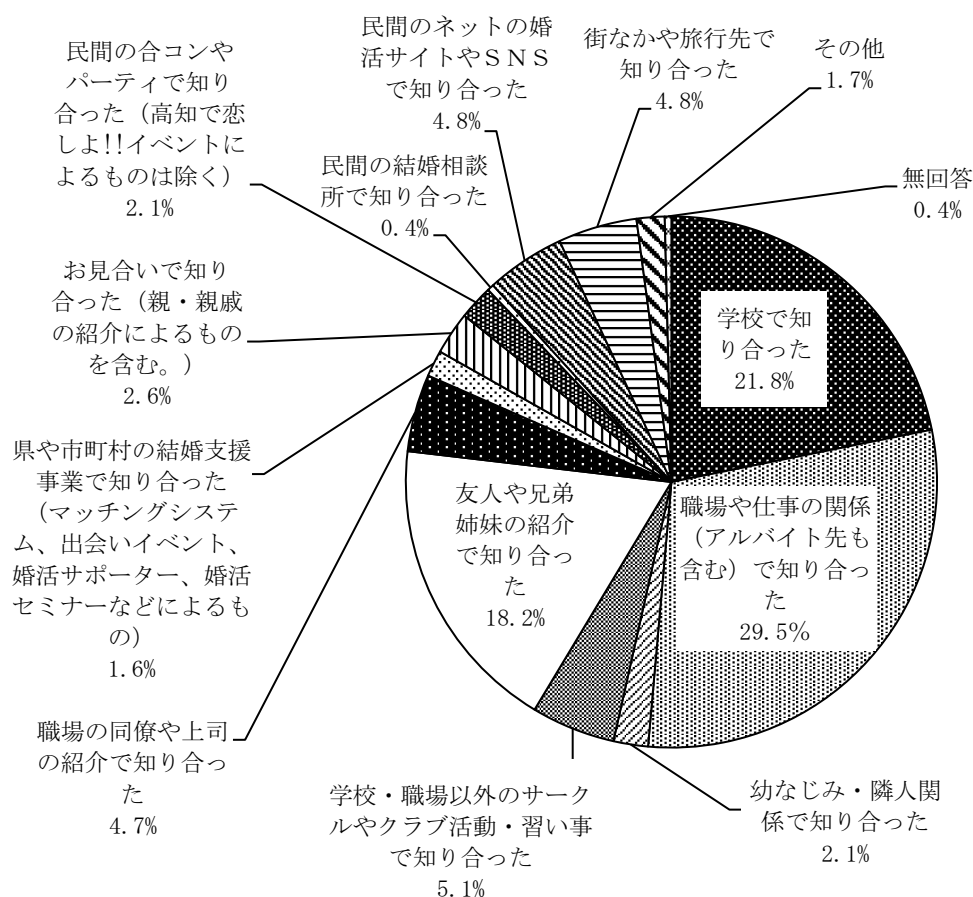


問7 問6で「1. すでに結婚している」または「2. 現在交際している人がある」と回答した方のみお答えください。

現在の配偶者（パートナー）、交際相手とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。
最もよく当てはまるものをお選びください。（1つだけ○印）

「職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った」が 29.5%と最も高く、次いで「学校で知り合った」21.8%、「友人や兄弟姉妹の紹介で知り合った」18.2%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男性は「学校で知り合った」が、女性では「職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った」が最も高くなっている。

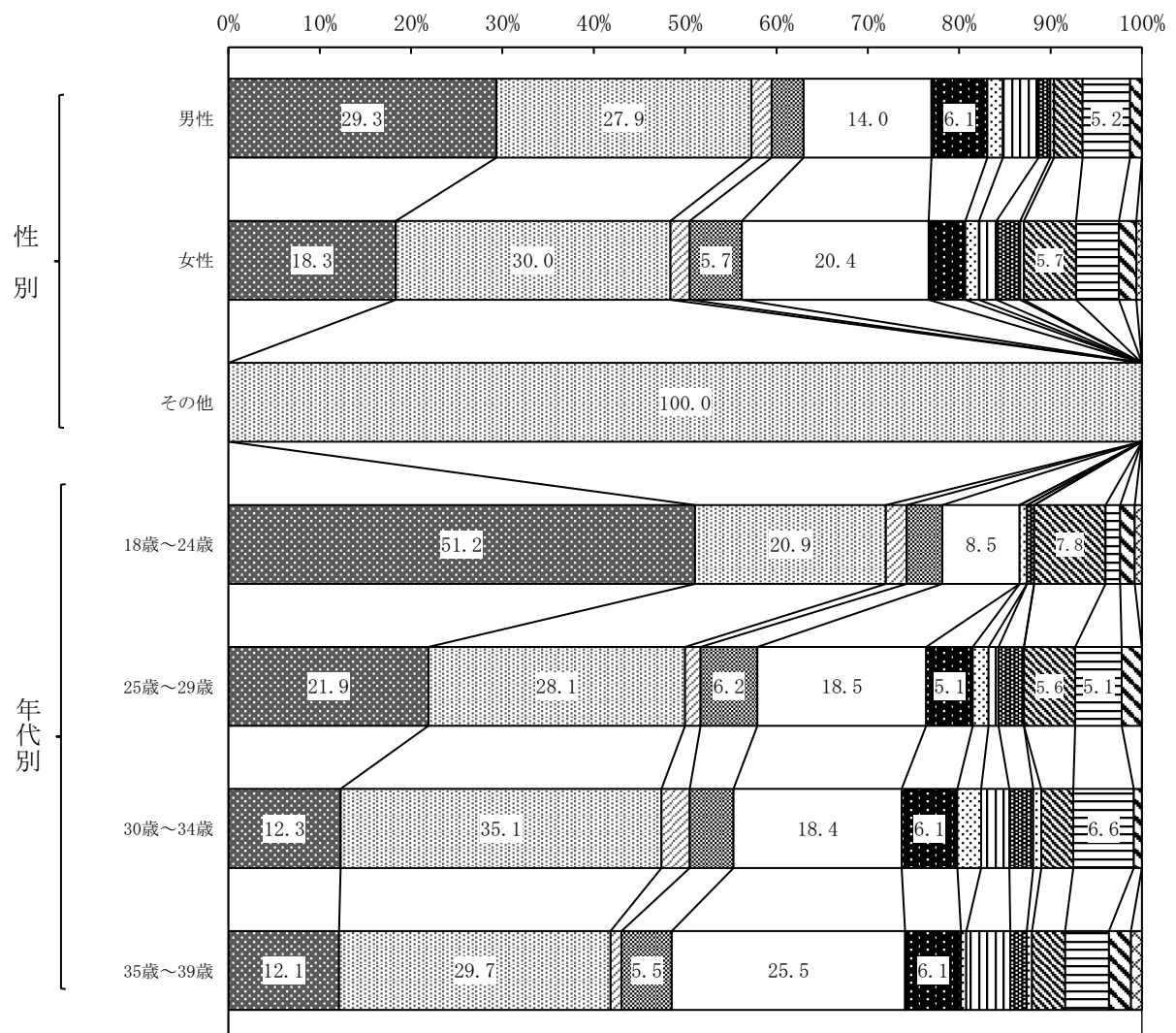
【年代別】

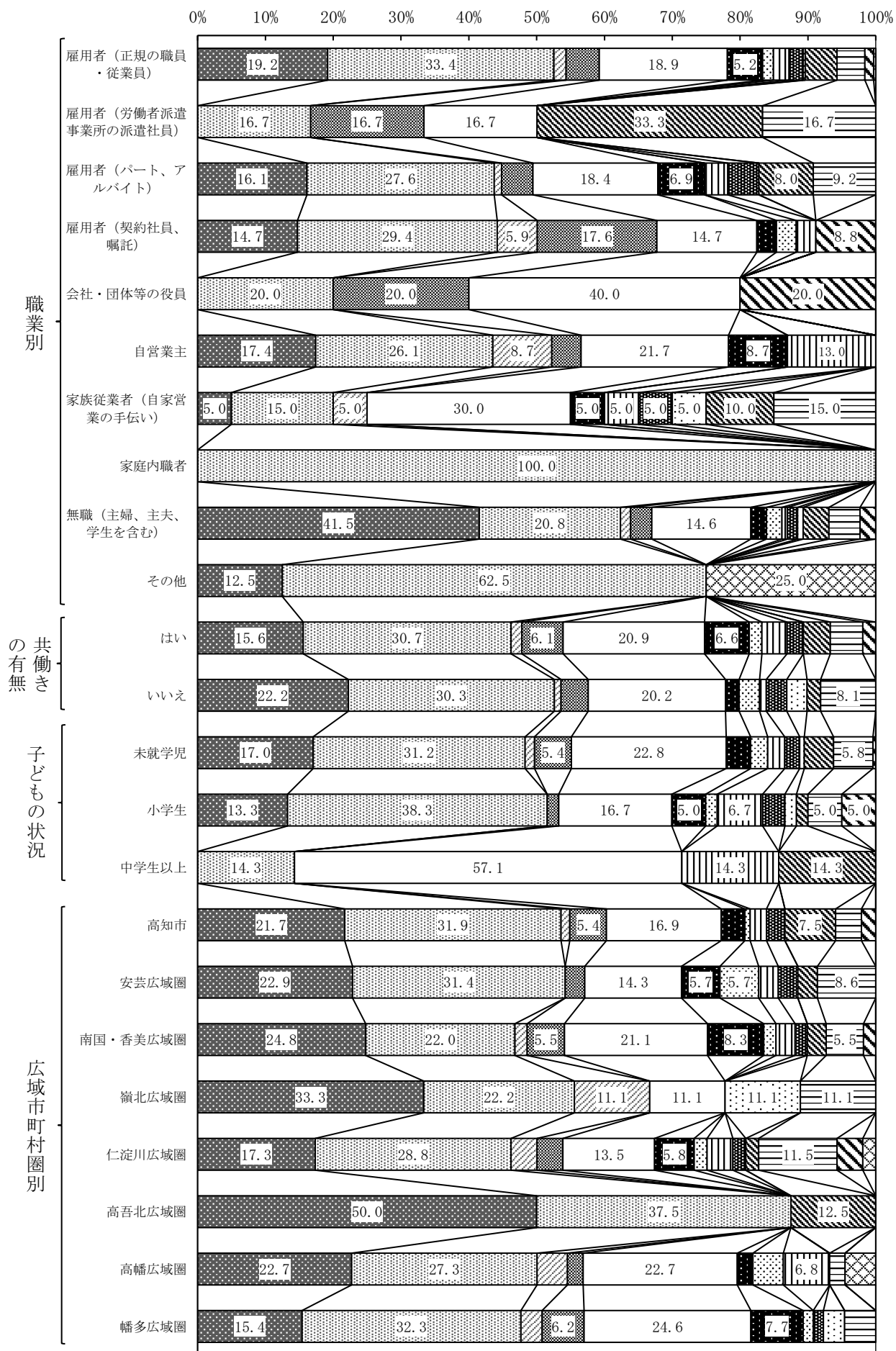
18歳か～24歳を除く全ての年代で「職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った」が、18歳～24歳では「学校で知り合った」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

南国・香美広域圏、嶺北広域圏、高吾北広域圏では「学校で知り合った」が、高知市、安芸広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った」が最も高くなっている。

- 学校で知り合った
- 職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った
- 幼なじみ・隣人関係で知り合った
- 学校・職場以外のサークルやクラブ活動・習い事で知り合った
- 友人や兄弟姉妹の紹介で知り合った
- 職場の同僚や上司の紹介で知り合った
- 県や市町村の結婚支援事業で知り合った（マッチングシステム、出会いイベント、婚活サポーター、婚活セミナーなどによるもの）
- お見合いで知り合った（親・親戚の紹介によるものを含む。）
- 民間の合コンやパーティで知り合った（高知で恋しよ!!イベントによるものは除く）
- 民間の結婚相談所で知り合った
- 民間のネットの婚活サイトやSNSで知り合った
- 街なかや旅行先で知り合った
- その他
- 無回答



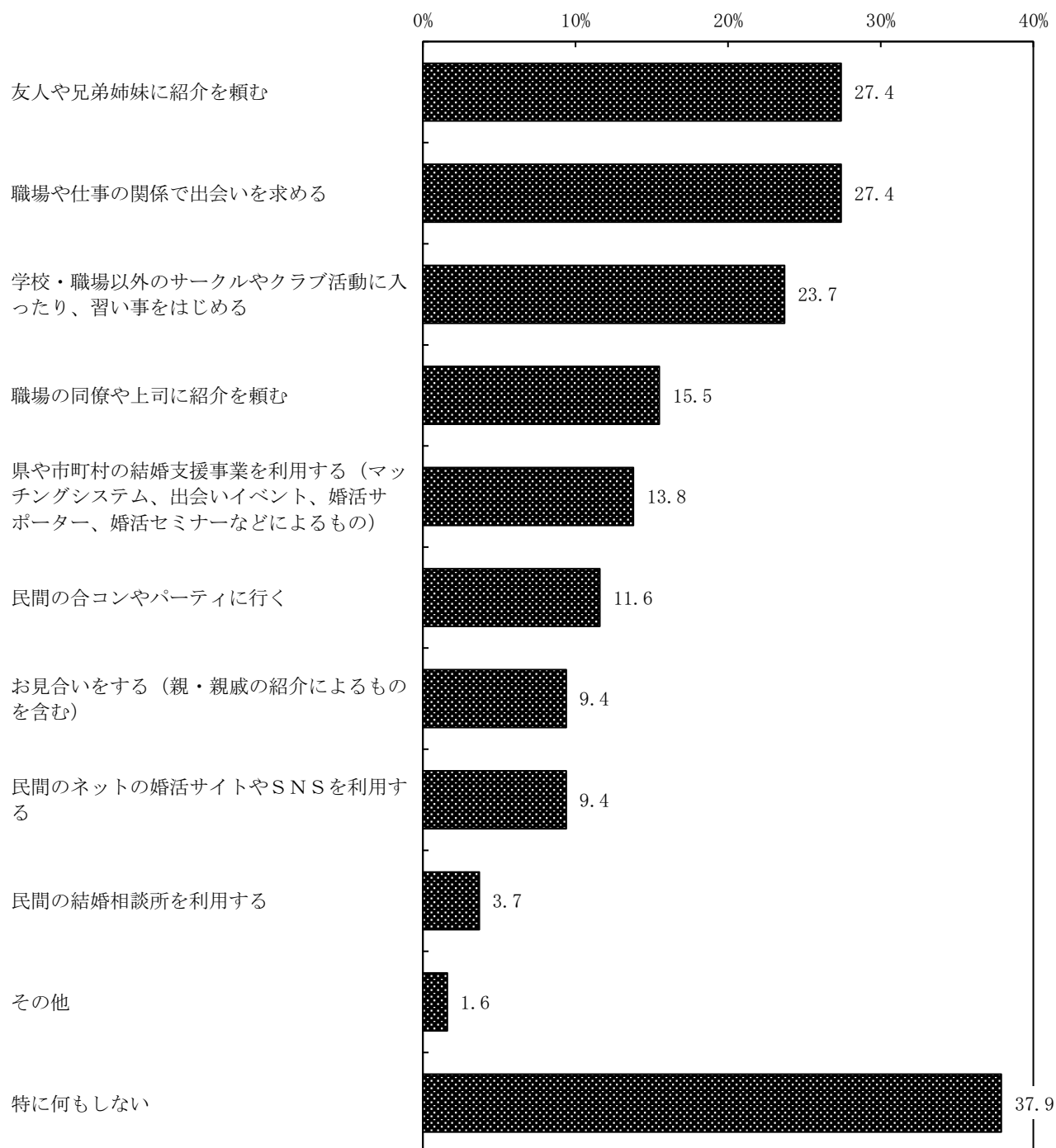


		学校で知り合った	職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）	幼なじみ・隣人関係で知り合った	学校・職場以外のサークルやクラブ活動・習い事で知り合った	友人や兄弟姉妹の紹介で知り合った	職場の同僚や上司の紹介で知り合った	県や市町村の結婚支援事業で知り合った（マッチングシステム、出会いイベント、婚活サポーター、婚活セミナーなどによるもの）	お見合いで知り合った（親・親戚の紹介によるものを含む。）	知で恋しよ！！イベントによるものは除く	民間の結婚相談所で知り合った	民間のネットの婚活サイトやSNSで知り合った	街なかや旅行先で知り合った	その他	無回答
性別	男性	29.3	27.9	2.2	3.5	14.0	6.1	1.7	3.9	1.3	0.4	3.1	5.2	1.3	0.0
	女性	18.3	30.0	2.1	5.7	20.4	4.0	1.5	1.9	2.6	0.4	5.7	4.7	1.9	0.6
	その他	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18歳～24歳	51.2	20.9	2.3	3.9	8.5	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	7.8	1.6	1.6	0.8
	25歳～29歳	21.9	28.1	1.7	6.2	18.5	5.1	1.7	1.1	2.8	0.0	5.6	5.1	2.2	0.0
	30歳～34歳	12.3	35.1	3.1	4.8	18.4	6.1	2.6	3.1	2.6	0.9	3.5	6.6	0.9	0.0
	35歳～39歳	12.1	29.7	1.2	5.5	25.5	6.1	0.6	4.8	1.8	0.6	3.6	4.8	2.4	1.2
職業の内容	雇用者（正規の職員・従業員）	19.2	33.4	1.8	4.9	18.9	5.2	1.6	2.3	2.1	0.3	4.7	4.1	1.3	0.3
	雇用者（労働者派遣事業所の派遣社員）	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	雇用者（パート、アルバイト）	16.1	27.6	1.1	4.6	18.4	6.9	0.0	3.4	4.6	0.0	8.0	9.2	0.0	0.0
	雇用者（契約社員、嘱託）	14.7	29.4	5.9	17.6	14.7	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0
	会社・団体等の役員	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	自営業主	17.4	26.1	8.7	4.3	21.7	8.7	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従業者（自家営業の手伝い）	5.0	15.0	5.0	0.0	30.0	5.0	0.0	5.0	5.0	5.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	家庭内職者	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職（主婦、主夫、学生を含む）	41.5	20.8	1.5	3.1	14.6	2.3	2.3	0.8	1.5	0.8	3.8	4.6	2.3	0.0
	その他	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
共有無きの	はい	15.6	30.7	1.6	6.1	20.9	6.6	1.9	3.7	2.4	0.0	4.0	4.8	1.9	0.0
	いいえ	22.2	30.3	1.0	4.0	20.2	2.0	3.0	1.0	3.0	3.0	2.0	8.1	0.0	0.0
子どもの状況	未就学児	17.0	31.2	1.4	5.4	22.8	3.6	2.5	2.5	2.2	0.7	4.3	5.8	0.4	0.0
	小学生	13.3	38.3	0.0	1.7	16.7	5.0	1.7	6.7	3.3	1.7	1.7	5.0	5.0	0.0
	中学生以上	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
広域市町村圏別	高知市	21.7	31.9	1.3	5.4	16.9	3.5	0.8	2.4	2.7	0.0	7.5	3.8	2.1	0.0
	安芸広域圏	22.9	31.4	0.0	2.9	14.3	5.7	5.7	2.9	2.9	0.0	2.9	8.6	0.0	0.0
	南国・香美広域圏	24.8	22.0	1.8	5.5	21.1	8.3	1.8	2.8	1.8	0.0	2.8	5.5	1.8	0.0
	嶺北広域圏	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	17.3	28.8	3.8	3.8	13.5	5.8	1.9	3.8	1.9	0.0	1.9	11.5	3.8	1.9
	高吾北広域圏	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	高幡広域圏	22.7	27.3	4.5	2.3	22.7	2.3	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	4.5
	幡多広域圏	15.4	32.3	3.1	6.2	24.6	7.7	1.5	0.0	1.5	3.1	0.0	4.6	0.0	0.0

問8 問6で「3. 現在交際している人はいない（かつてはいた）」または「4. 現在交際している人はいない（まだ交際経験がない）」と回答した方のみ
 お答えください。
 交際相手との出会いを求めるとしたら、どのようなことを行いたいと思いますか。
 （あてはまるもの全て○印）

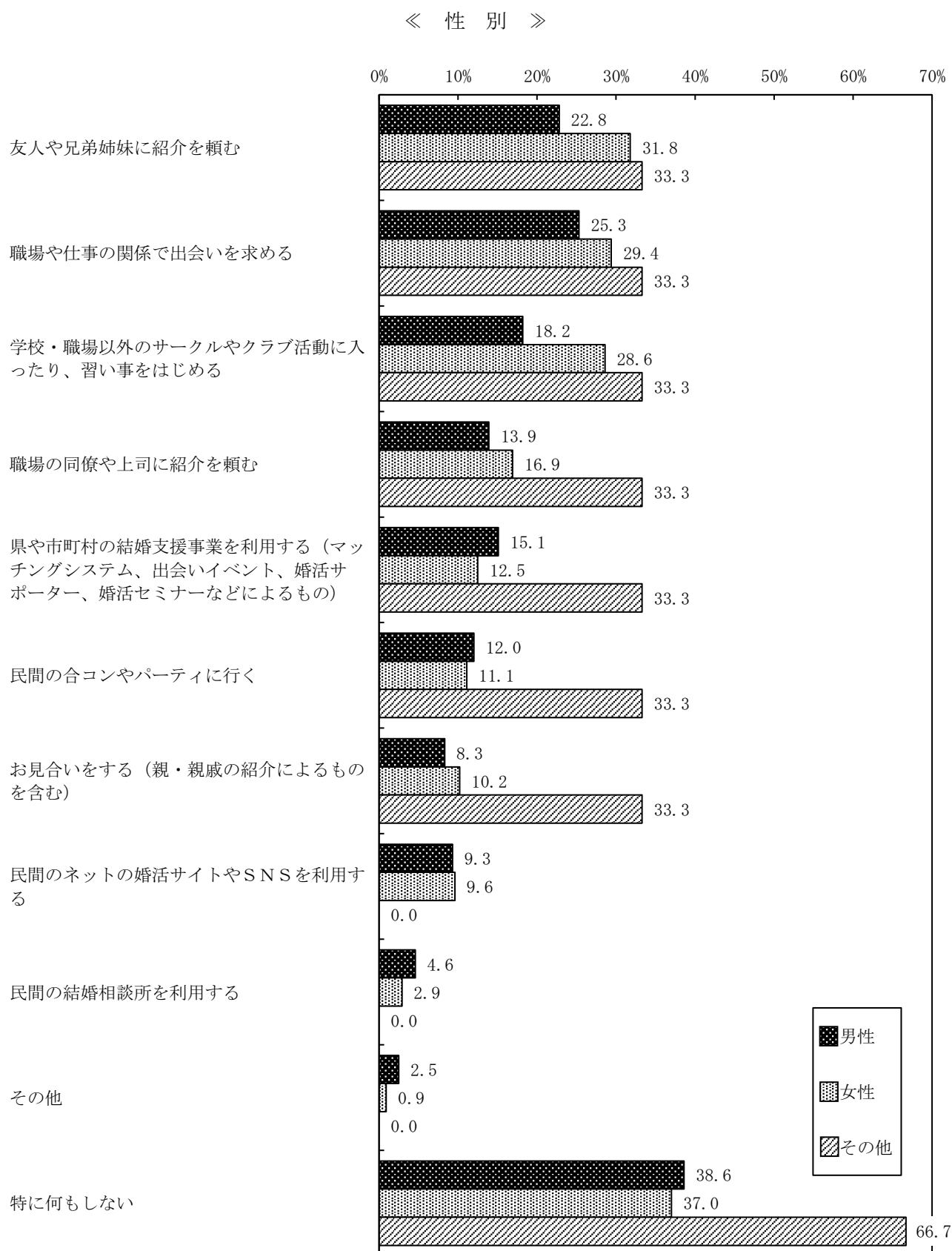
「特に何もしない」が 37.9%と最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹に紹介を頼む」と「職場や仕事の関係で出会いを求める」が同率で 27.4%、「学校・職場以外のサークルやクラブ活動に入ったり、習い事をはじめる」23.7%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

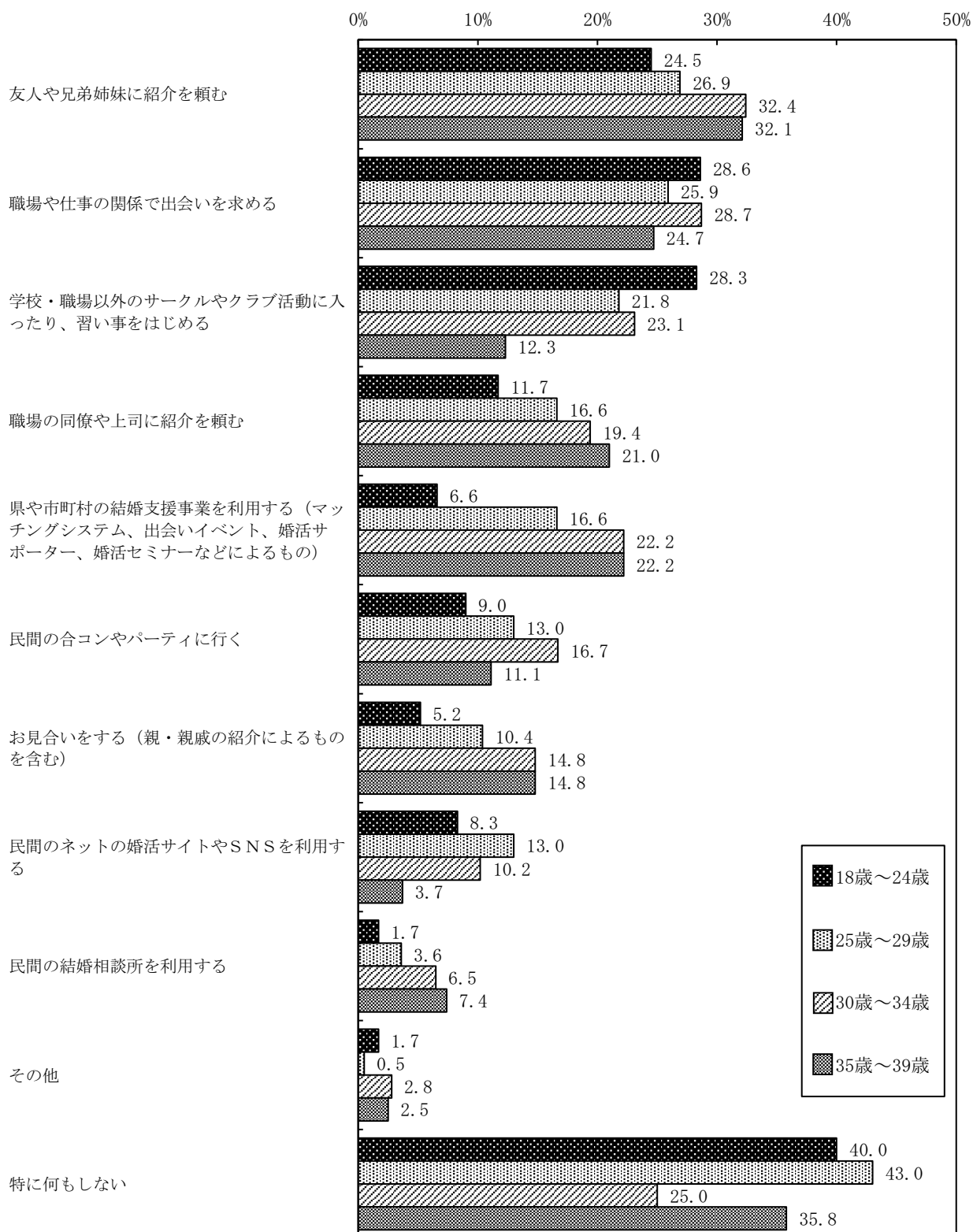
男女ともに「特に何もしない」が最も高く、次いで男性では「職場や仕事の関係で出会いを求める」が、女性では「友人や兄弟姉妹に紹介を頼む」と続いている。



【年代別】

18歳～24歳、25歳～29歳、35歳～39歳では「特に何もしない」が、30歳～34歳では「友人や兄弟姉妹に紹介を頼む」が最も高くなっている。

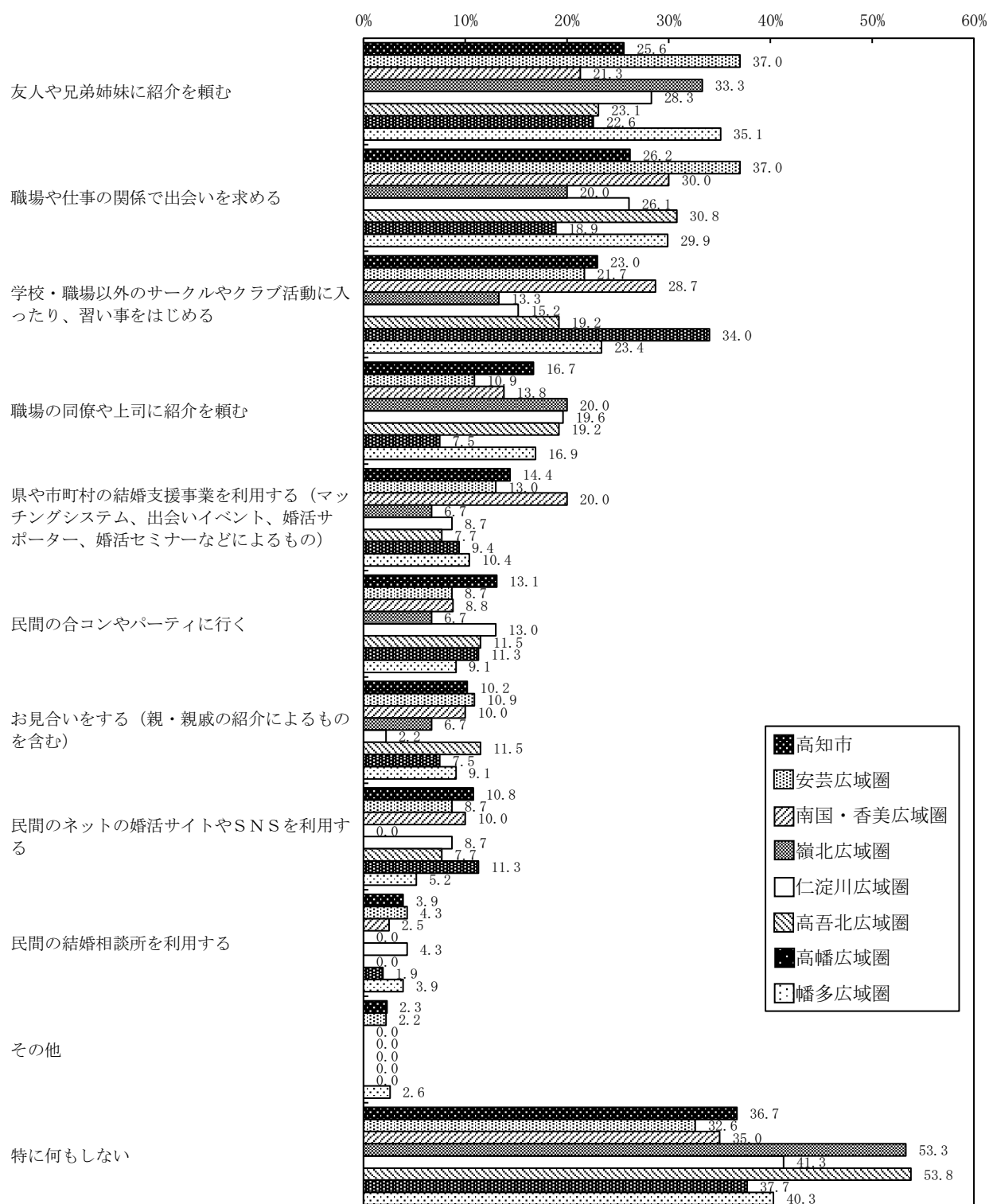
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

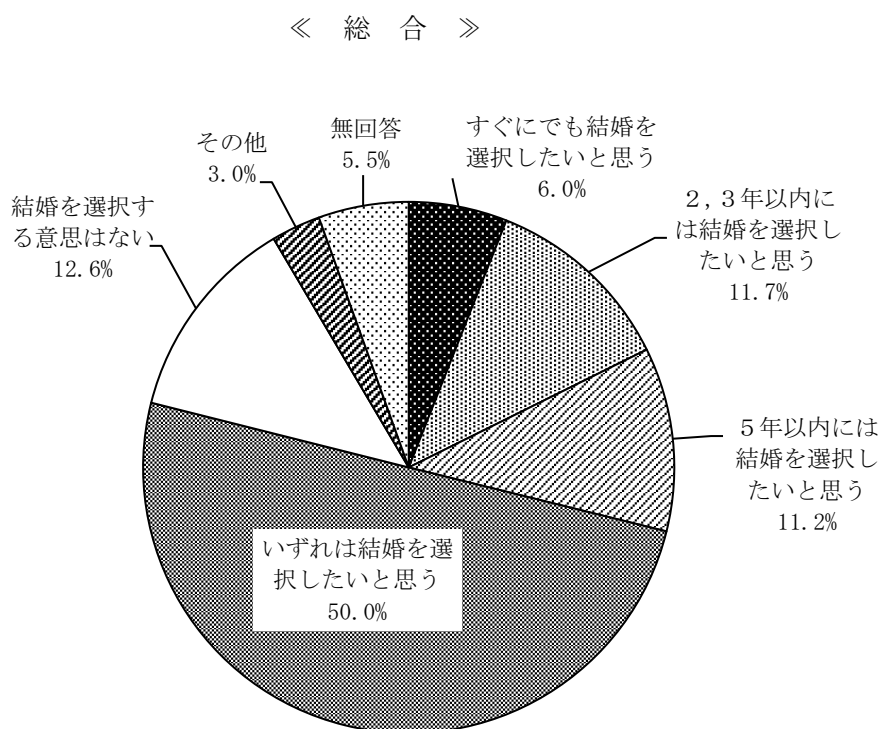
安芸広域圏を除くすべての広域市町村圏で「特に何もしない」が、安芸広域圏では同率で「友人や兄弟姉妹に紹介を頼む」と「職場や仕事の関係で出会いを求める」が最も高くなっている。

《 広域市町村圏別 》



問9 F6で「2. 結婚したことはない」と回答した方のみお答えください。
あなたは、将来結婚したいと思いますか。（1つだけ○印）

「いずれは結婚を選択したいと思う」が50.0%で最も高く、次いで「結婚を選択する意思はない」12.6%、「2,3年以内には結婚を選択したいと思う」11.7%と続いている。



【性別】

男女とも「いずれは結婚を選択したいと思う」が最も高くなっている。男性では「結婚を選択する意思はない」、女性では「2,3年以内には結婚を選択したいと思う」が二番目に高くなっている。

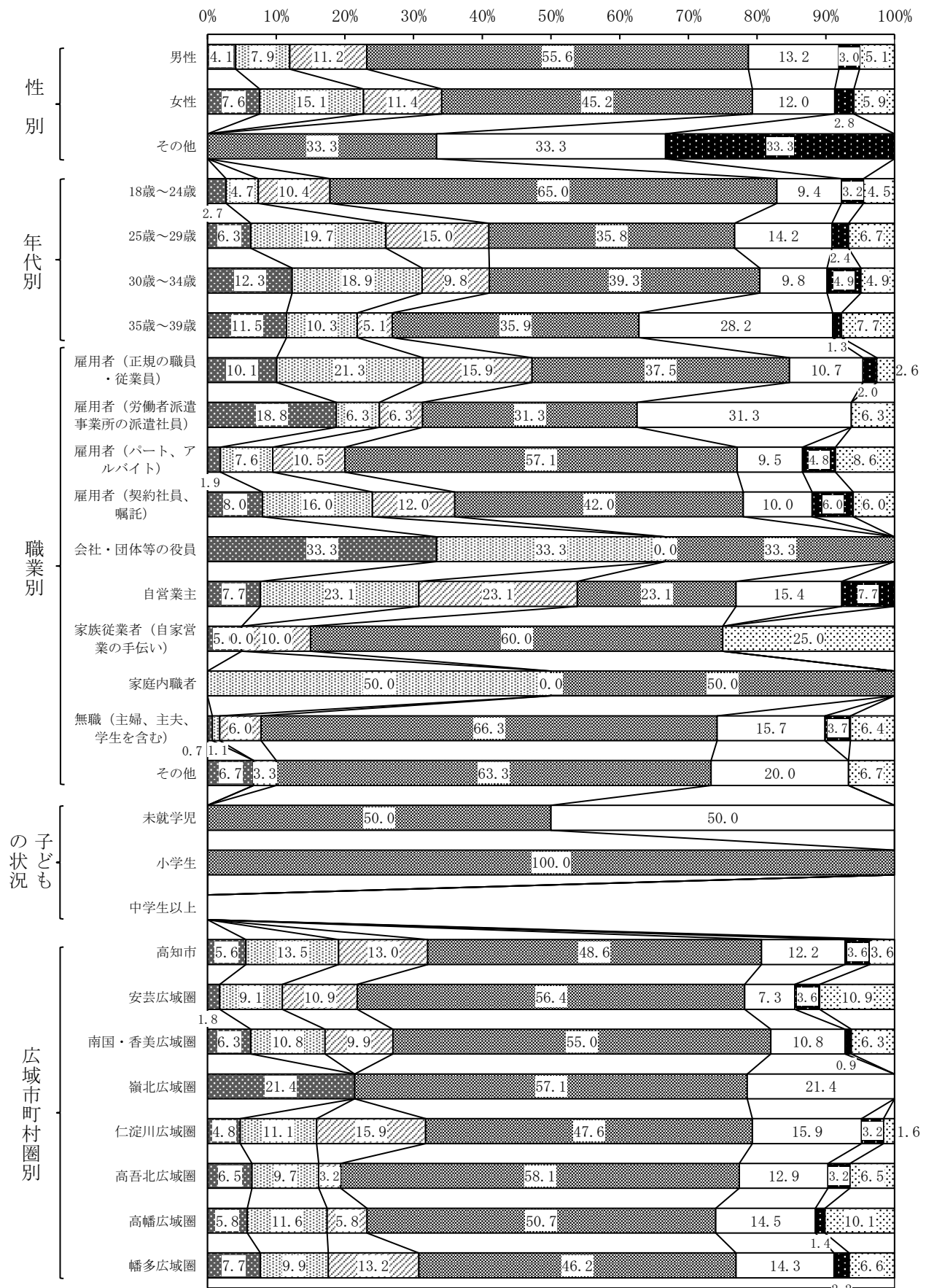
【年代別】

全ての年代で「いずれは結婚を選択したいと思う」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「いずれは結婚を選択したいと思う」が最も高くなっている。

- すぐにも結婚を選択したいと思う
- ▨ 5年以内には結婚を選択したいと思う
- 結婚を選択する意思はない
- ▤ 無回答
- 2, 3年以内には結婚を選択したいと思う
- ▨ いずれは結婚を選択したいと思う
- その他



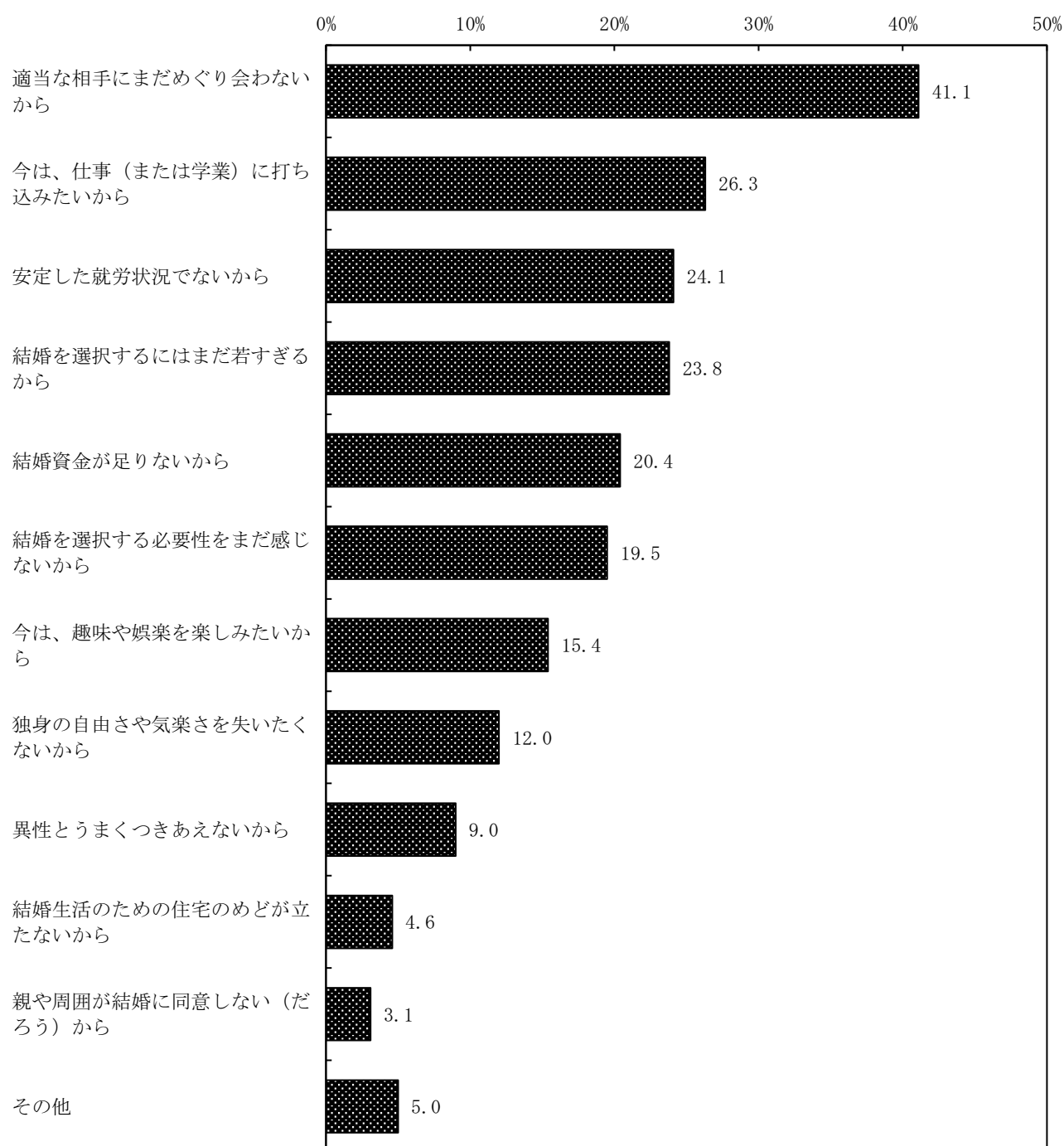
問10 問9で「1. すぐにでも結婚を選択したいと思う」または「2. 2, 3年以内には結婚を選択したいと思う」または「3. 5年以内には結婚を選択したいと思う」または「4. いずれは結婚を選択したいと思う」と回答した方のみお答えください。

あなたが、現在結婚を選択していないのは、どのような理由からですか。

お考えに近いものをお答えください。(3つまで○印)

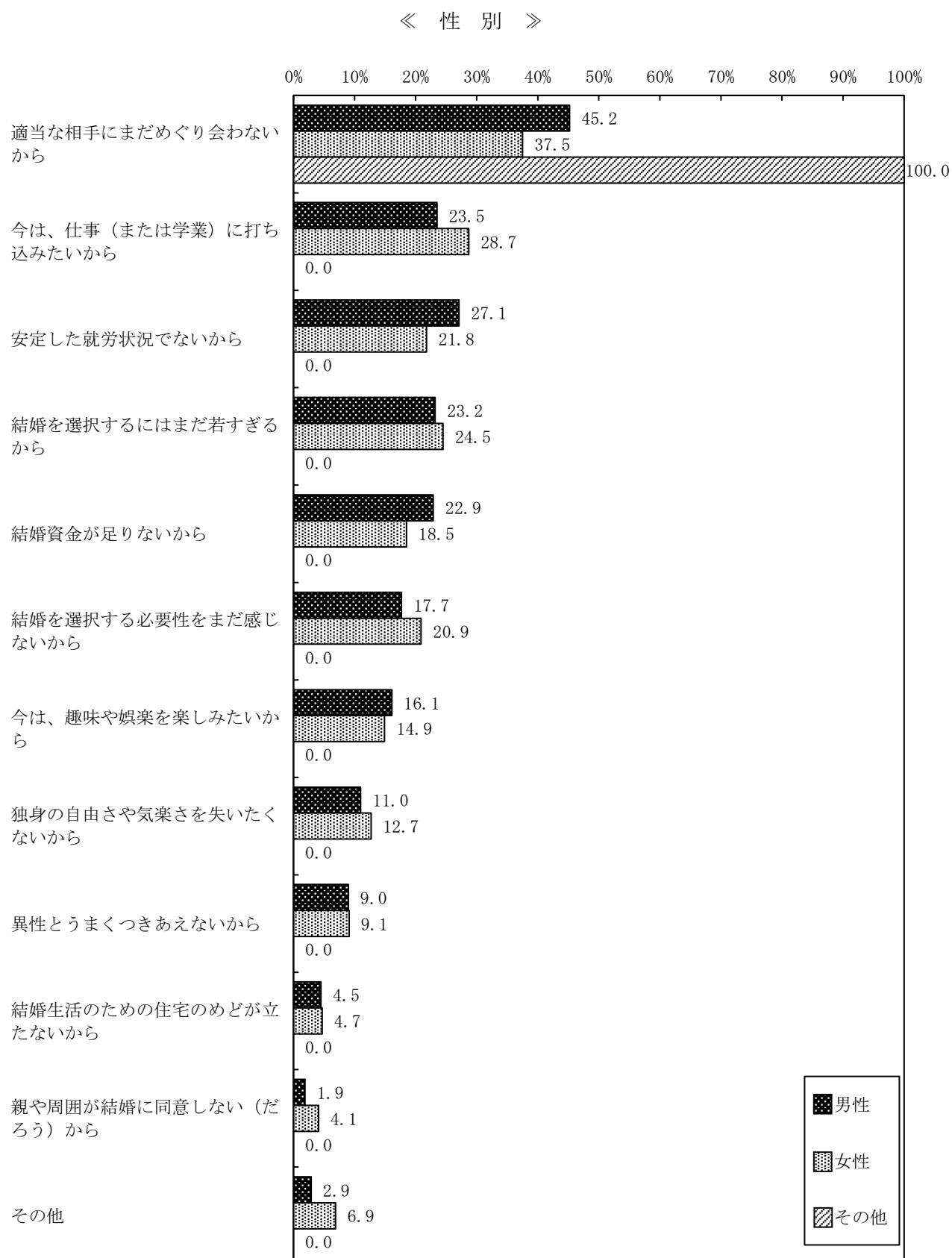
「適当な相手にまだめぐり会わないから」が41.1%で最も高くなっている。次いで「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」26.3%、「安定した就労状況でないから」24.1%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

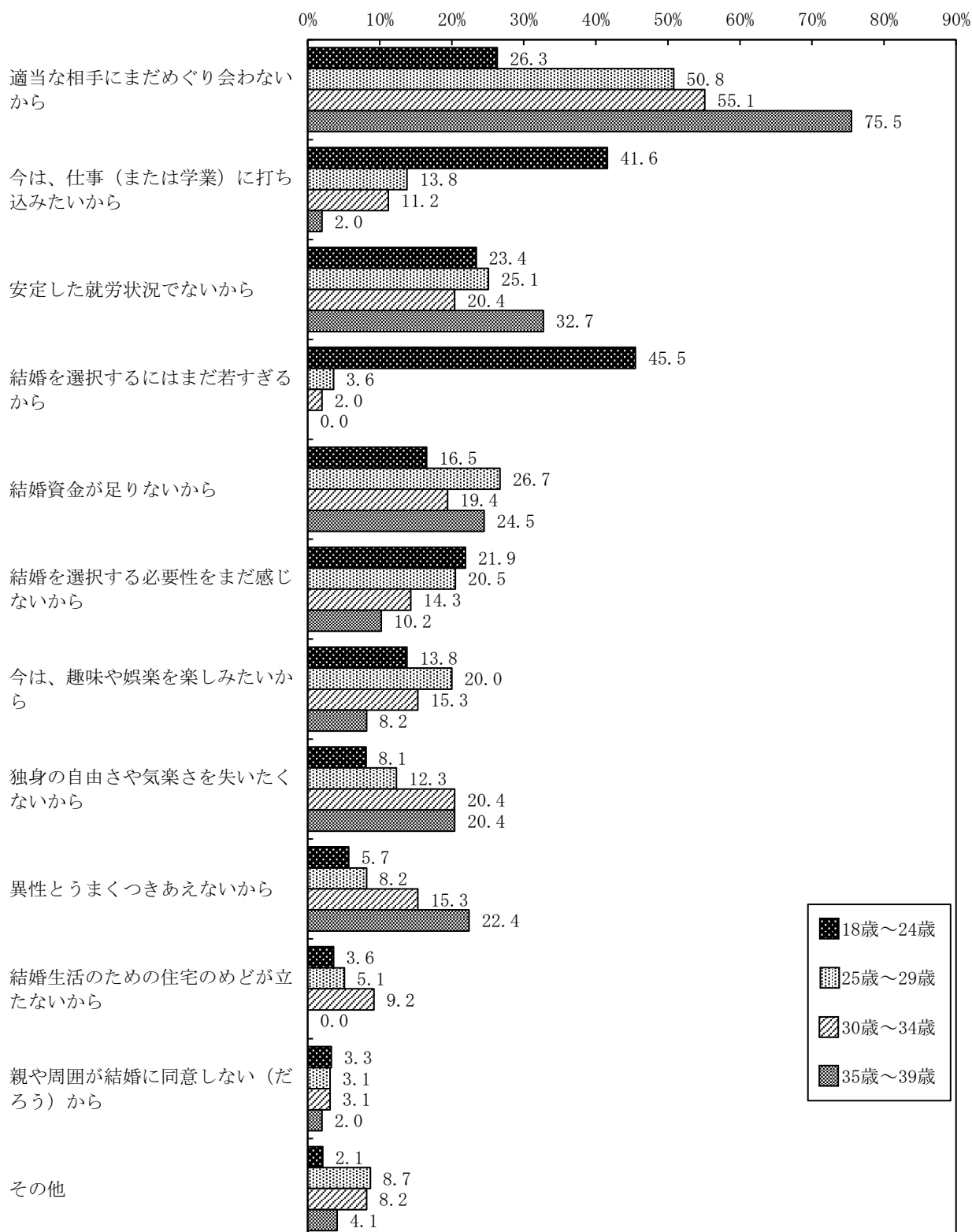
男女とも「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高くなっており、男性では「安定した就労状況でないから」、女性では「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」が二番目に高くなっている。



【年代別】

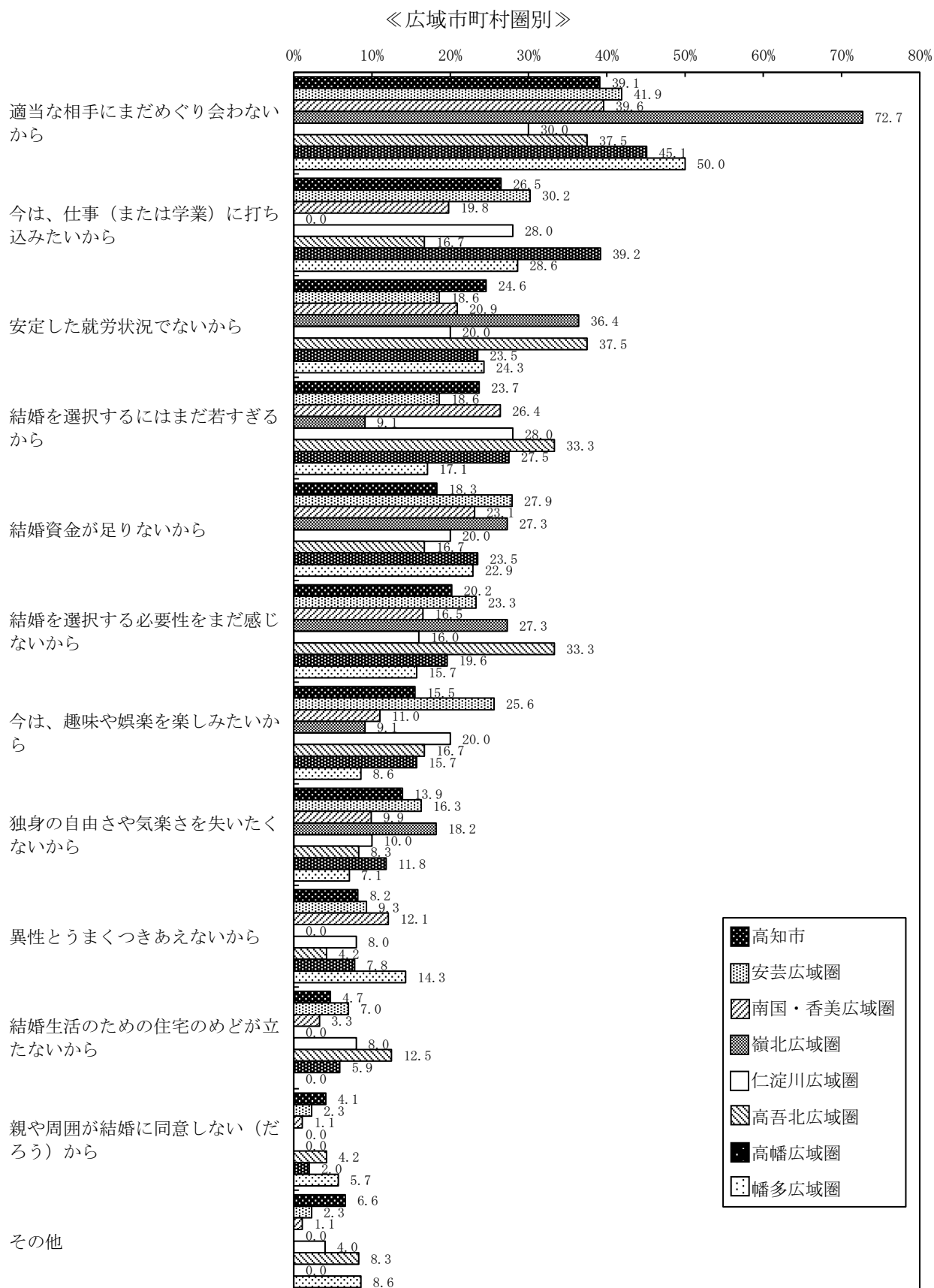
18歳～24歳では「結婚を選択するにはまだ若すぎるから」が、25歳～29歳、30歳～34歳、35歳～39歳では「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

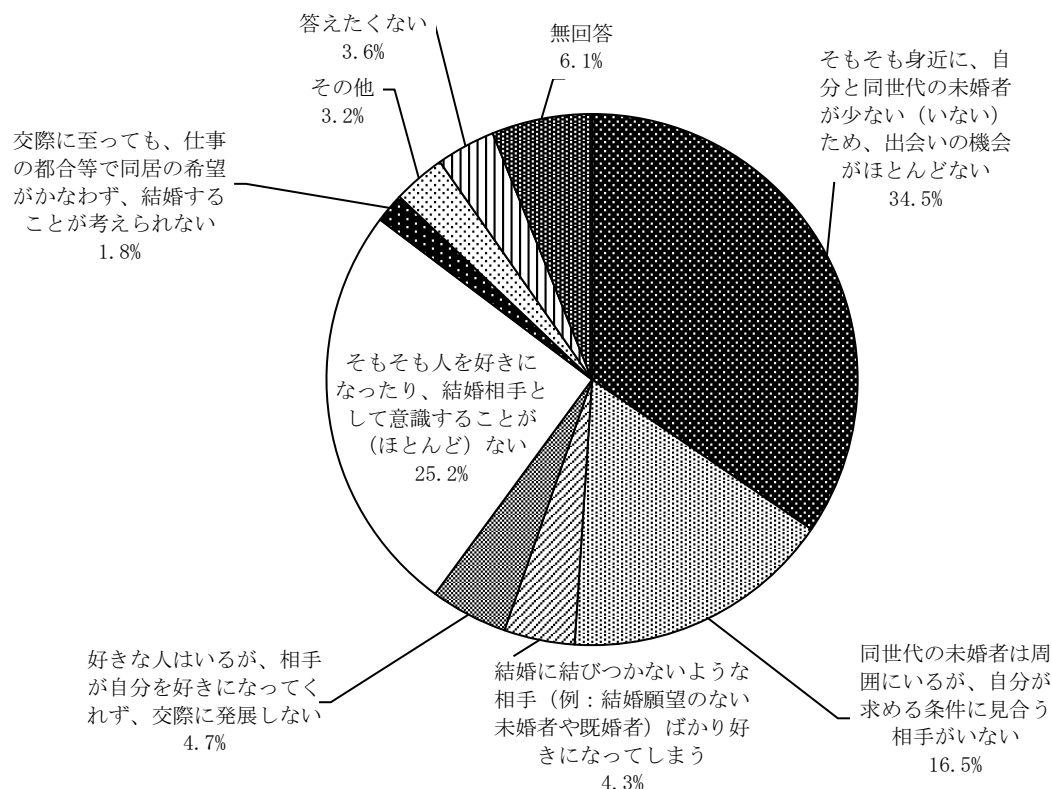
全ての広域市町村圏で「適当な相手にまだめぐり会わないから」が、また、同率で「安定した就労状況でないから」が高吾北広域圏で最も高くなっている。



問 11 問 10 で「6. 適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した方のみお答えください。
「適当な相手にまだめぐり会わない」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものをお選びください。（1つだけ○印）

「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が 34.5%と最も高く、次いで「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」25.2%、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」16.5%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男性では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が、女性では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」が最も高くなっている。

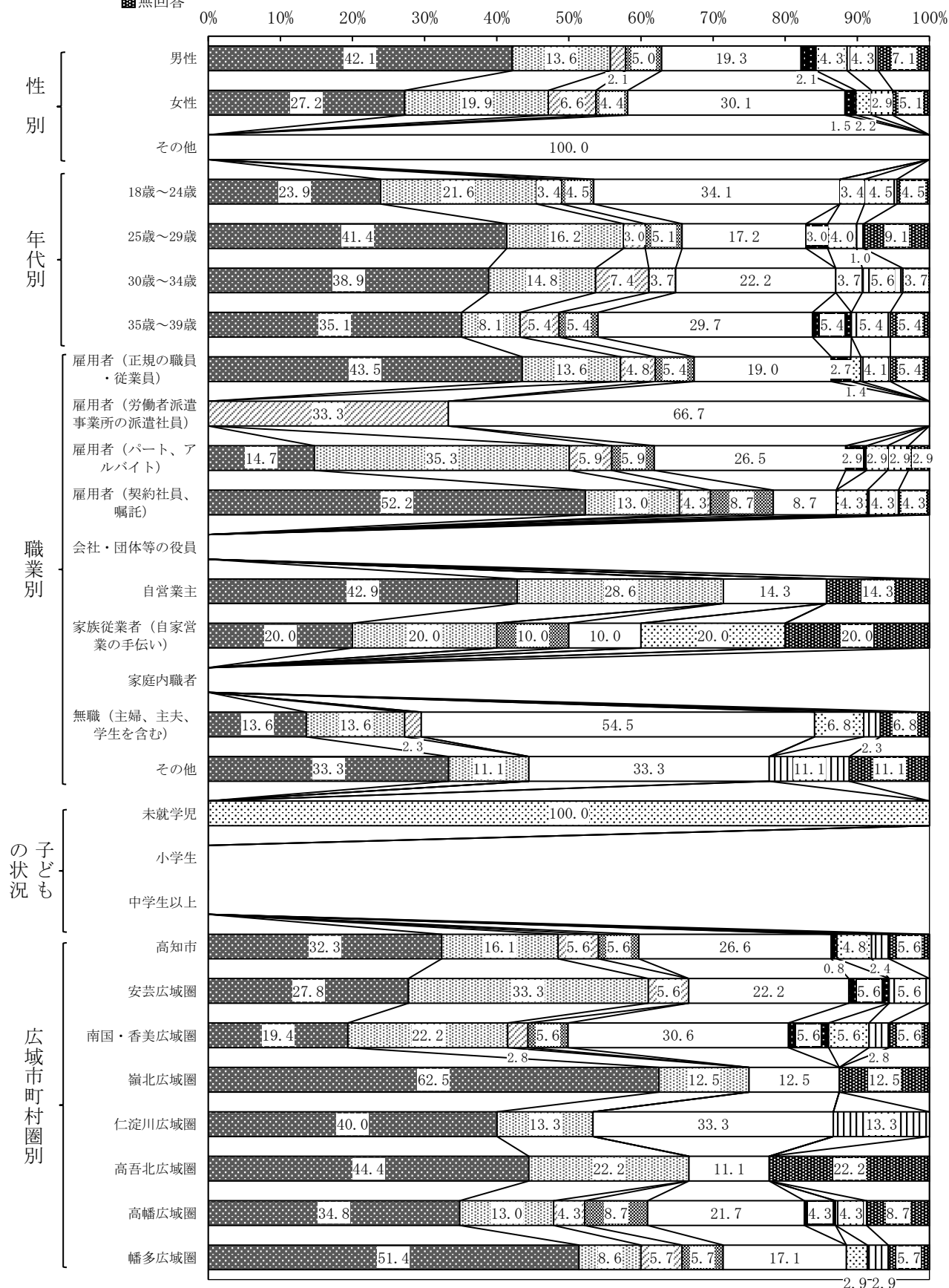
【年代別】

18 歳～24 歳では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」が、25 歳～29 歳、30 歳～34 歳、35 歳～39 歳では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が、安芸広域圏では「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が、南国・香美広域圏では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」が最も高くなっている。

- そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない
- 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない
- 結婚に結びつかないような相手（例：結婚願望のない未婚者や既婚者）ばかり好きになってしまう
- 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
- そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない
- 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
- その他
- 答えたくない
- 無回答



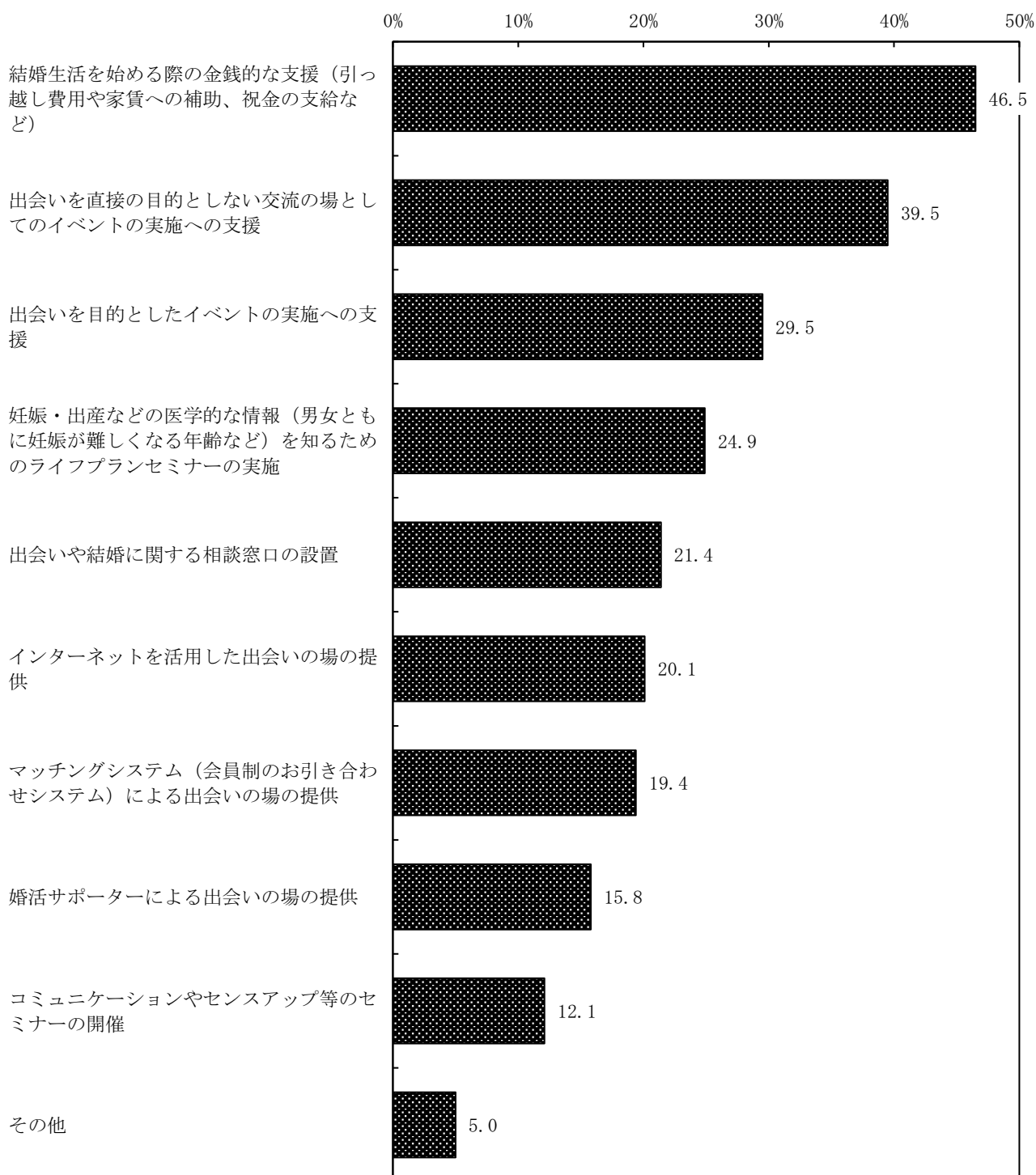
問 12 全ての方にお聞きます。

出会いや結婚に関する行政の支援として、必要だと思うものは何ですか。

(あてはまるもの全て○印)

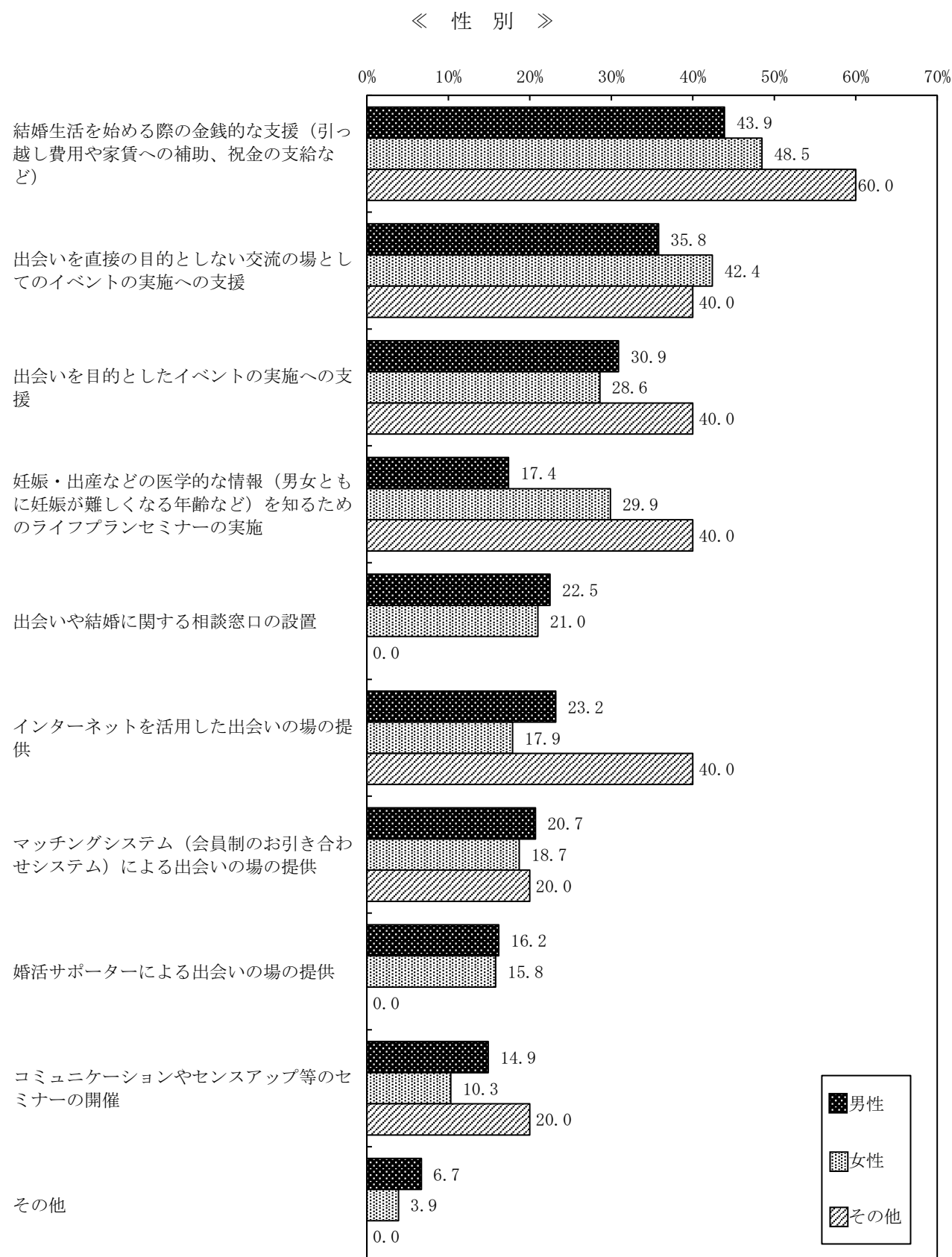
「結婚生活を始める際の金銭的な支援（引っ越し費用や家賃への補助、祝金の支給など）」が 46.5%と最も高く、次いで「出会いを直接の目的としない交流の場としてのイベントの実施への支援」39.5%、「出会いを目的としたイベントの実施への支援」29.5%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

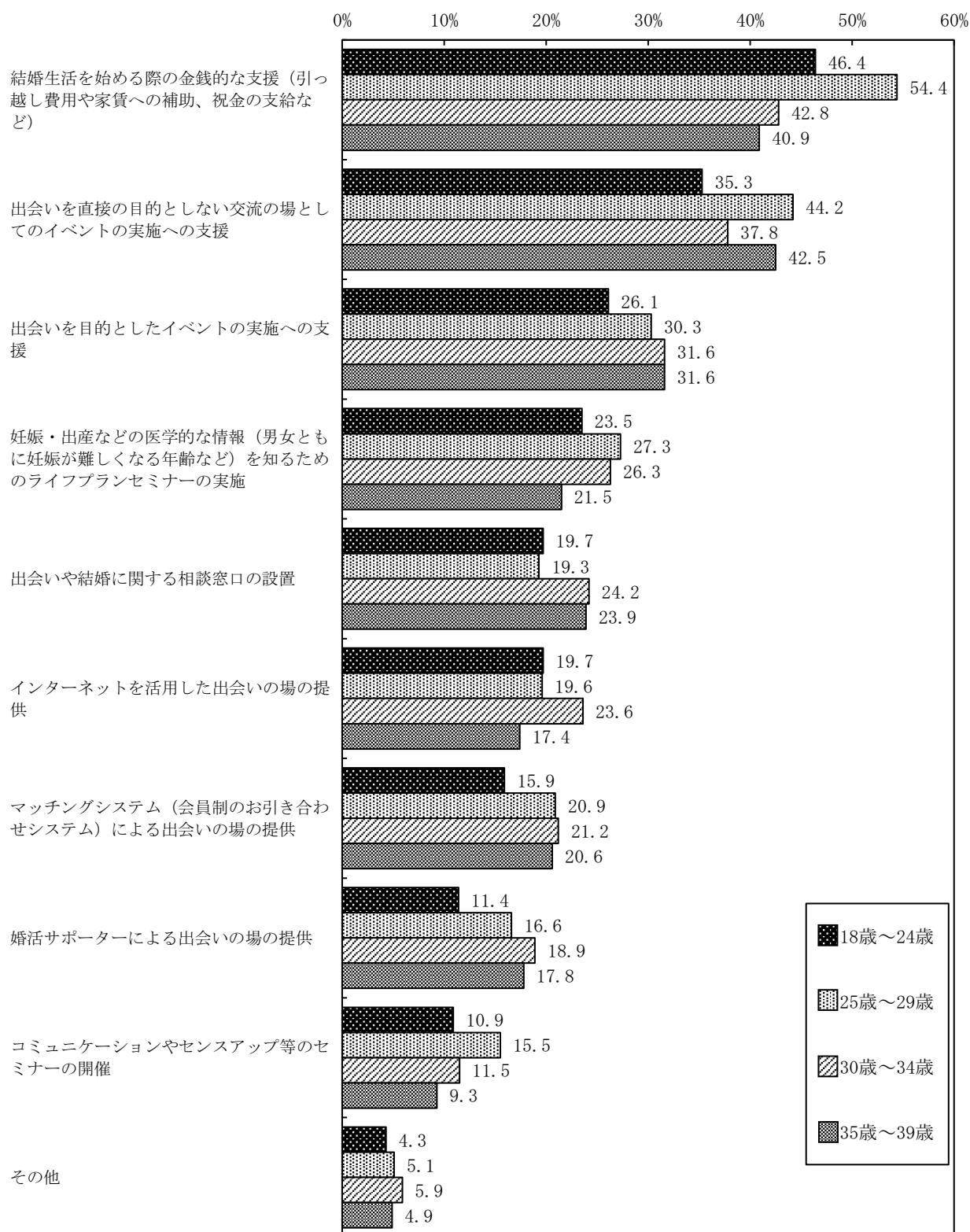
男女とも「結婚生活を始める際の金銭的な支援（引っ越し費用や家賃への補助、祝金の支給など）」が最も高くなっている。



【年代別】

18歳～24歳、25歳～29歳、30歳～34歳では「結婚生活をはめる際の金銭的な支援（引っ越し費用や家賃への補助、祝金の支給など）」が、35歳～39歳では「出会いを直接の目的としない交流の場としてのイベントの実施への支援」が最も高くなっている。

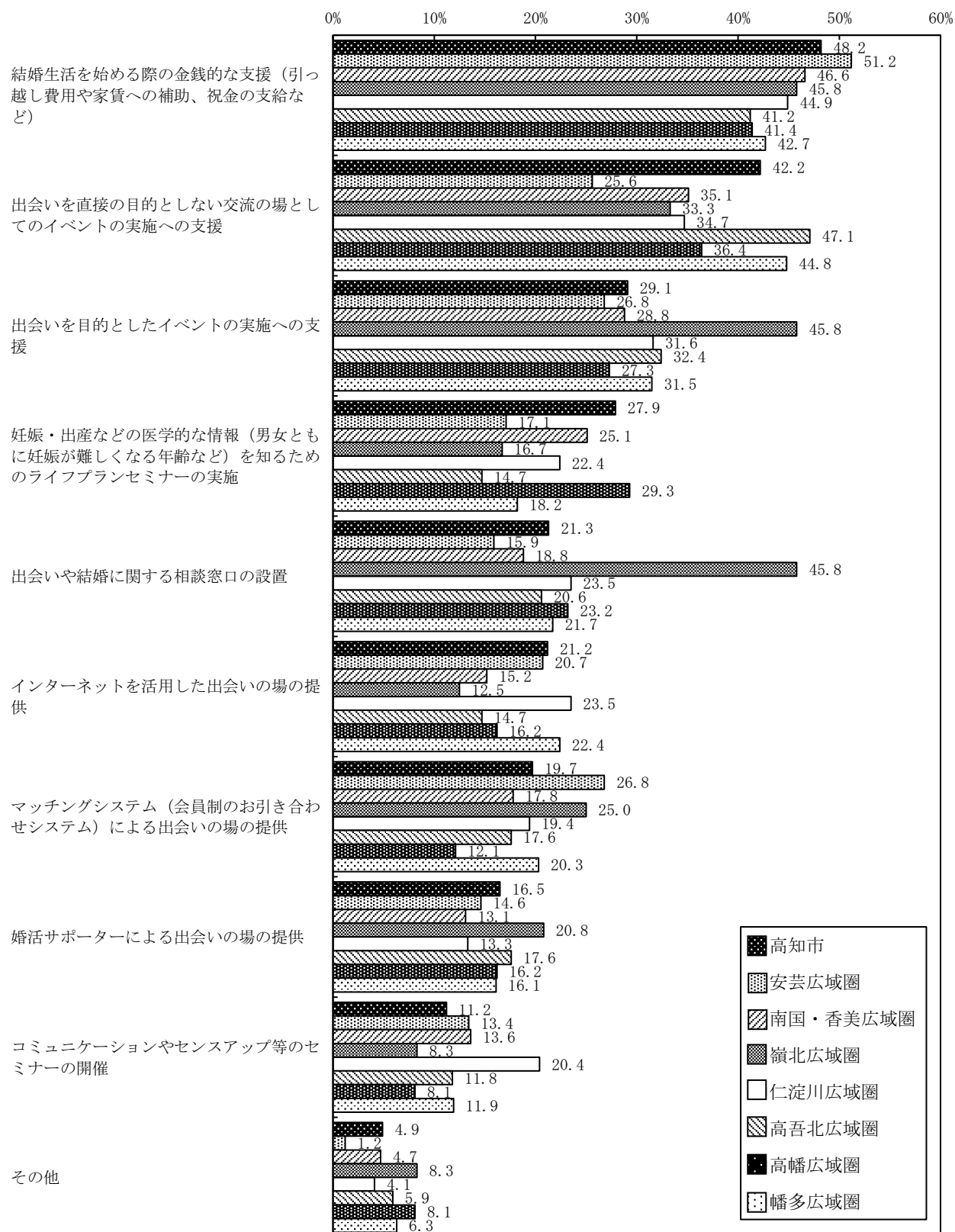
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏では「結婚生活をはじめの金銭的な支援（引っ越し費用や家賃への補助、祝金の支給など）」が、高吾北広域圏、幡多広域圏では「出会いを直接の目的としない交流の場としてのイベントの実施への支援」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

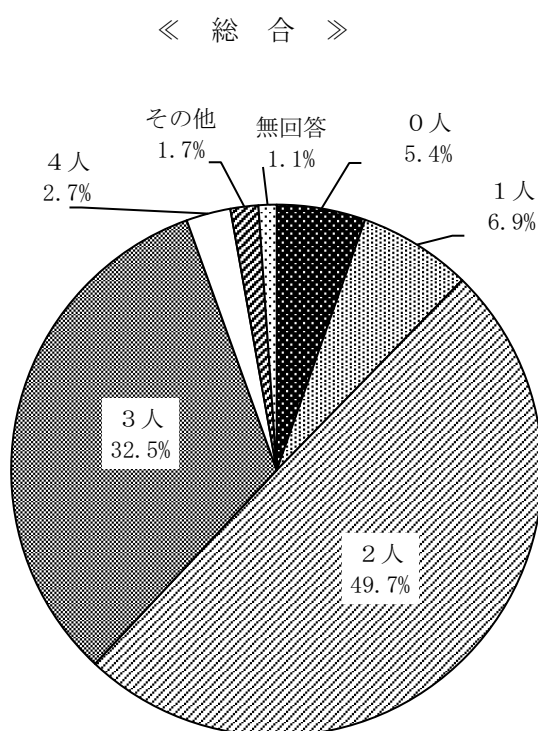


【4. 子育てについて】

問 13 あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか。

(1つだけ○印)

「2人」が49.7%と最も高く、次いで「3人」32.5%、「1人」6.9%と続いている。



【性別】

男女とも「2人」が最も高くなっている。

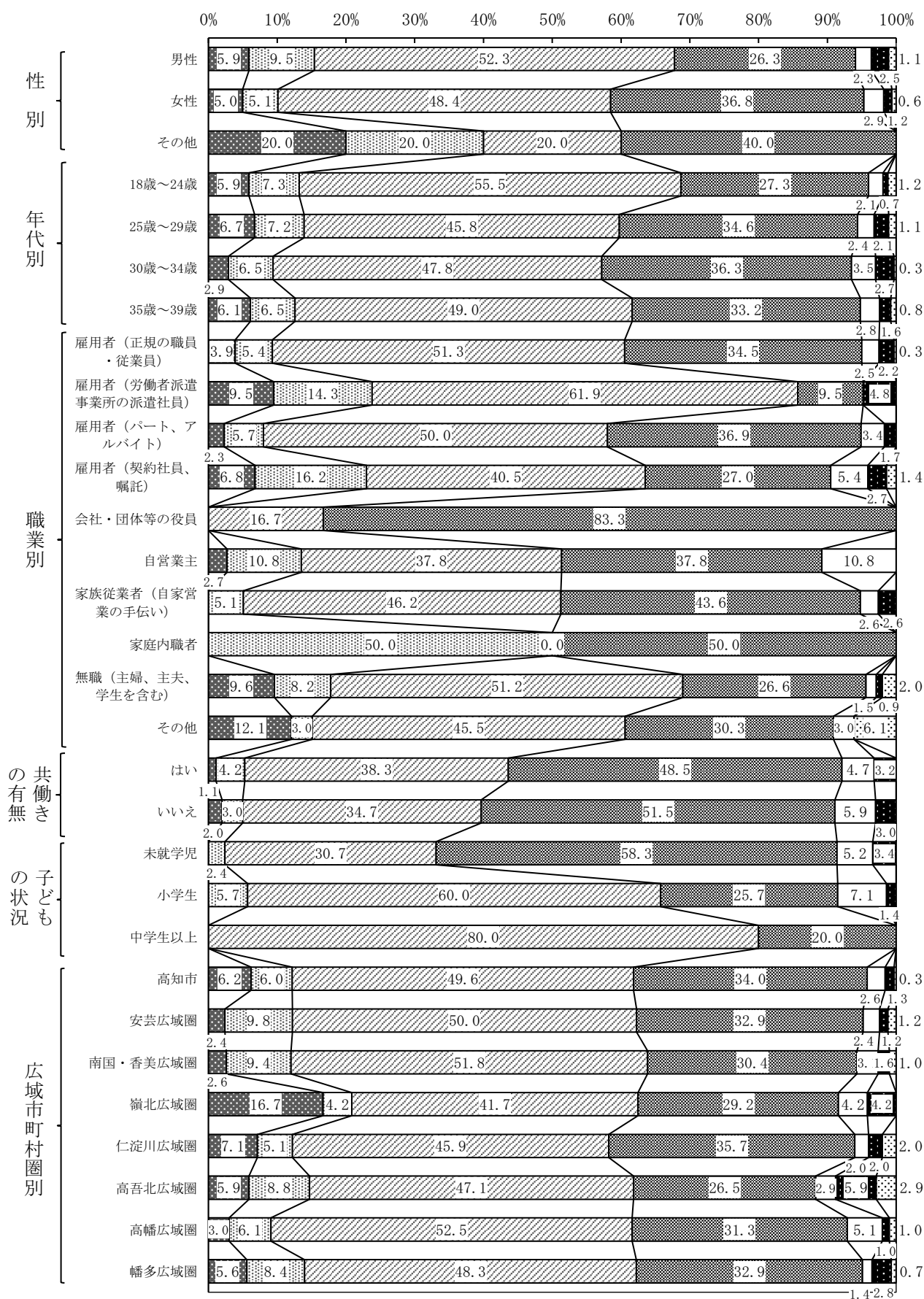
【年代別】

全ての年代で「2人」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

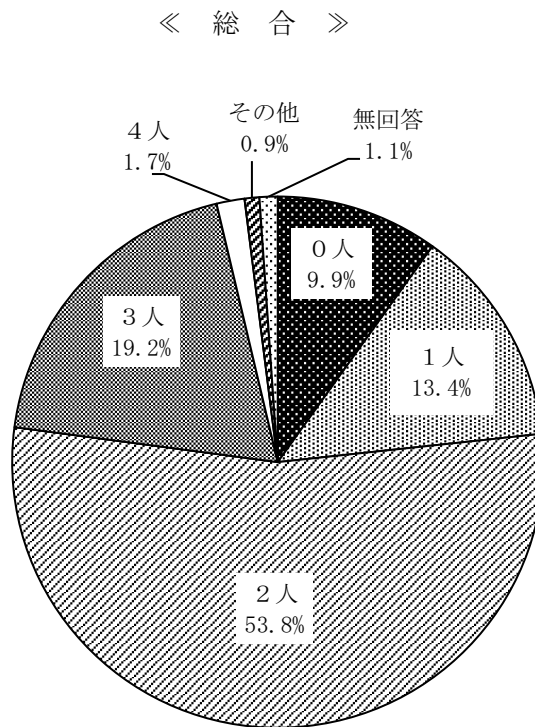
全ての広域市町村圏で「2人」が最も高くなっている。

0人
 1人
 2人
 3人
 4人
 その他
 無回答



問 14 あなたが、現実的に持ちたいと考えている子どもの人数は何人ですか。
(現在の人数と今後持つつもりの人数の合計) (1つだけ○印)

「2人」が53.8%と最も高く、次いで「3人」19.2%、「1人」13.4%が続いている。



【性別】

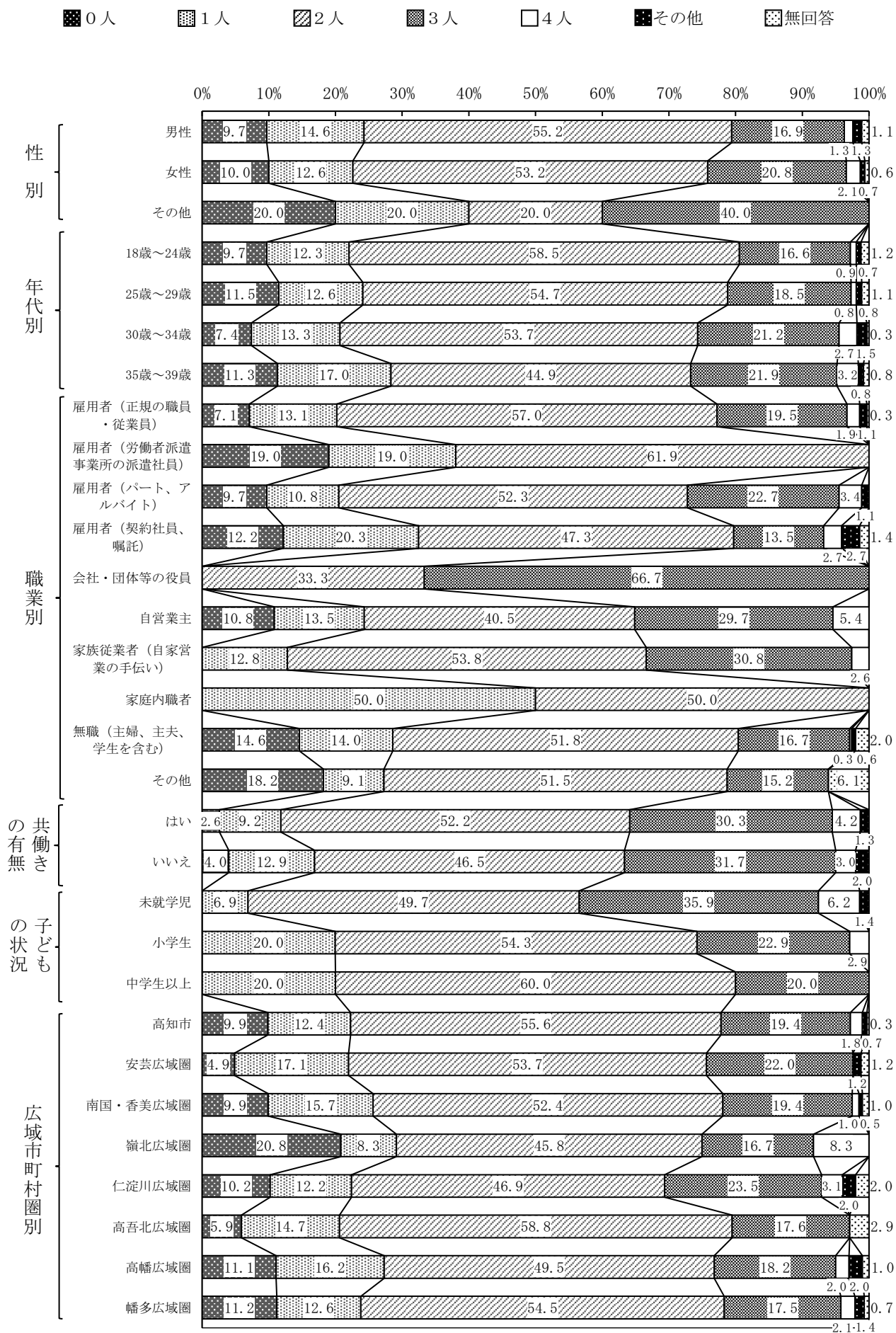
男女とも「2人」が最も高くなっている。

【年代別】

全ての年代で「2人」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「2人」が最も高くなっている。嶺北広域圏を除く全ての広域市町村圏で「3人」が、嶺北広域圏では「0人」が二番目に高くなっている。

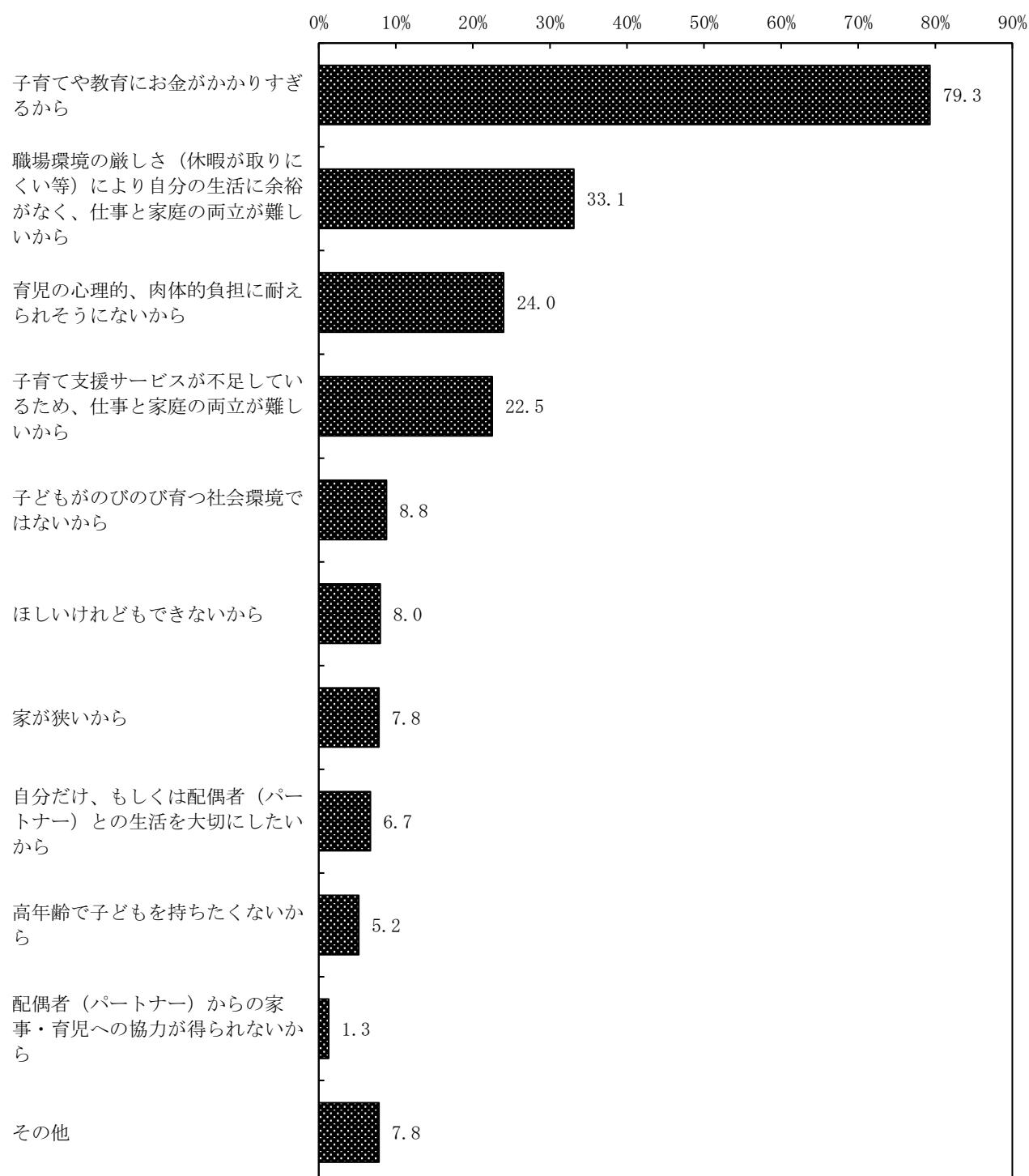


問 15 理想の数だけ子どもを持たない理由について、あなたの考えに近いものをお答えください。
(問 14 の人数が問 13 の人数より少ない方のみお答えください。)

(3つまで○印)

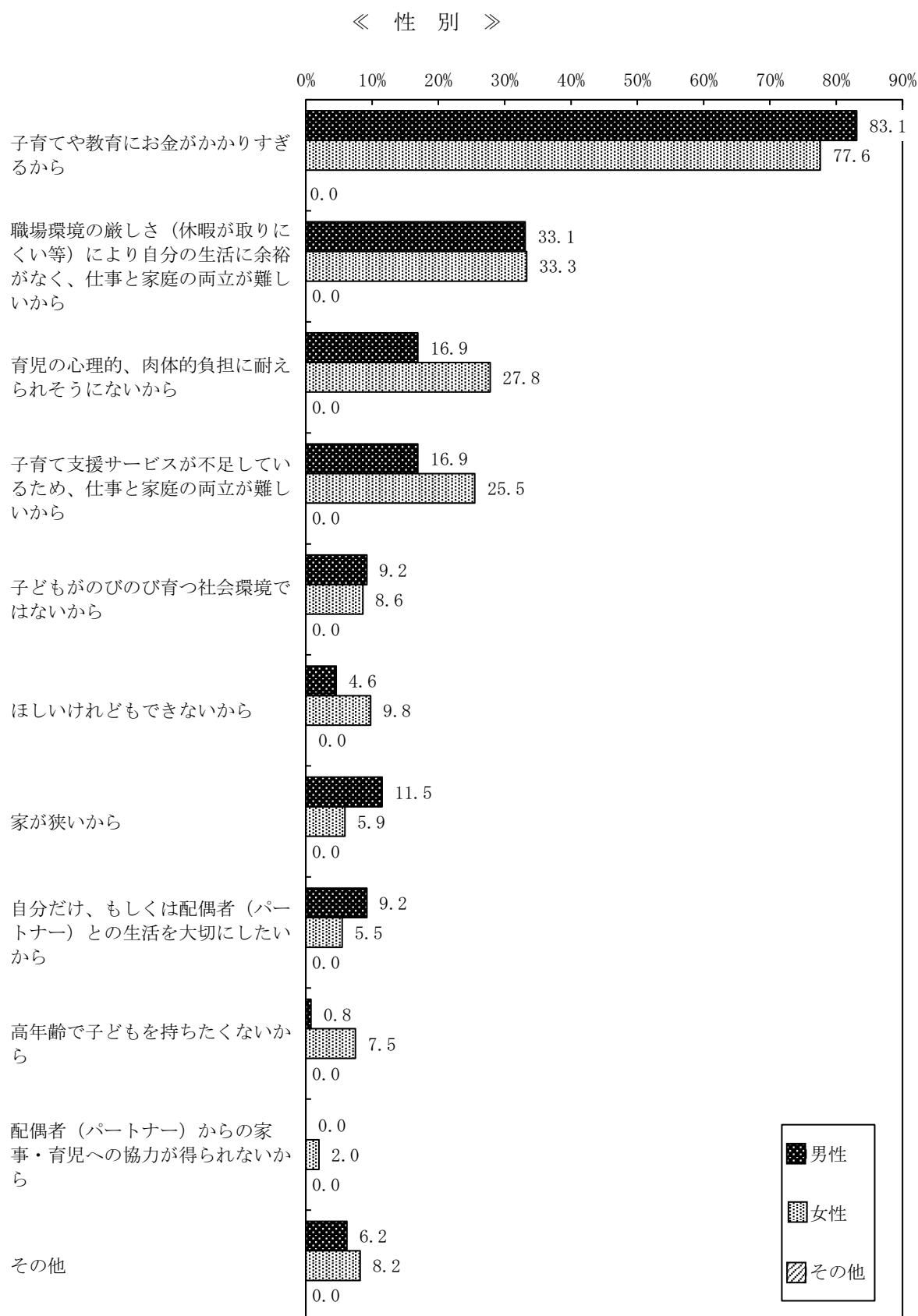
「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 79.3%で最も高く、次いで「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」33.1%、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられそうにないから」24.0%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

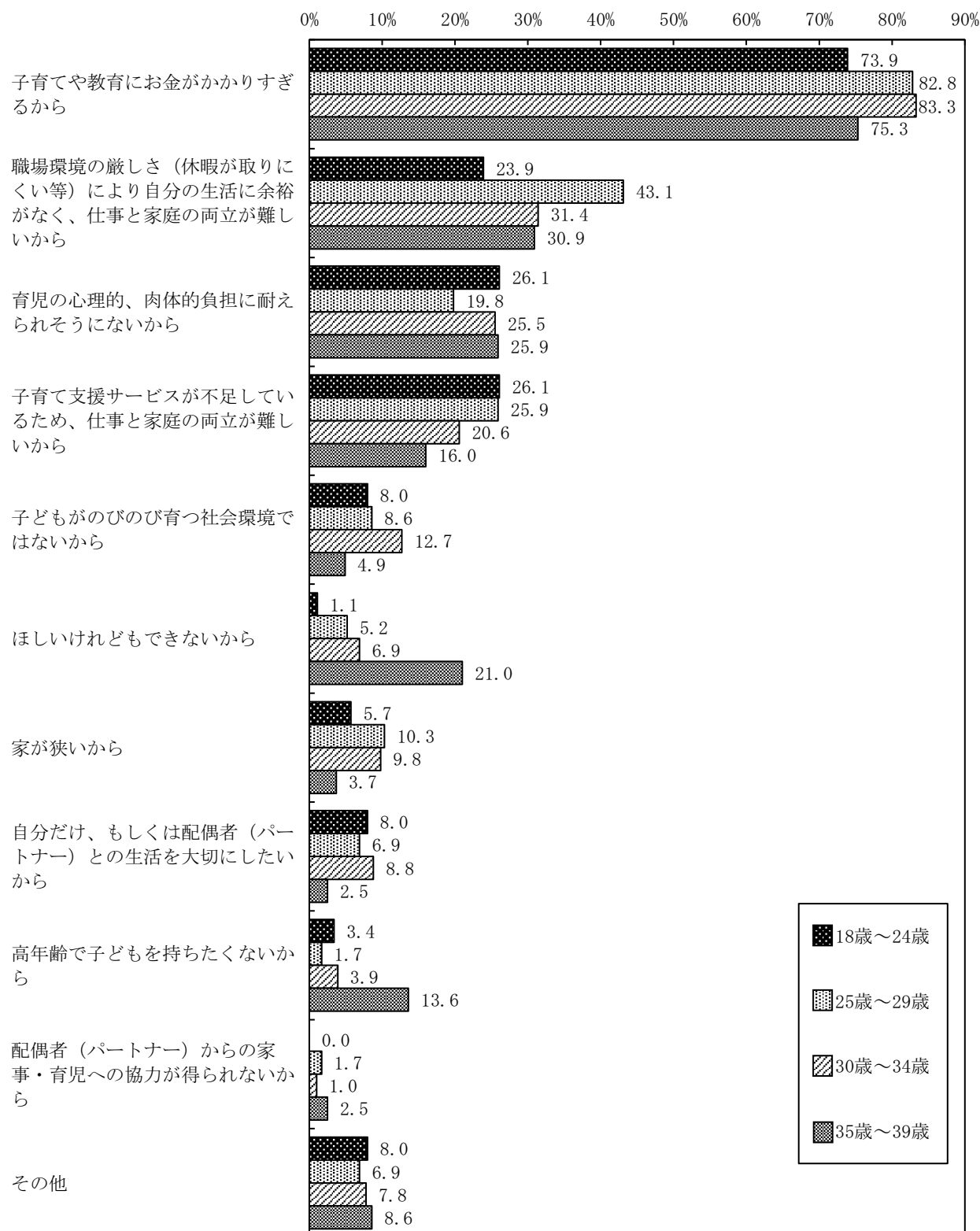
男女とも「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高くなっている。



【年代別】

全ての年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高く、18歳～24歳では「育児の心理的、肉体的負担に耐えられそうにないから」と「子育て支援サービスが不足しているため、仕事と家庭の両立が難しいから」が同率で、25歳～29歳、30歳～34歳、35歳～39歳では「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」が二番目に高くなっている

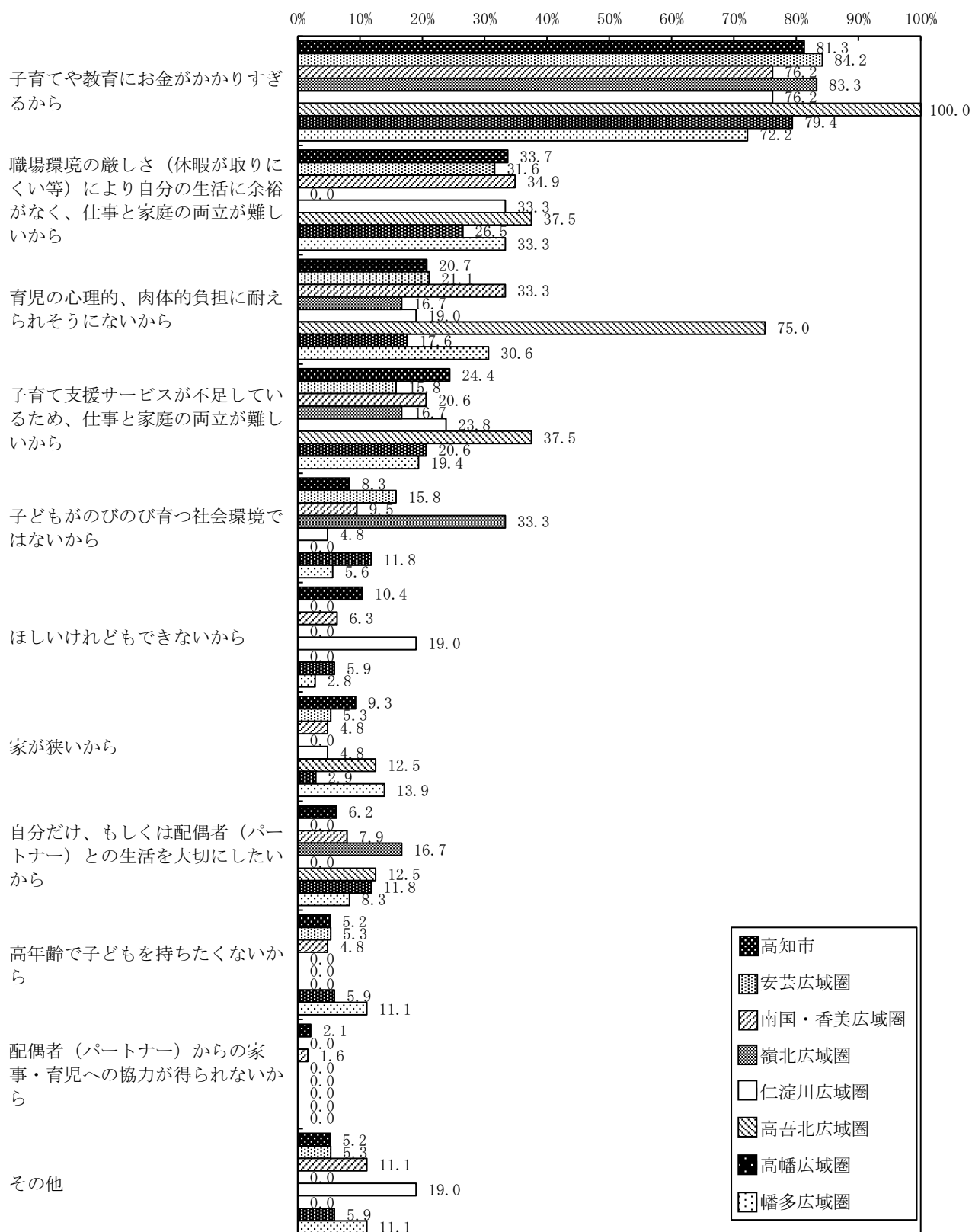
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高く、中でも高吾北広域圏では 100.0% となっている。

《 広域市町村圏別 》



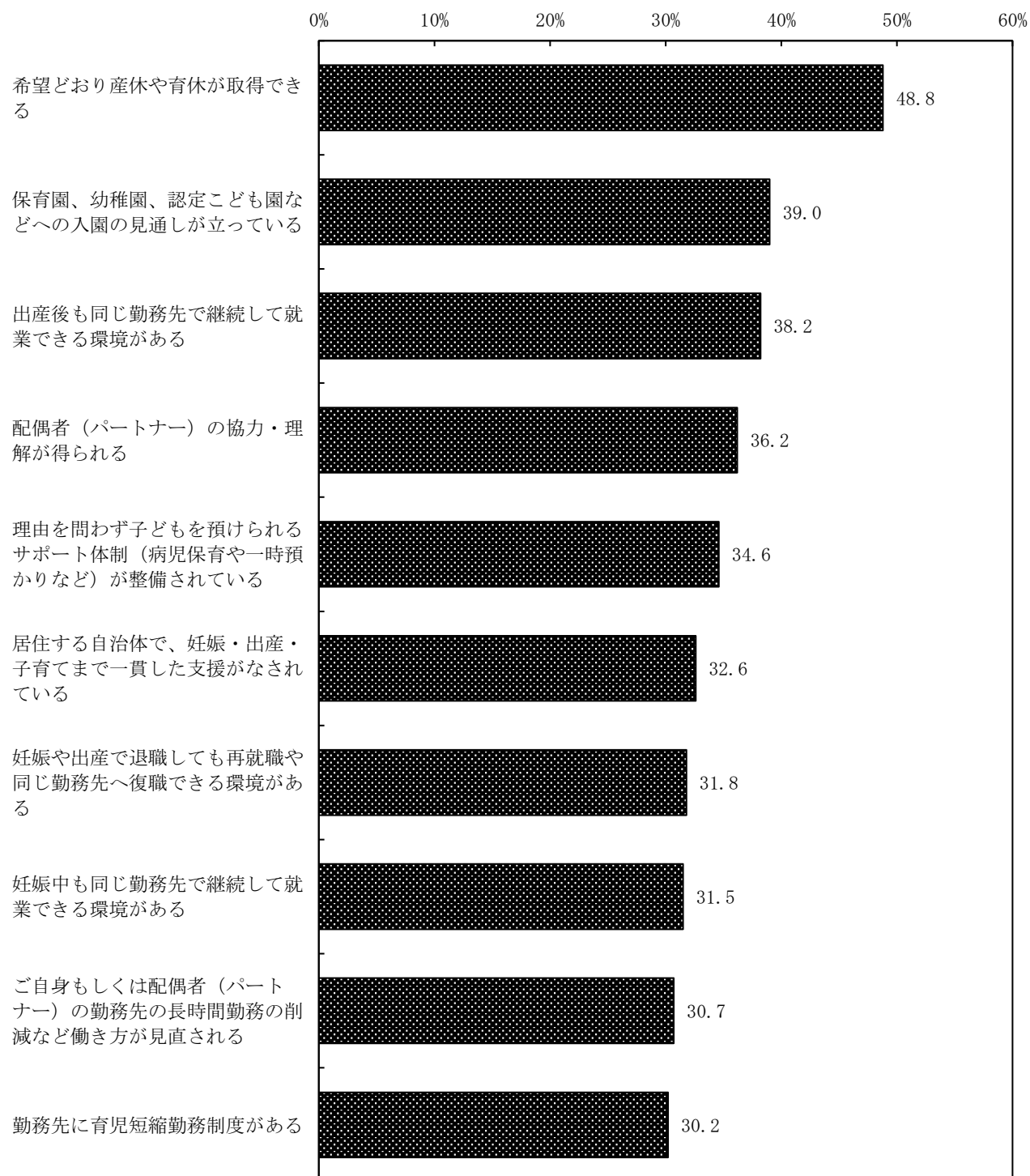
問 16 問 14 の人数が問 13 の人数より少ない方のみお答えください。

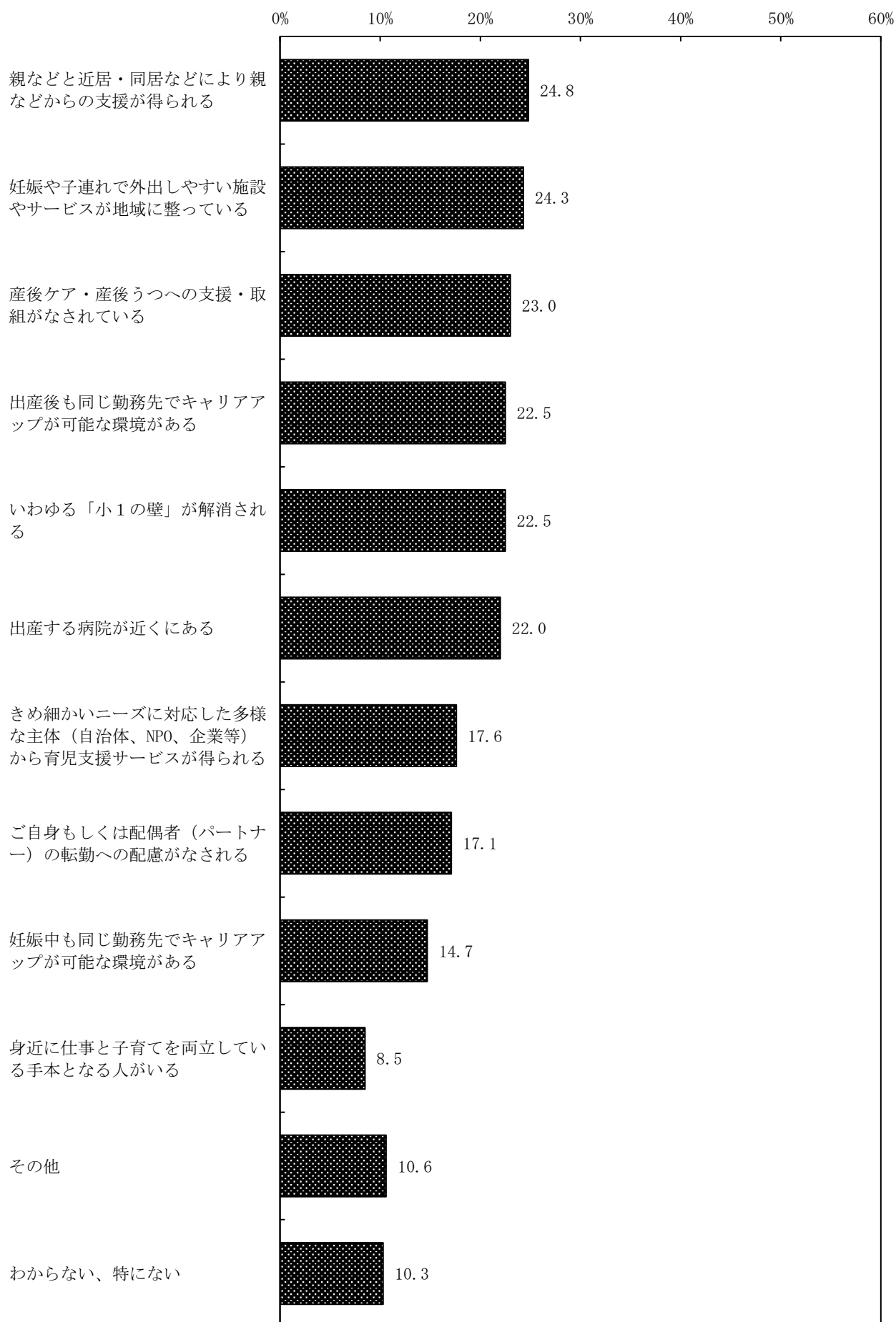
どのような環境があれば理想の数だけ子どもを持つことが可能になるとおもいますか。

(あてはまるもの全て○印)

「希望どおり産休や育休が取得できる」が 48.8%と最も高く、次いで「保育園、幼稚園、認定こども園などへの入園の見通しが立っている」39.0%、「出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある」38.2%と続いている。

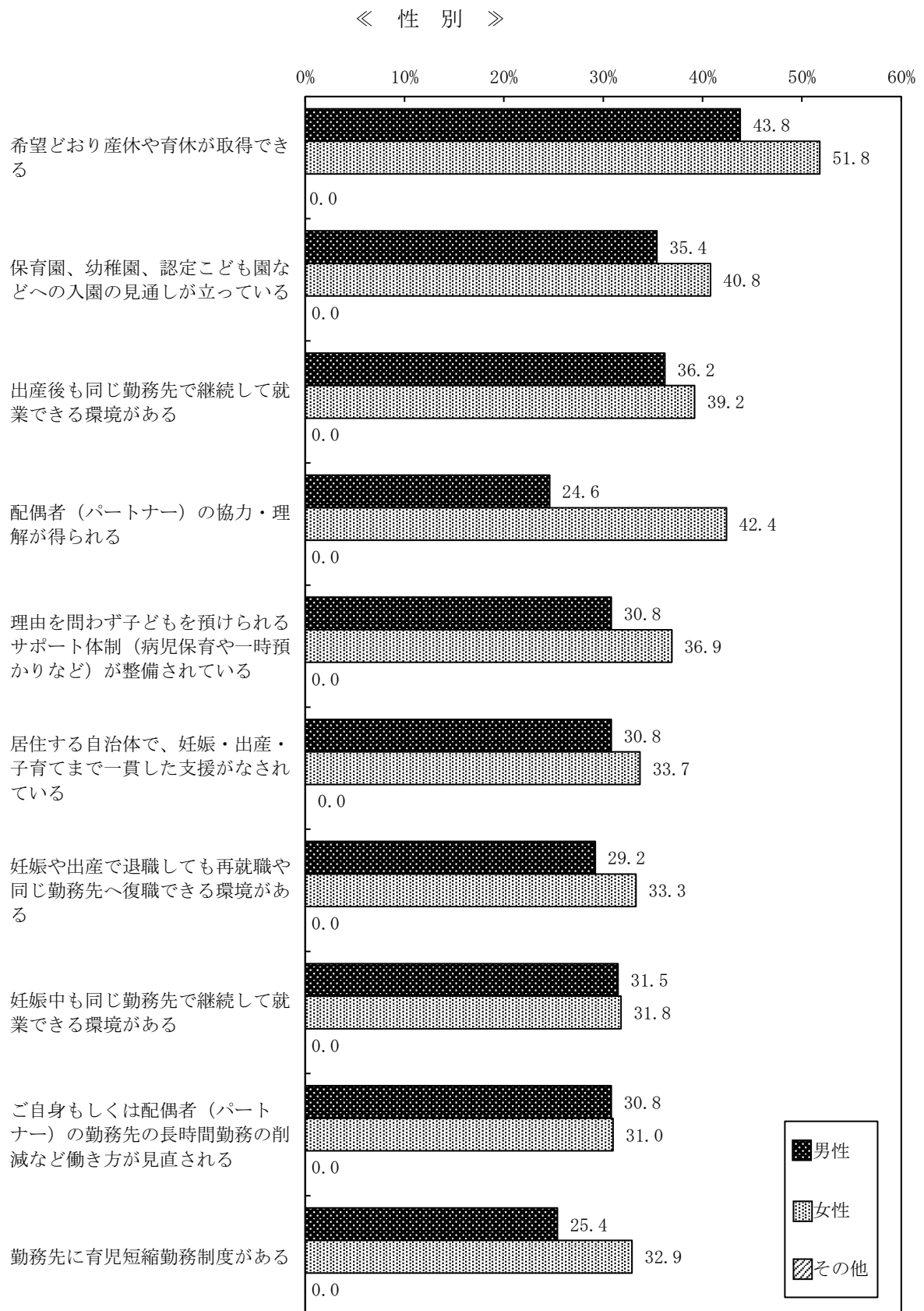
《 総 合 》

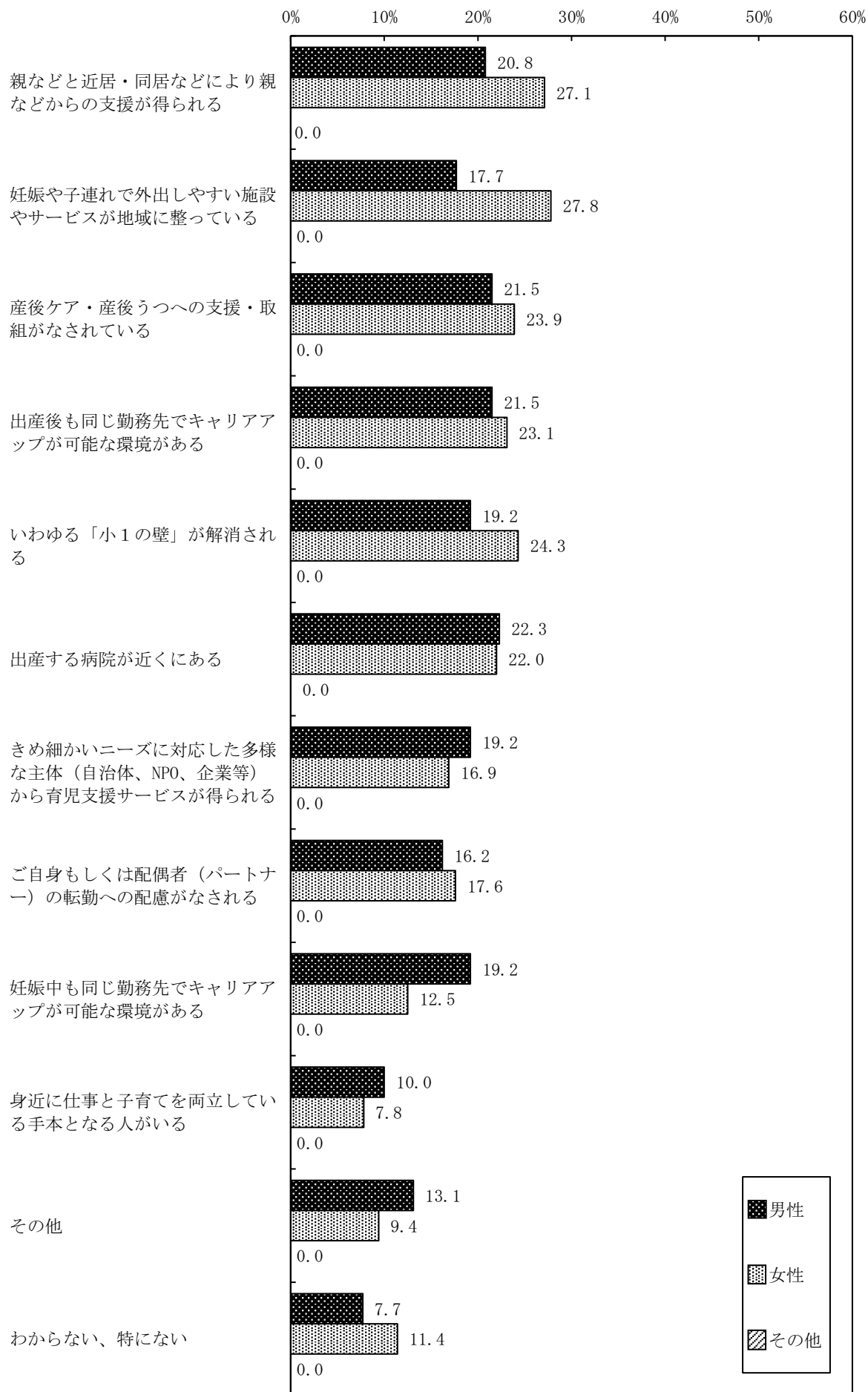




【性別】

男女とも「希望どおり産休や育休が取得できる」が最も高くなっている。次いで男性では「出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある」が、女性では「配偶者（パートナー）の協力・理解が得られる」が二番目に高くなっている。

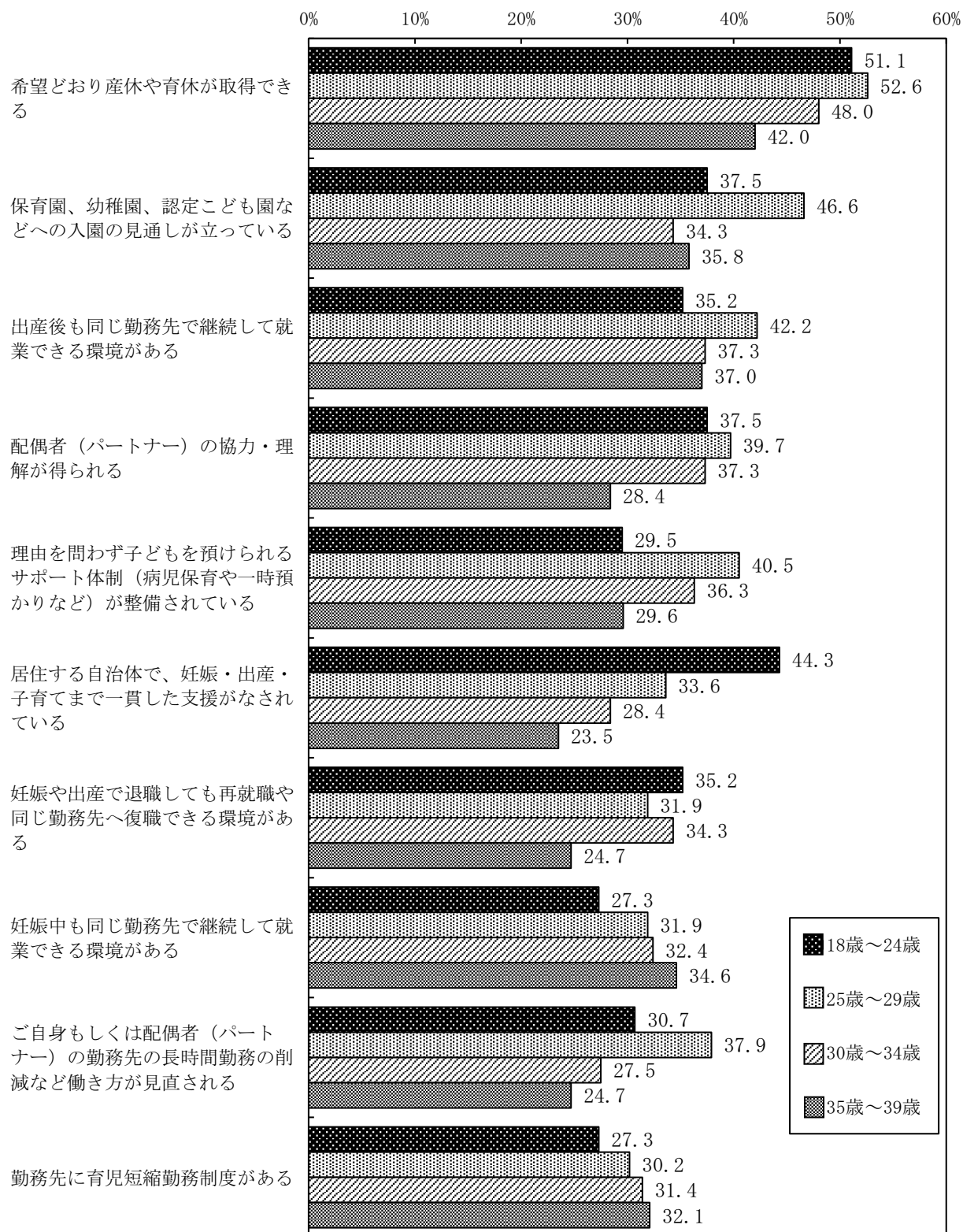


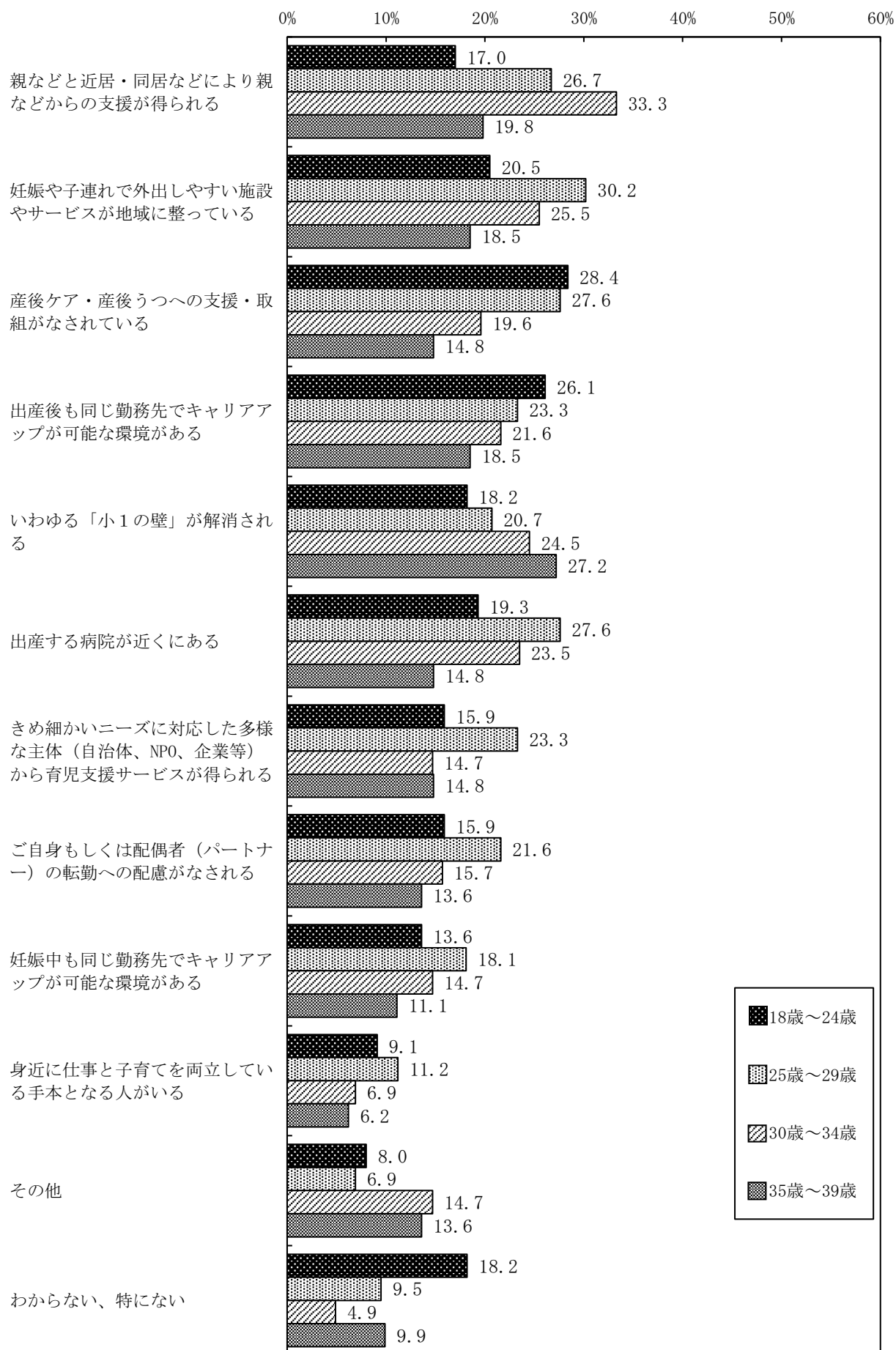


【年代別】

全ての年代で「希望どおり産休や育休が取得できる」が最も高くなっている。

《 年 代 別 》

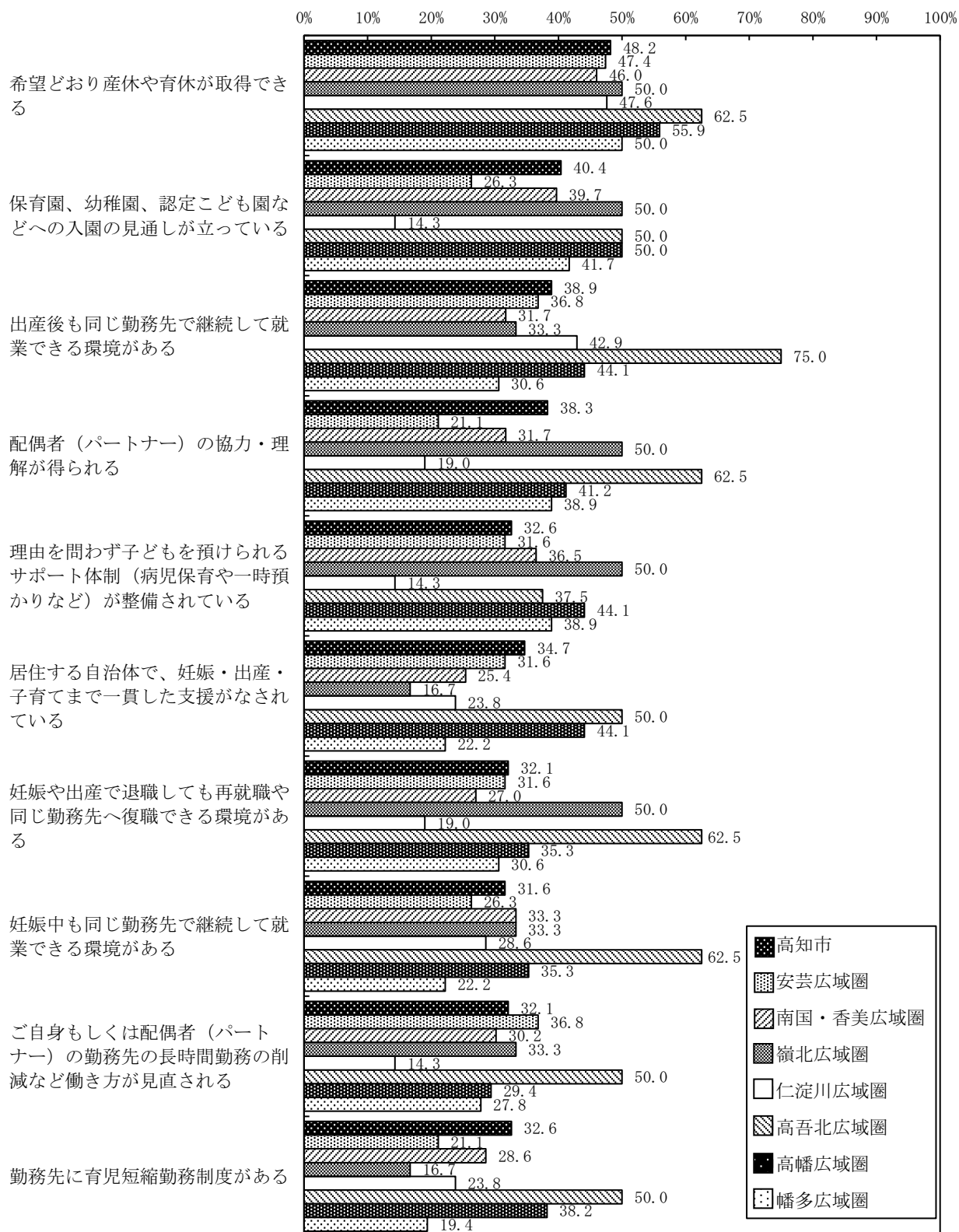


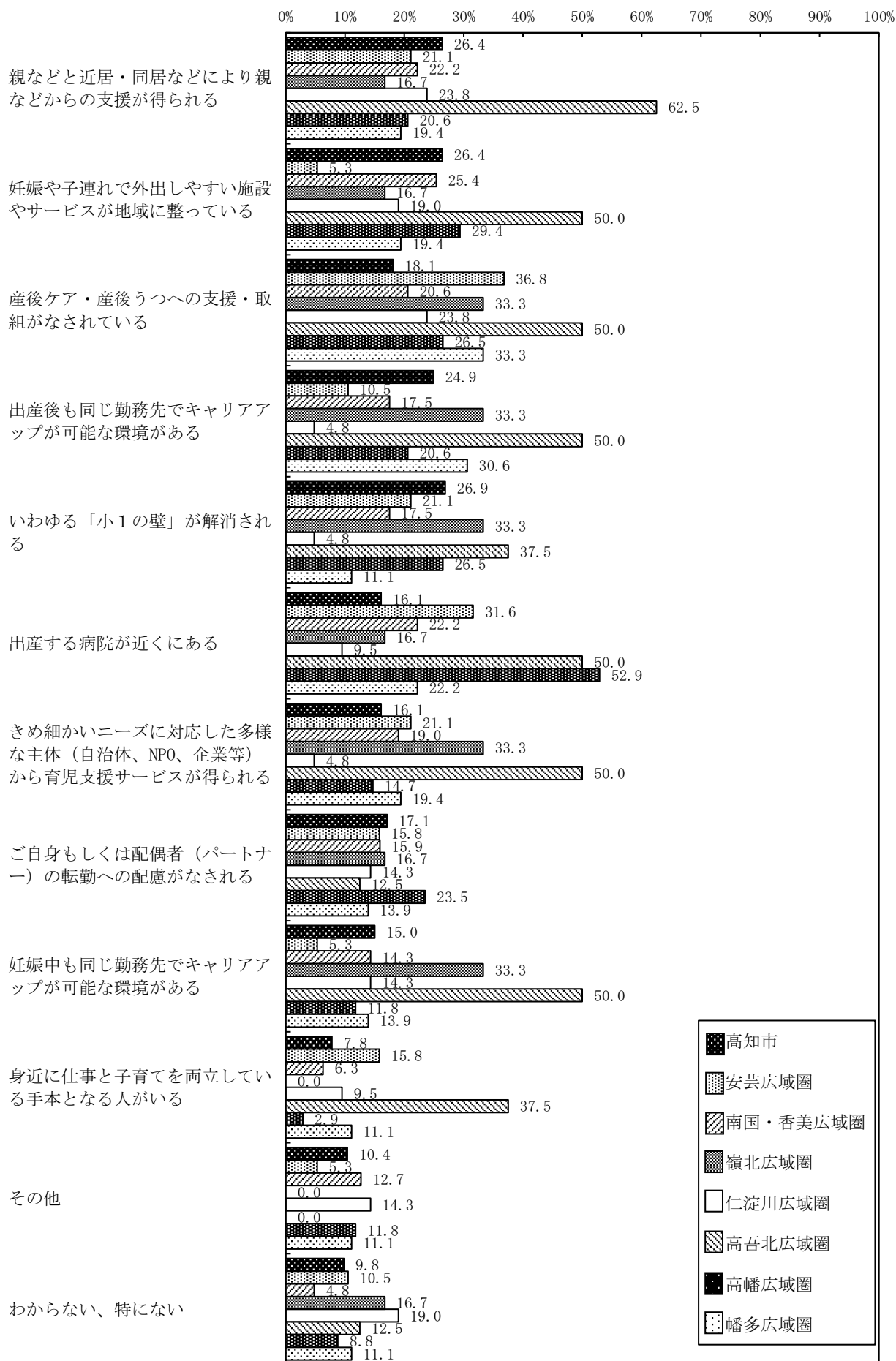


【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「希望どおり産休や育休が取得できる」が最も高く、また嶺北広域圏では「保育園、幼稚園、認定こども園などへの入園の見通しが立っている」、「配偶者（パートナー）の協力・理解が得られる」、「理由を問わず子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている」、「妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある」が同率で最も高くなっている。

《広域市町村圏別》



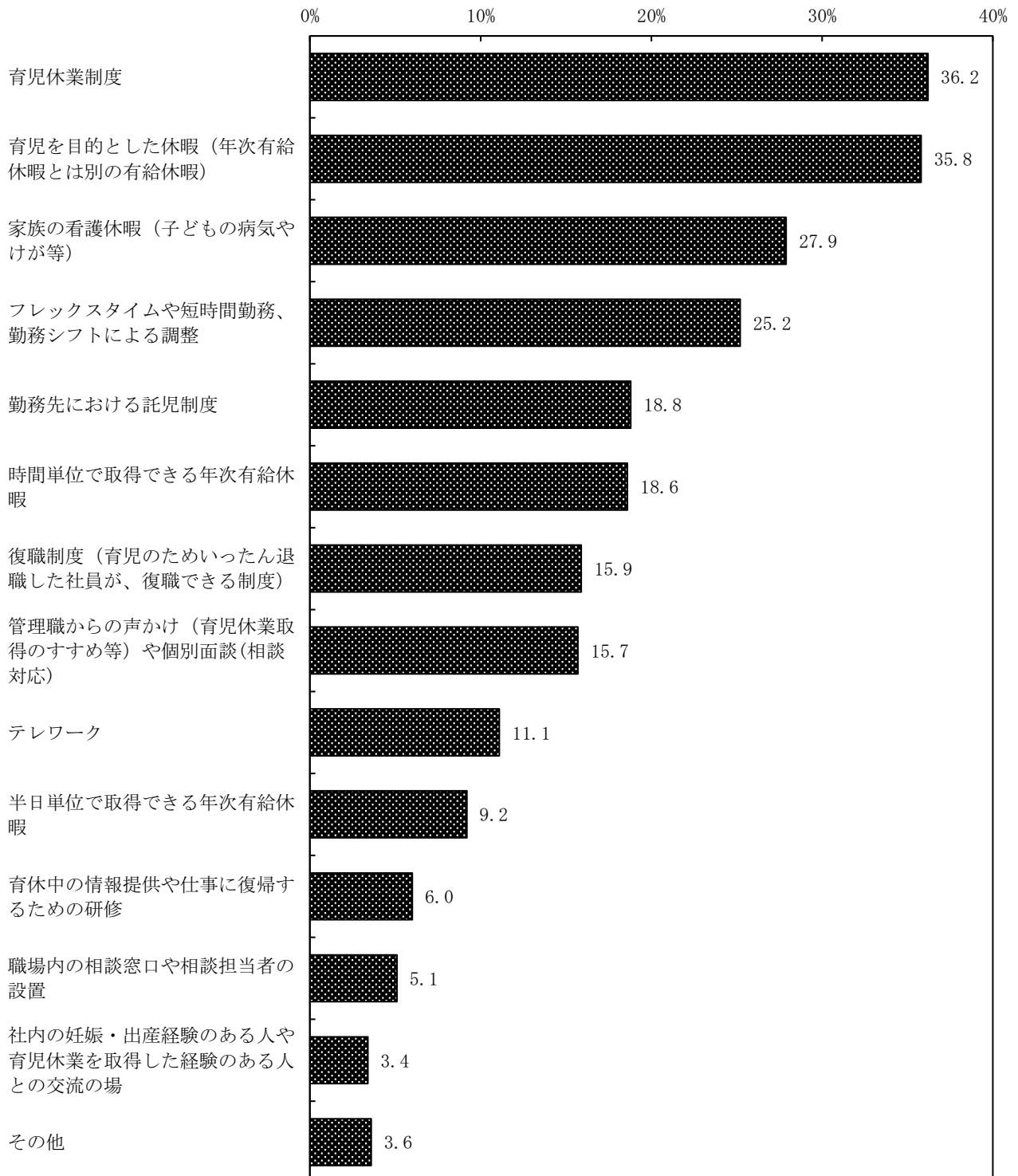


<問 17 は、 現在、会社・団体にお勤めの方（雇用者）のみお答えください。>

問 17 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために、あなたの職場に必要であると思う制度、仕組みは何だと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。（3つまで○印）

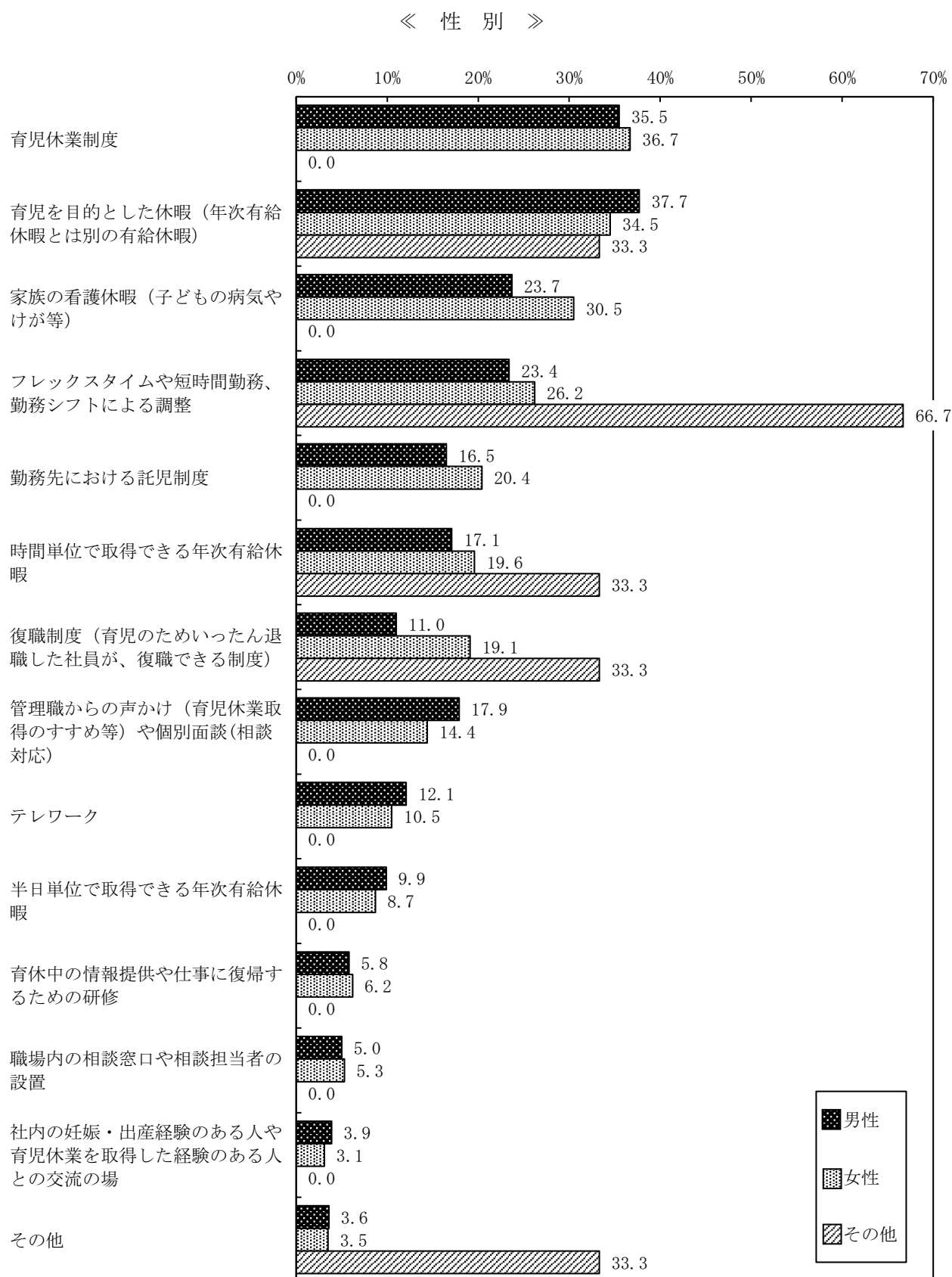
「育児休業制度」が 36.2%と最も高く、次いで「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」35.8%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」27.9%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

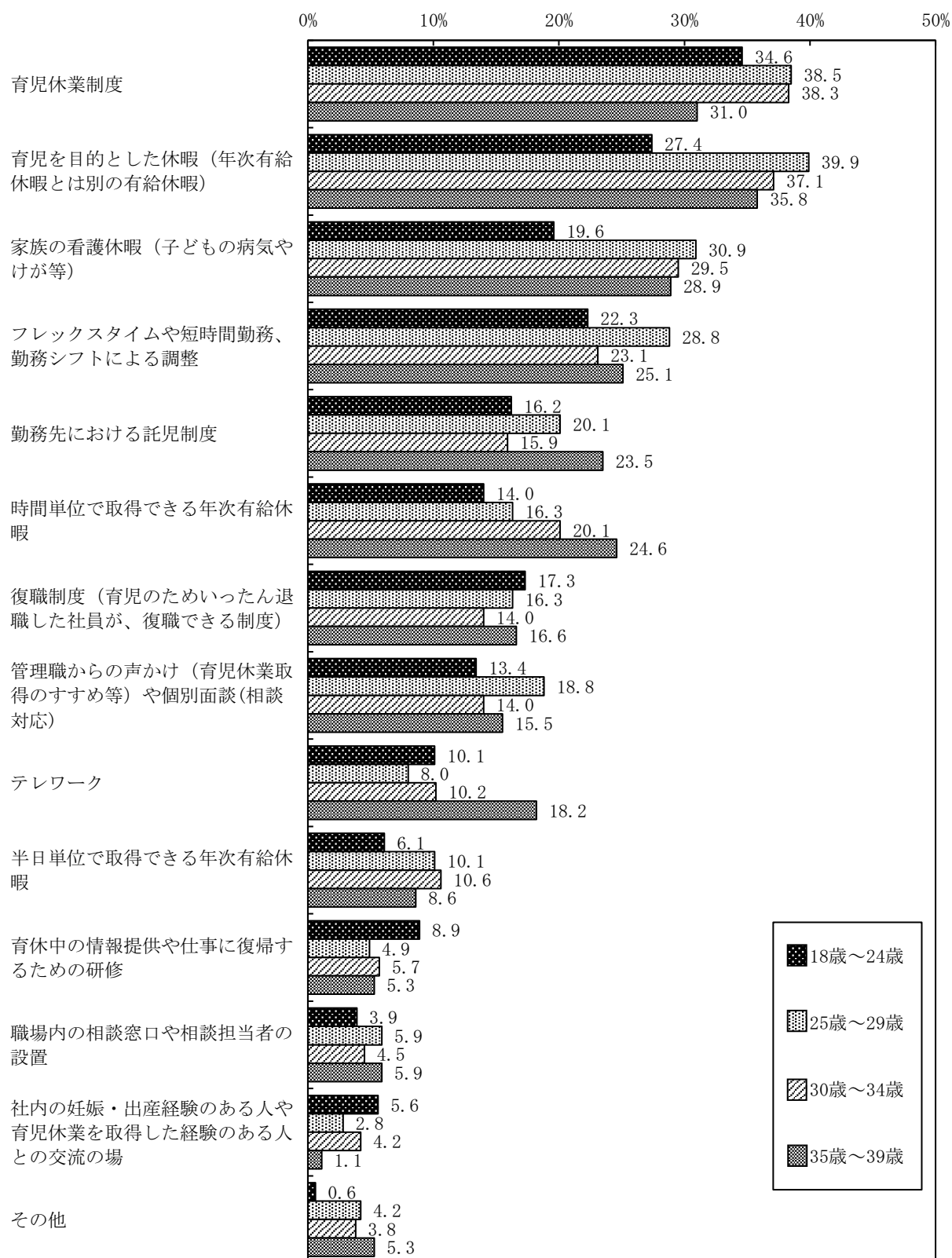
男性では「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が、女性では「育児休業制度」が最も高くなっている。



【年代別】

18歳～24歳、30歳～34歳では「育児休業制度」が、25歳～29歳、34歳～39歳では「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が最も高くなっている。

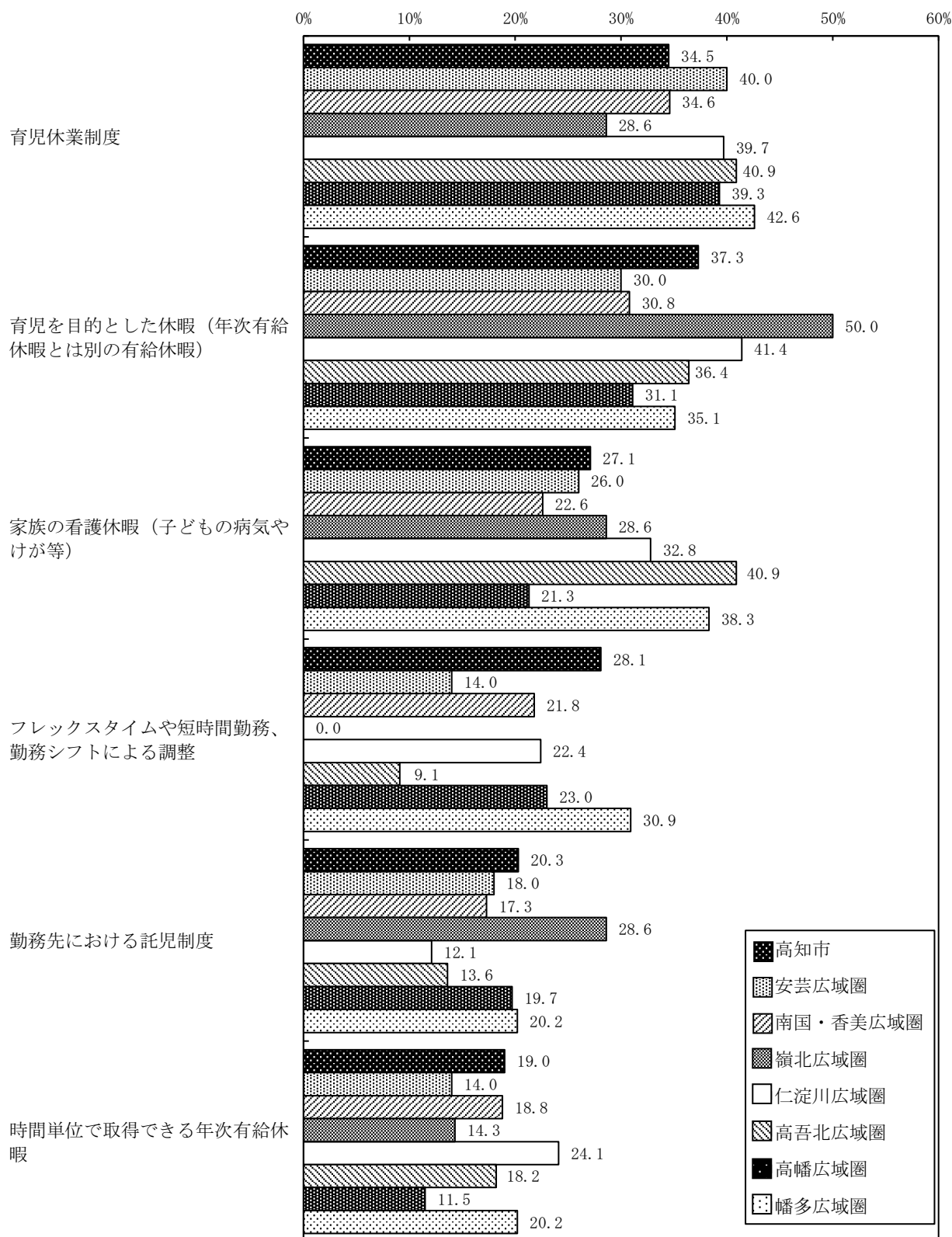
≪ 年 代 別 ≫

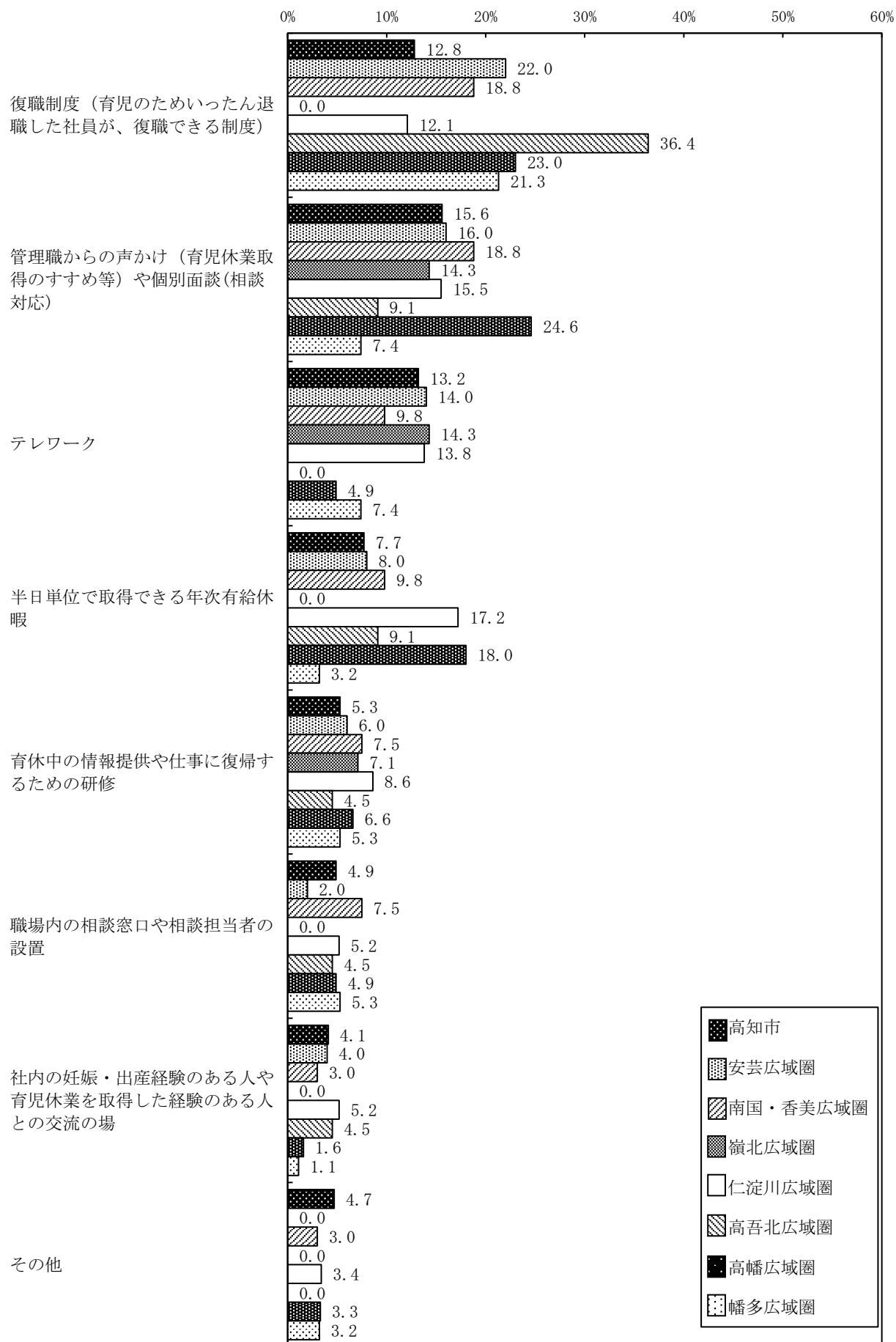


【広域市町村圏別】

高知市、嶺北広域圏、仁淀川広域圏では「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が、安芸広域圏、南国・香美広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「育児休業制度」また、嶺北広域圏では「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が同率で最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

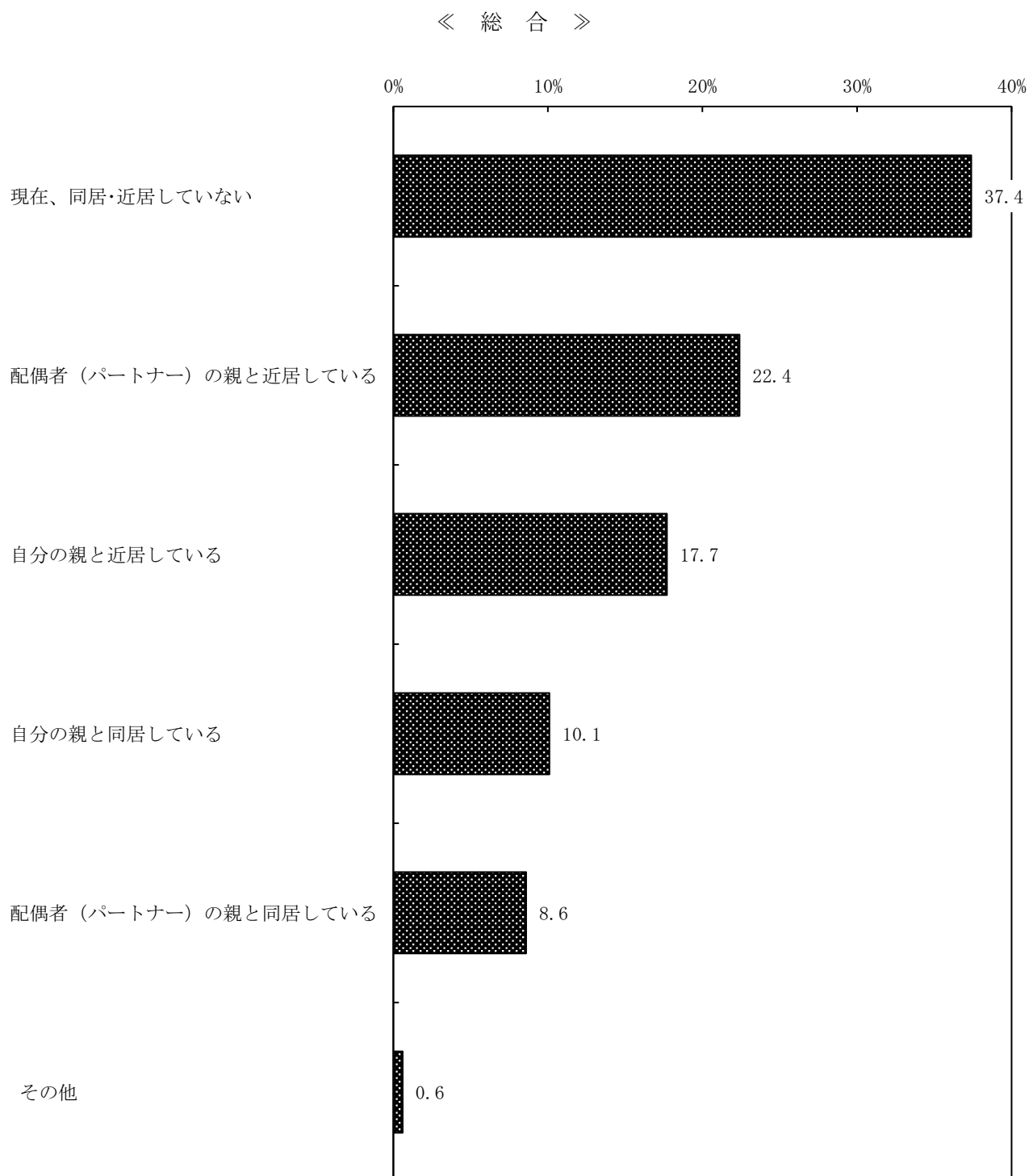




【5. 三世代同居・近居について】

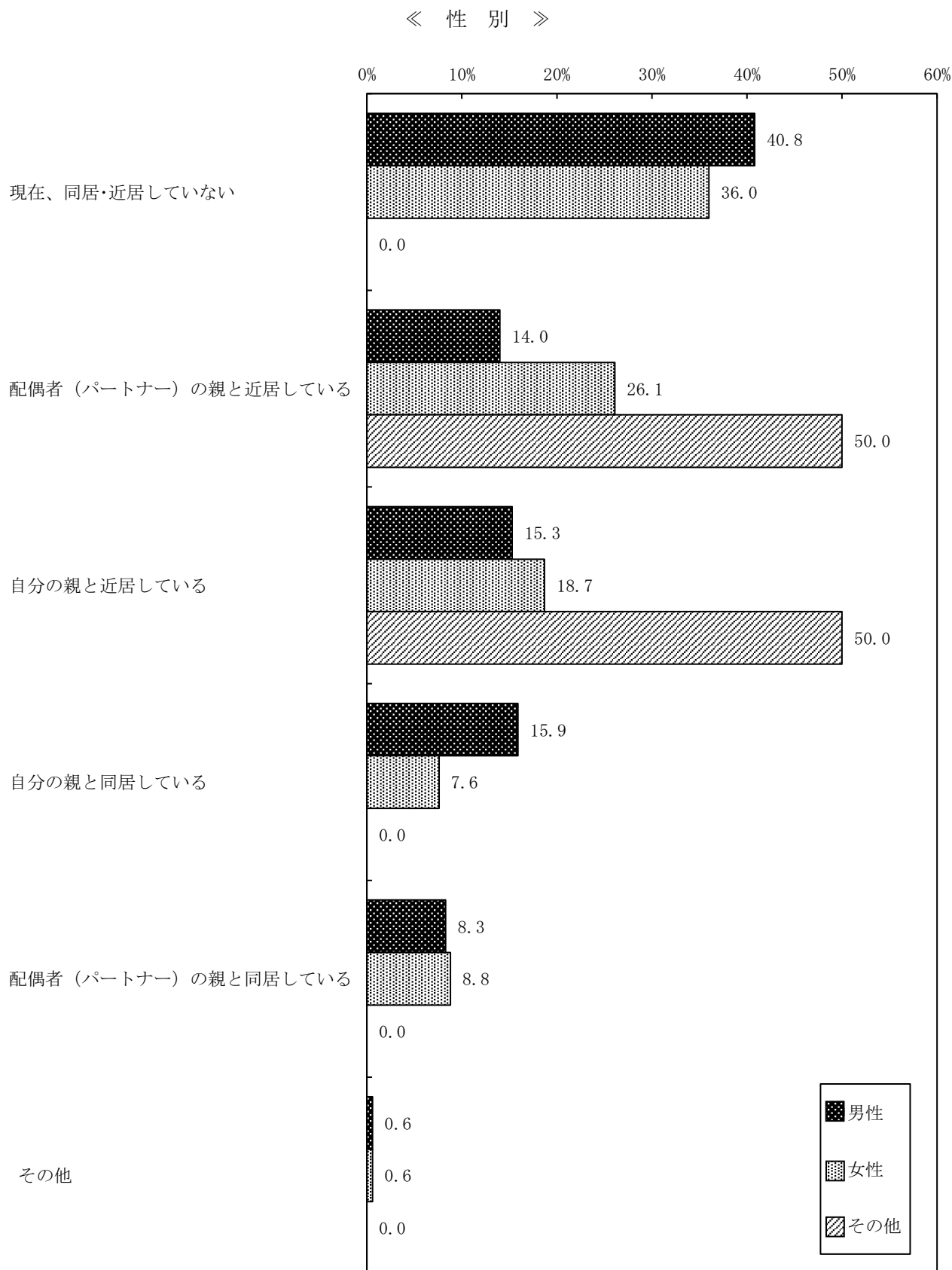
問 18 あなたは現在、自分又は配偶者（パートナー）の親と同居・近居していますか。
（あてはまるもの全て○印）

「現在、同居・近居していない」が37.4%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）の親と近居している」22.4%、「自分の親と近居している」17.7%と続いている。



【性別】

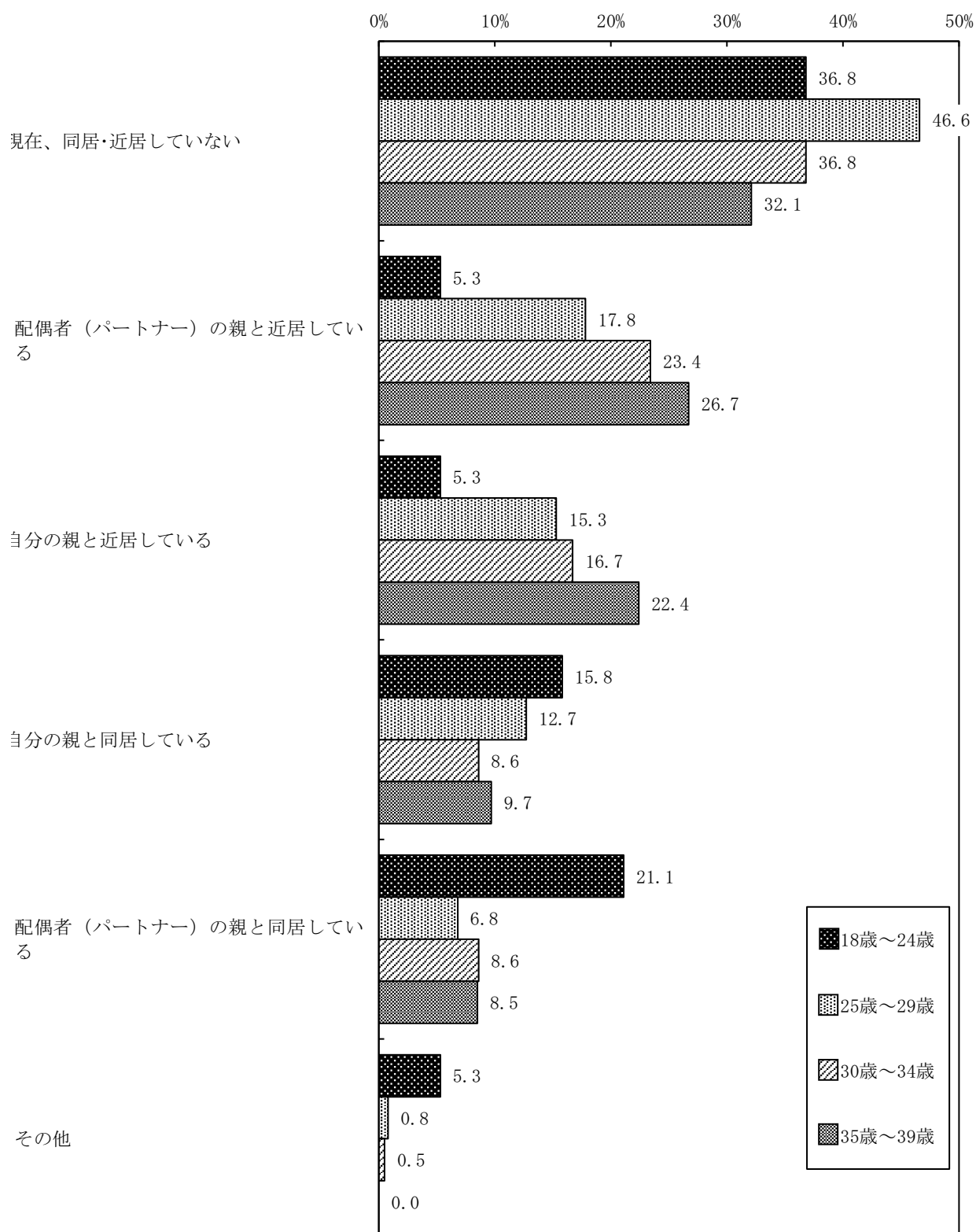
男女ともに「現在、同居・近居していない」が最も高くなっている。また、男性では「自分の親と同居している」が、女性では「配偶者（パートナー）の親と近居している」が二番目に高くなっている。



【年代別】

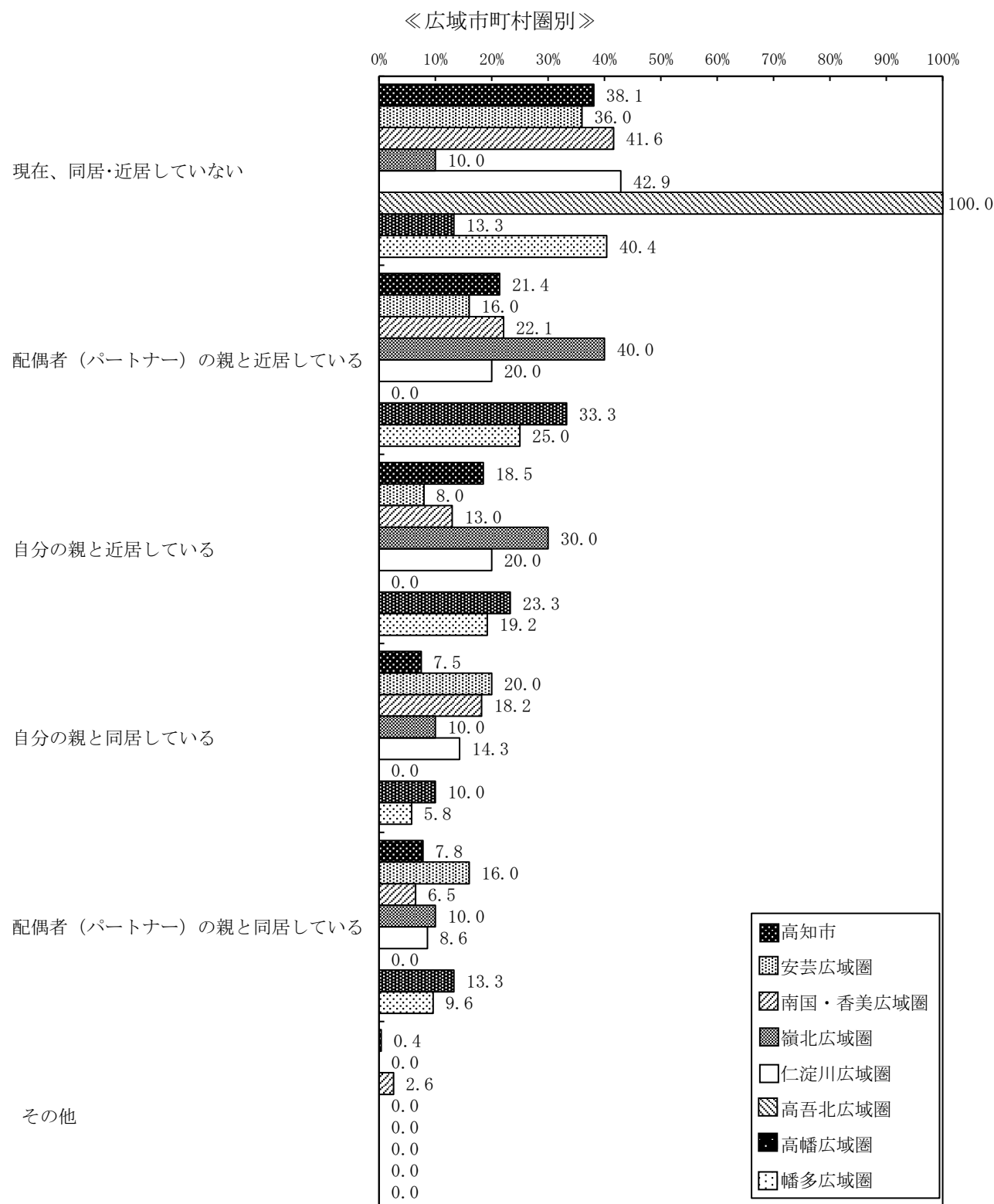
全ての年代で「現在、同居・近居していない」が最も高くなっている。

≪ 年 代 別 ≫



【広域市町村圏別】

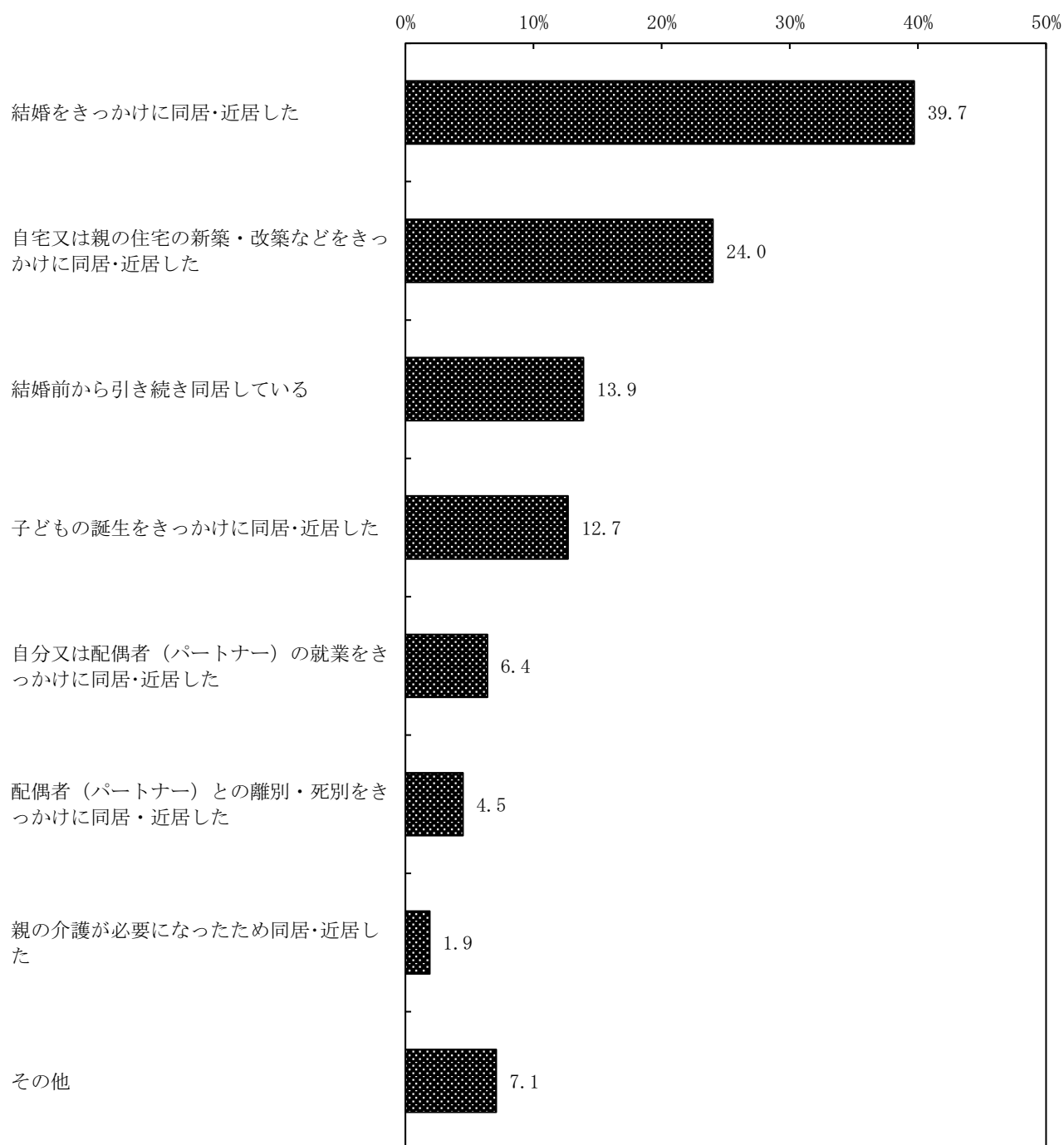
高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏では「現在、同居・近居していない」が、嶺北広域圏、高幡広域圏では「配偶者（パートナー）の親と近居している」が最も高くなっている。



問 19 問 18 で、現在、自分又は配偶者（パートナー）の親と「同居・近居している」と回答した方のみお答えください。
あなたが、同居・近居したきっかけは何ですか。（あてはまるもの全て○印）

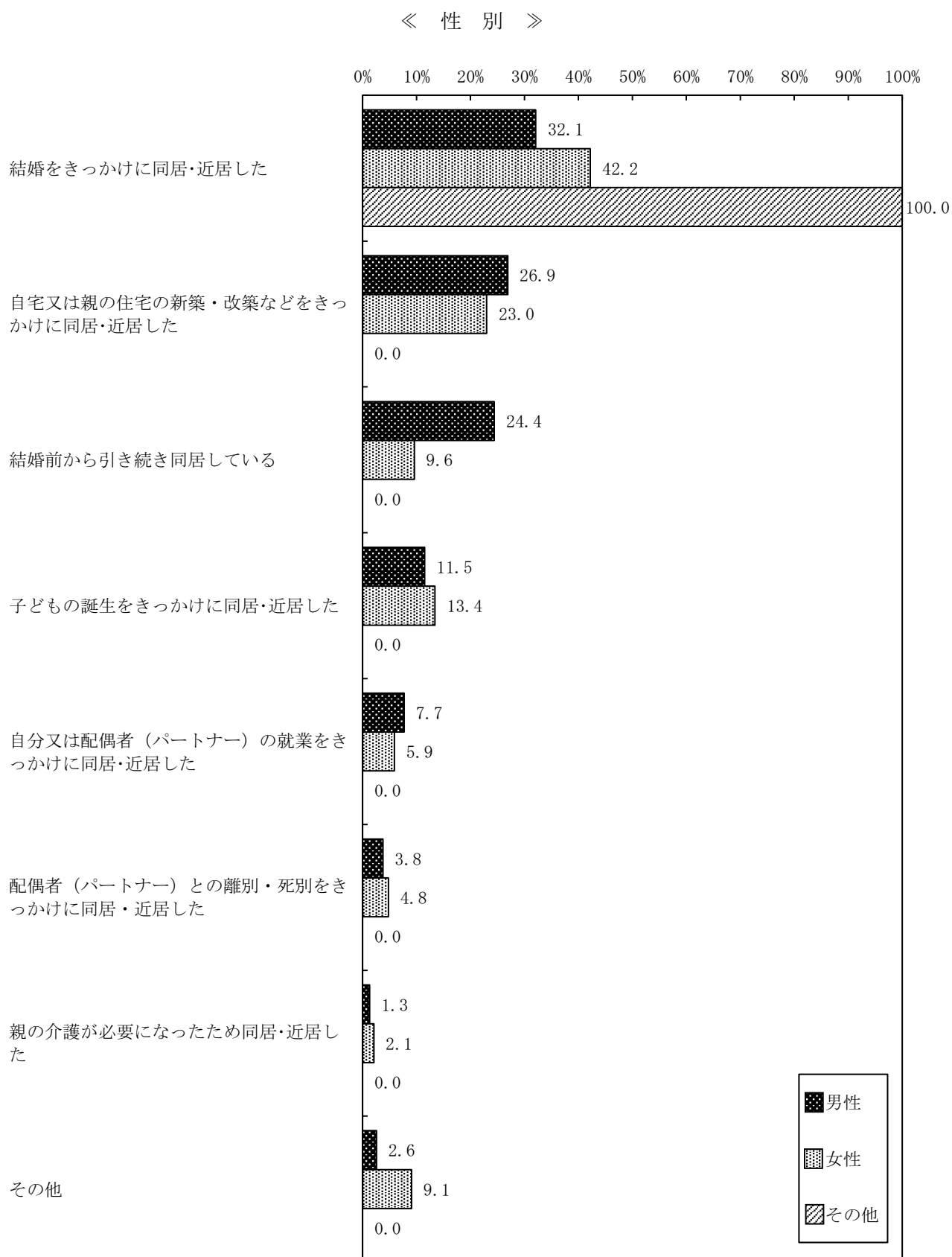
「結婚をきっかけに同居・近居した」が 39.7%と最も高く、次いで「自宅又は親の住宅の新築・改築などをきっかけに同居・近居した」24.0%、「結婚前から引き続き同居している」13.9%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

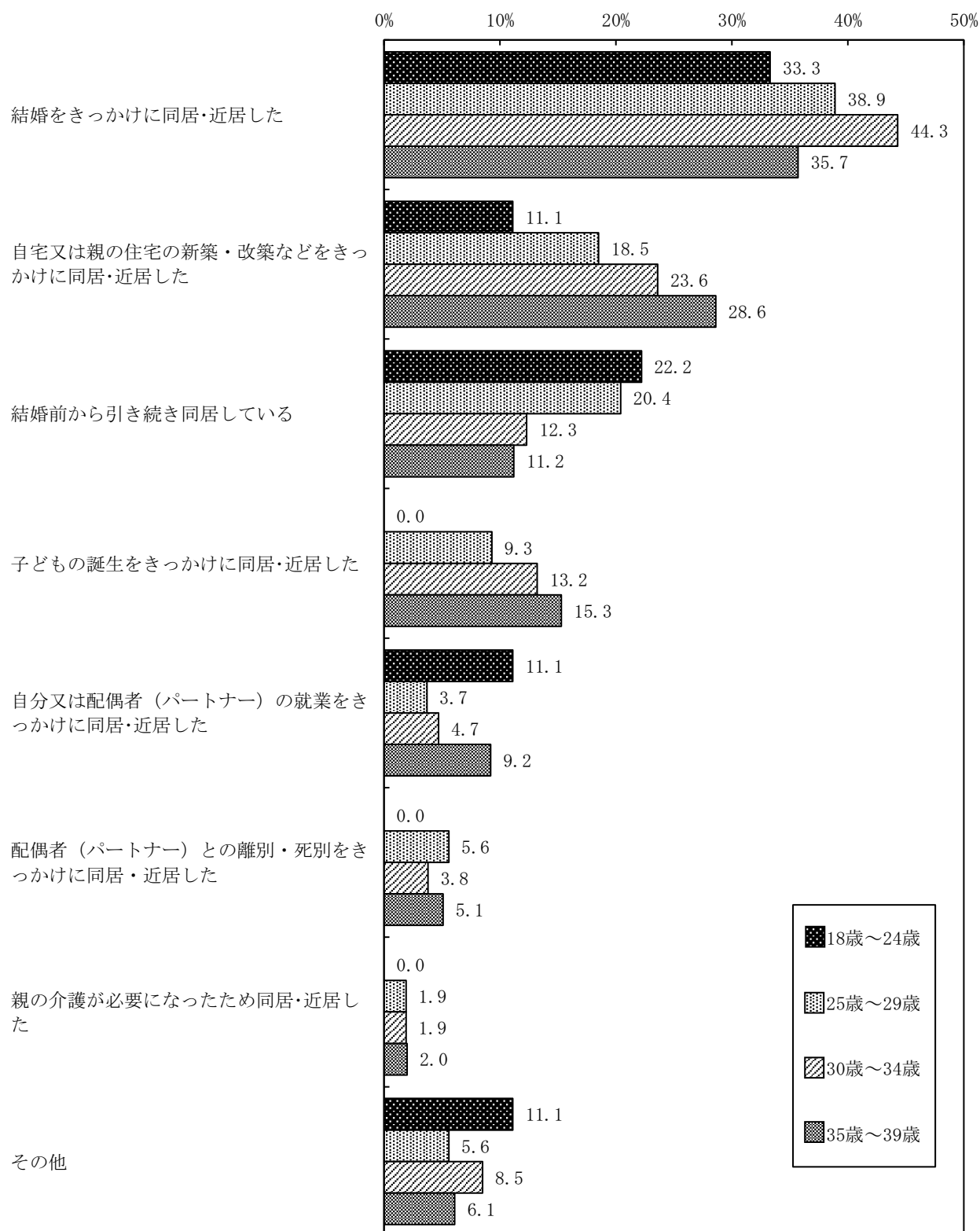
男女とも「結婚をきっかけに同居・近居した」が最も高くなっている。



【年代別】

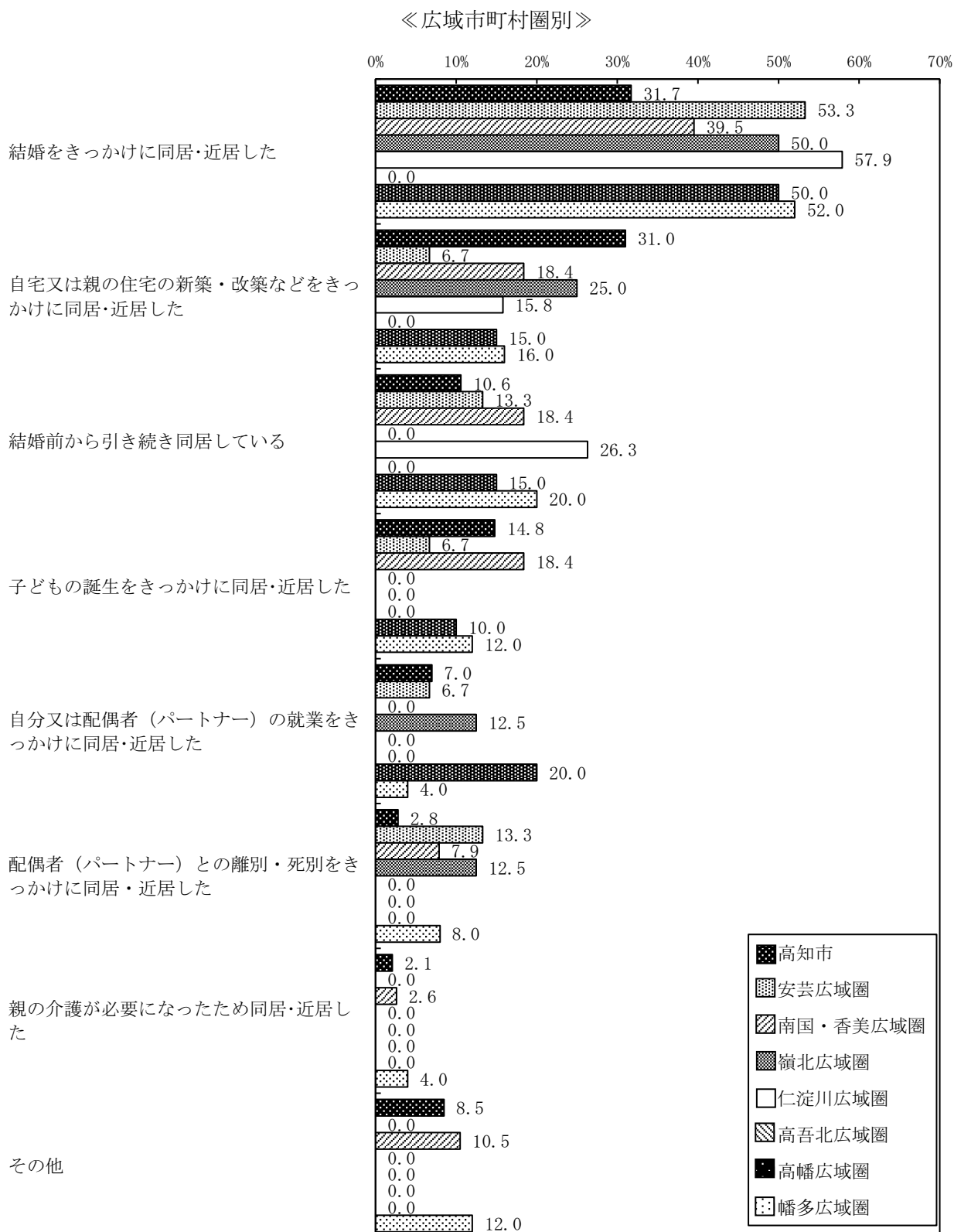
全ての年代で「結婚をきっかけに同居・近居した」が最も高くなっている。また、18歳～24歳、25歳～29歳では「結婚前から引き続き同居している」あ、30歳～34歳、35歳～39歳では「自宅又は親の住宅の新築・改築などをきっかけに同居・近居した」が二番目に高くなっている。

《 年 代 別 》



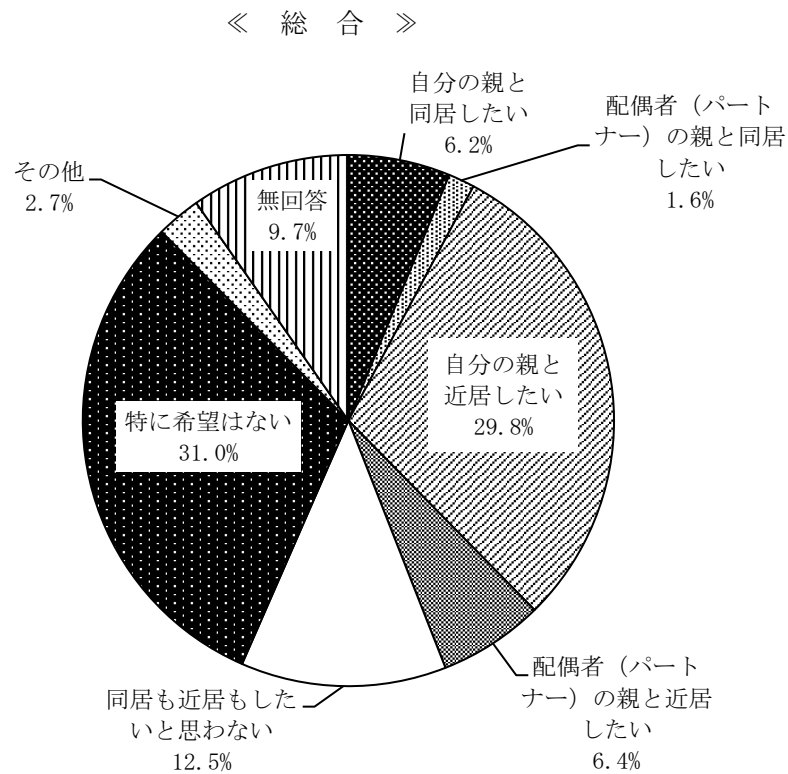
【広域市町村圏別】

全ての広域市町村圏で「結婚をきっかけに同居・近居した」が最も高くなっている。また、高知市は「自宅又は親の住宅の新築・改築などをきっかけに同居・近居した」が同率で最も高くなっている。



問 20 出産後の住まいについて、あなたはどのように思いますか。
あなた自身の考え方に最も近いものをお選びください。（1つだけ○印）

「特に希望はない」が31.0%と最も高く、次いで「自分の親と近居したい」29.8%、「同居も近居もしたいと思わない」12.5%と続いている。



【性別】

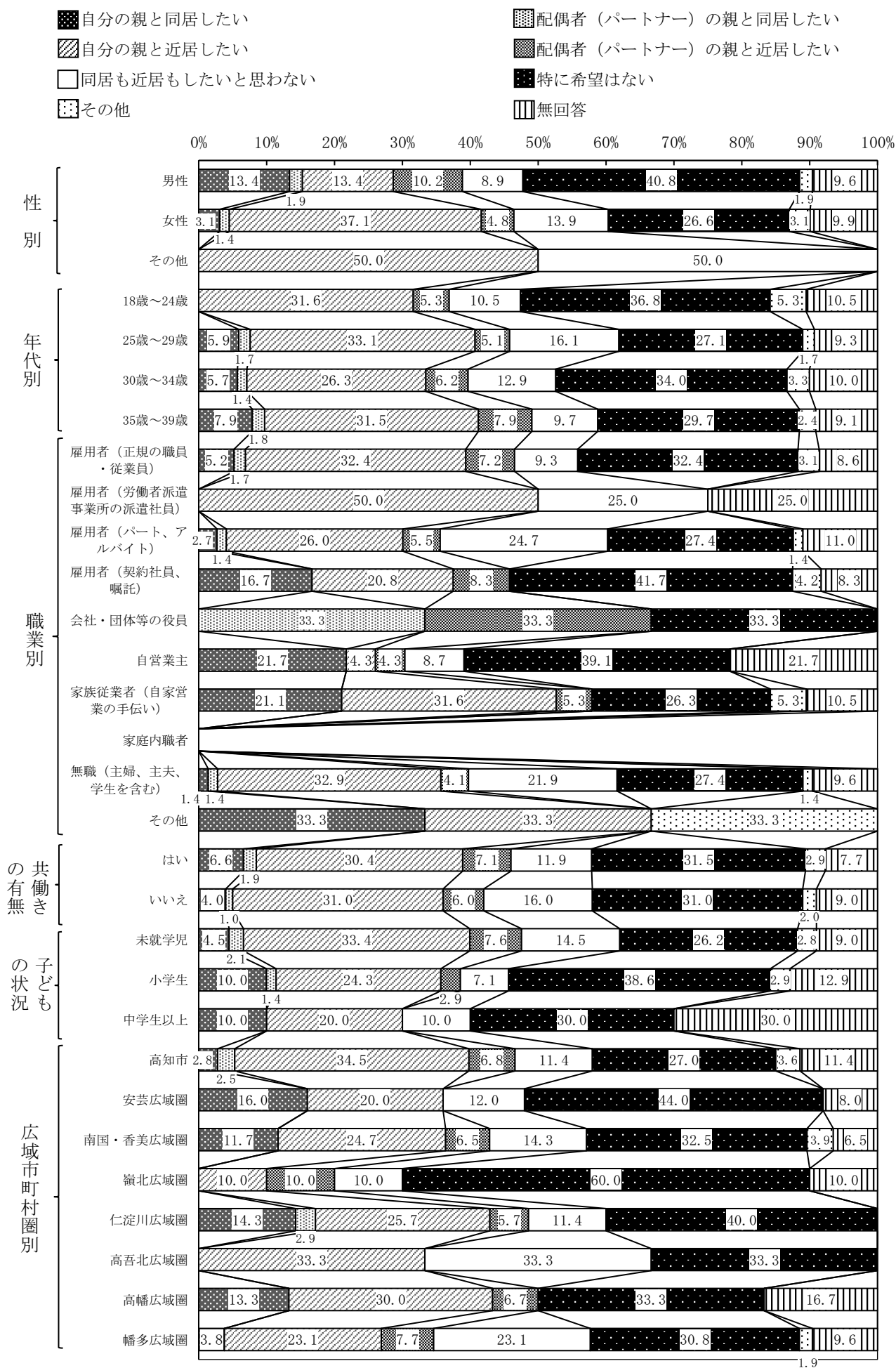
男性は「特に希望はない」が、女性では「自分の親と近居したい」が最も高くなっている。

【年代別】

18歳～24歳、30歳～34歳は「特に希望はない」が、25歳～29歳、35歳～39歳では「自分の親と近居したい」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市では「自分の親と近居したい」が、高知市を除く全ての広域市町村圏で「特に希望はない」が最も高くなっている。また、高吾北広域圏では「自分の親と近居したい」、「同居も近居もしたいと思わない」が同率で最も高くなっている。

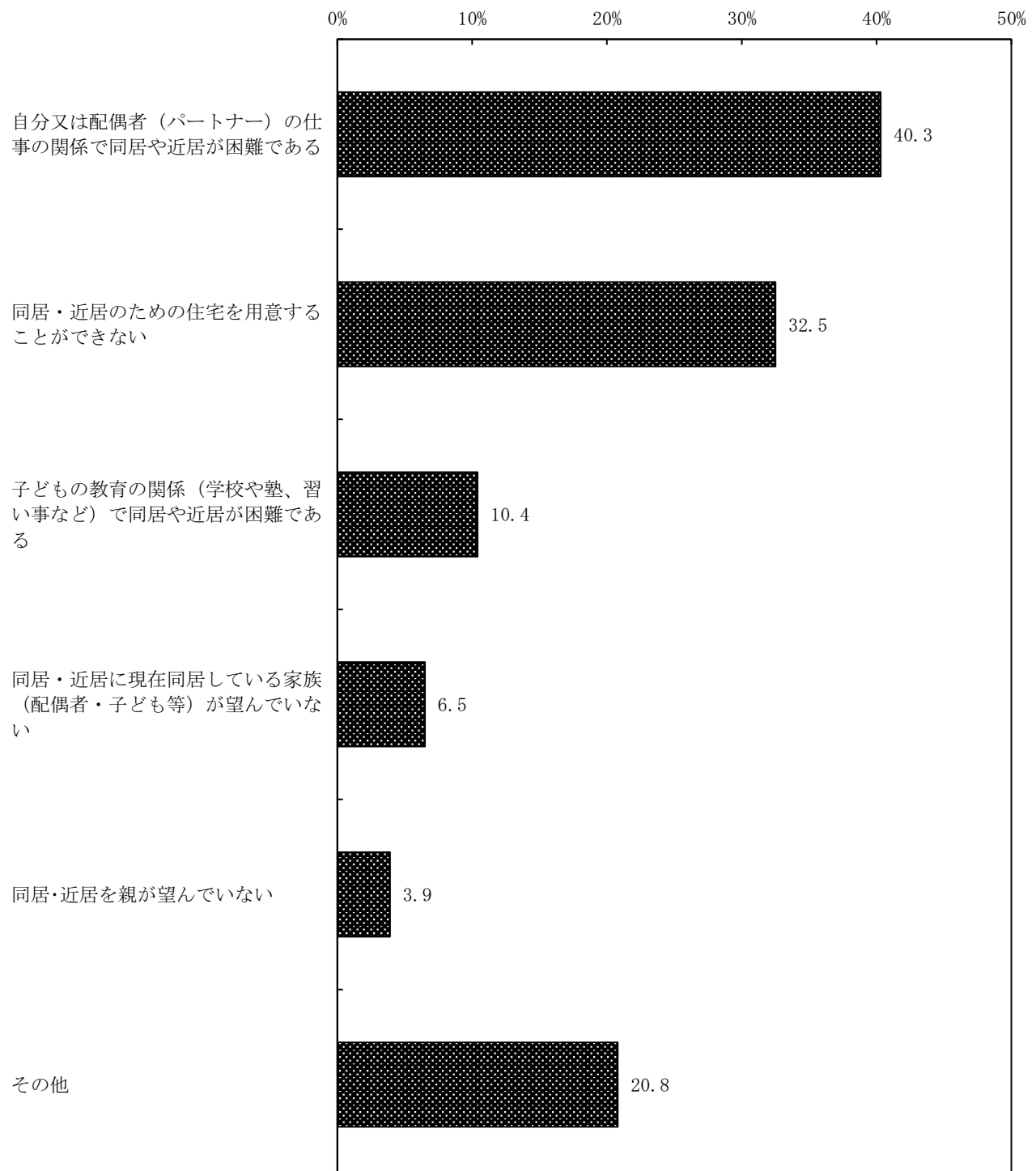


問 21 問 18 で、「5. 現在、同居・近居していない」と回答し、かつ問 20 で、自分又は配偶者（パートナー）の親と「同居したい」又は「近居したい」と回答した方のみお答えください。

自分又は配偶者（パートナー）の親と同居・近居したいと思うのに、現在、実現していないのはなぜですか。（あてはまるもの全て○印）

「自分又は配偶者（パートナー）の仕事の関係で同居や近居が困難である」が 40.3%と最も高く、次いで「同居・近居のための住宅を用意することができない」32.5%、「子どもの教育の関係（学校や塾、習い事など）で同居や近居が困難である」10.4%と続いている。

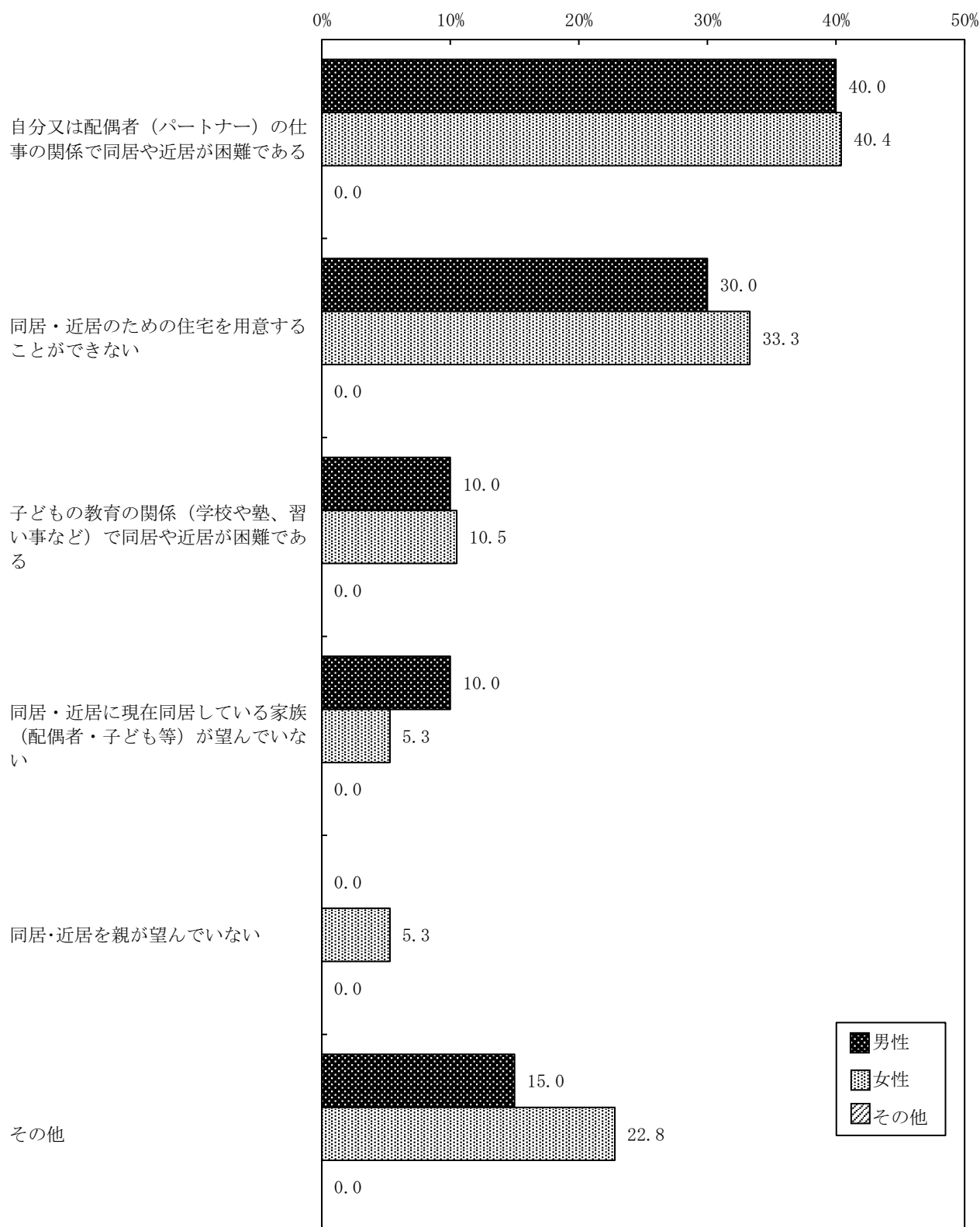
《 総 合 》



【性別】

男女とも「自分又は配偶者（パートナー）の仕事の関係で同居や近居が困難である」がない」が最も高くなっている。

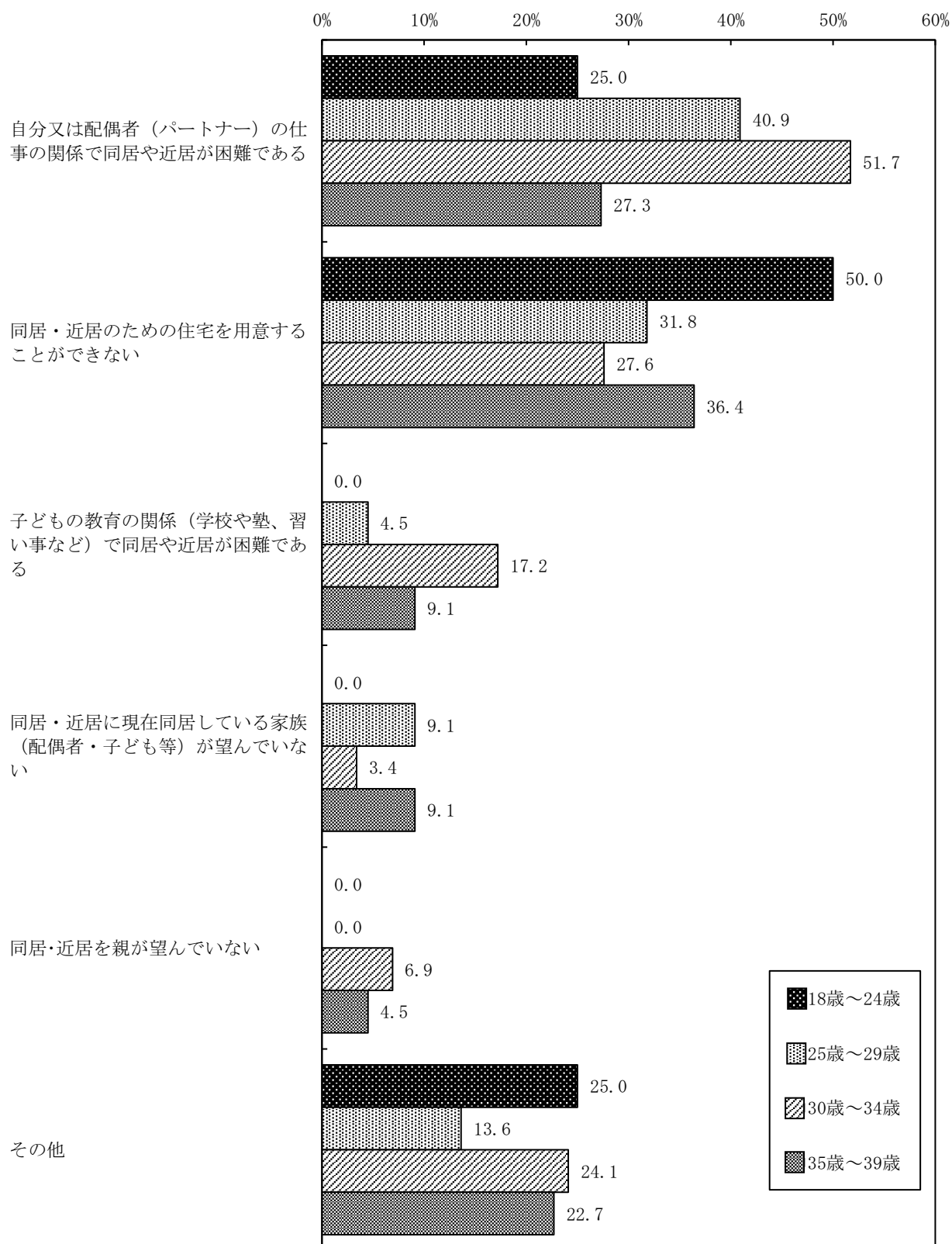
＜ 性 別 ＞



【年代別】

18歳～24歳、35歳～39歳では「同居・近居のための住宅を用意することができない」が、25歳～29歳、30歳～34歳では「自分又は配偶者（パートナー）の仕事の関係で同居や近居が困難である」が最も高くなっている。

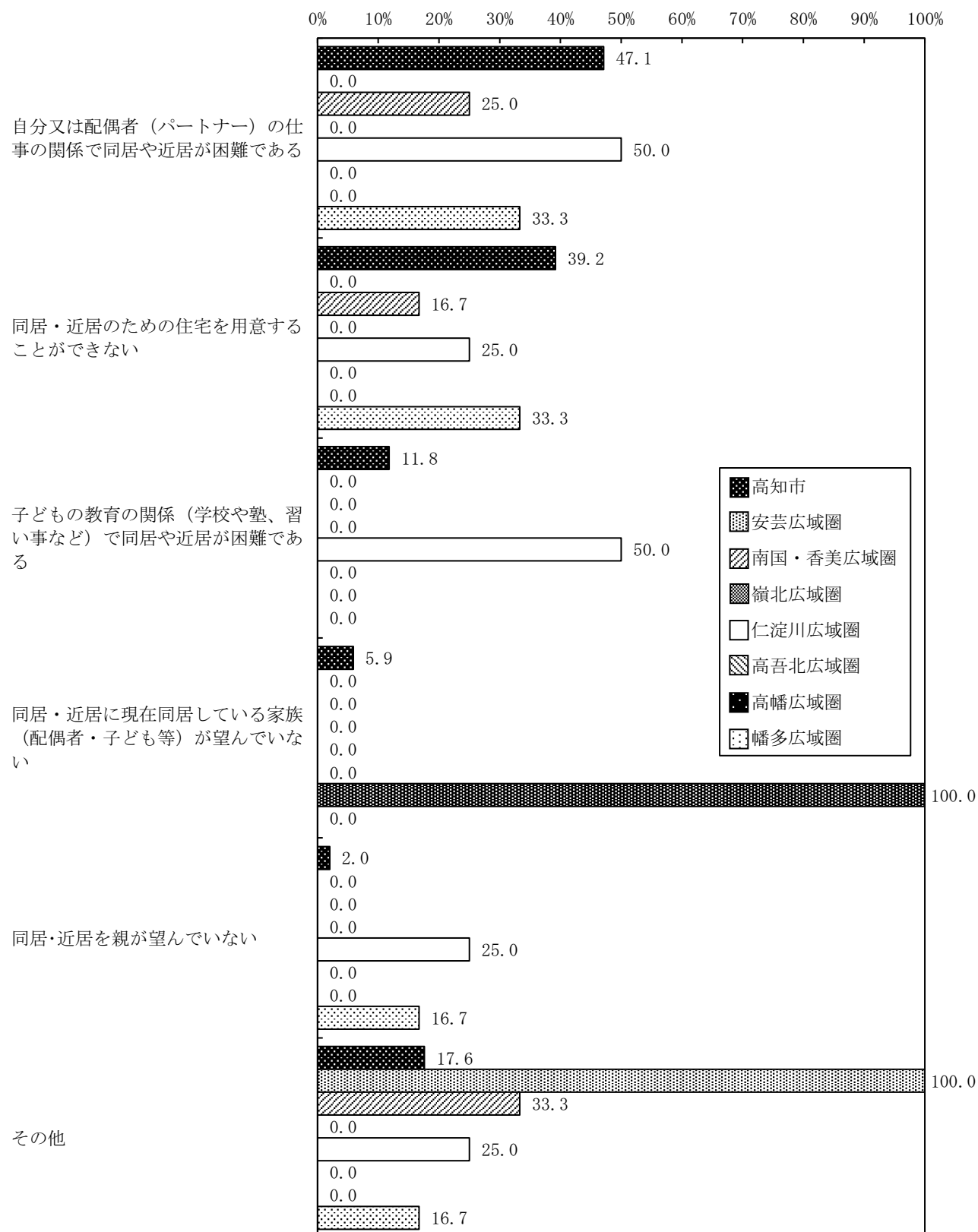
≪ 年 代 別 ≫



【広域市町村圏別】

安芸広域圏、南国・香美広域圏では「その他」が、高幡広域圏では「同居・近居に現在同居している家族（配偶者・子ども等）が望んでいない」が、高知市、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「自分又は配偶者（パートナー）の仕事の関係で同居や近居が困難である」が最も高くなっている。また、幡多広域圏では「同居・近居のための住宅を用意することができない」が同率で最も高くなっている。

《広域市町村圏別》



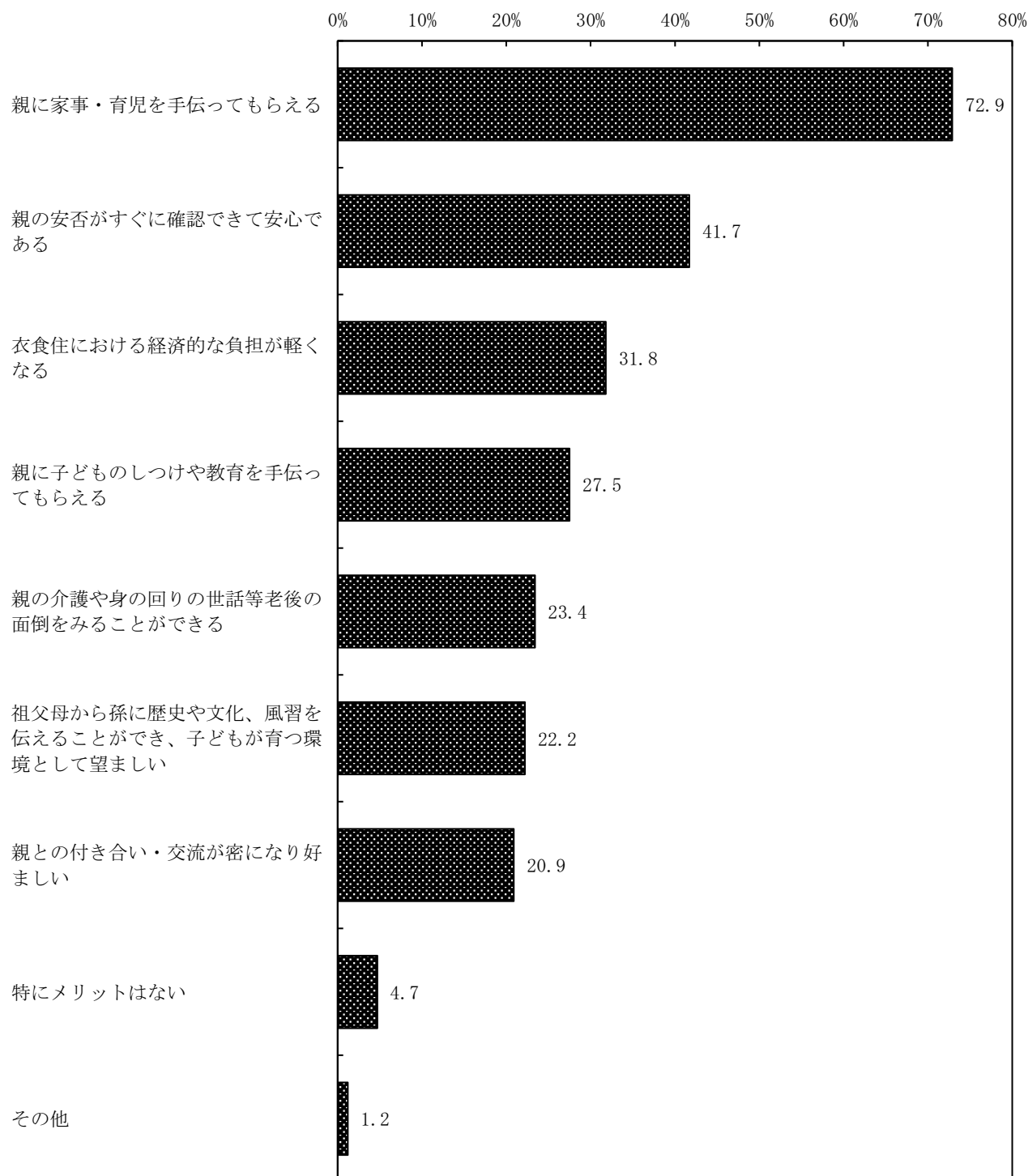
問 22 親と同居・近居するメリットは何だと思いますか。

* 現在は同居・近居していない方も、イメージでお答えください。

(あてはまるもの全て○印)

「親に家事・育児を手伝ってもらえる」が 72.9%と最も高く、次いで「親の安否がすぐに確認できて安心である」41.7%、「衣食住における経済的な負担が軽くなる」31.8%と続いている。

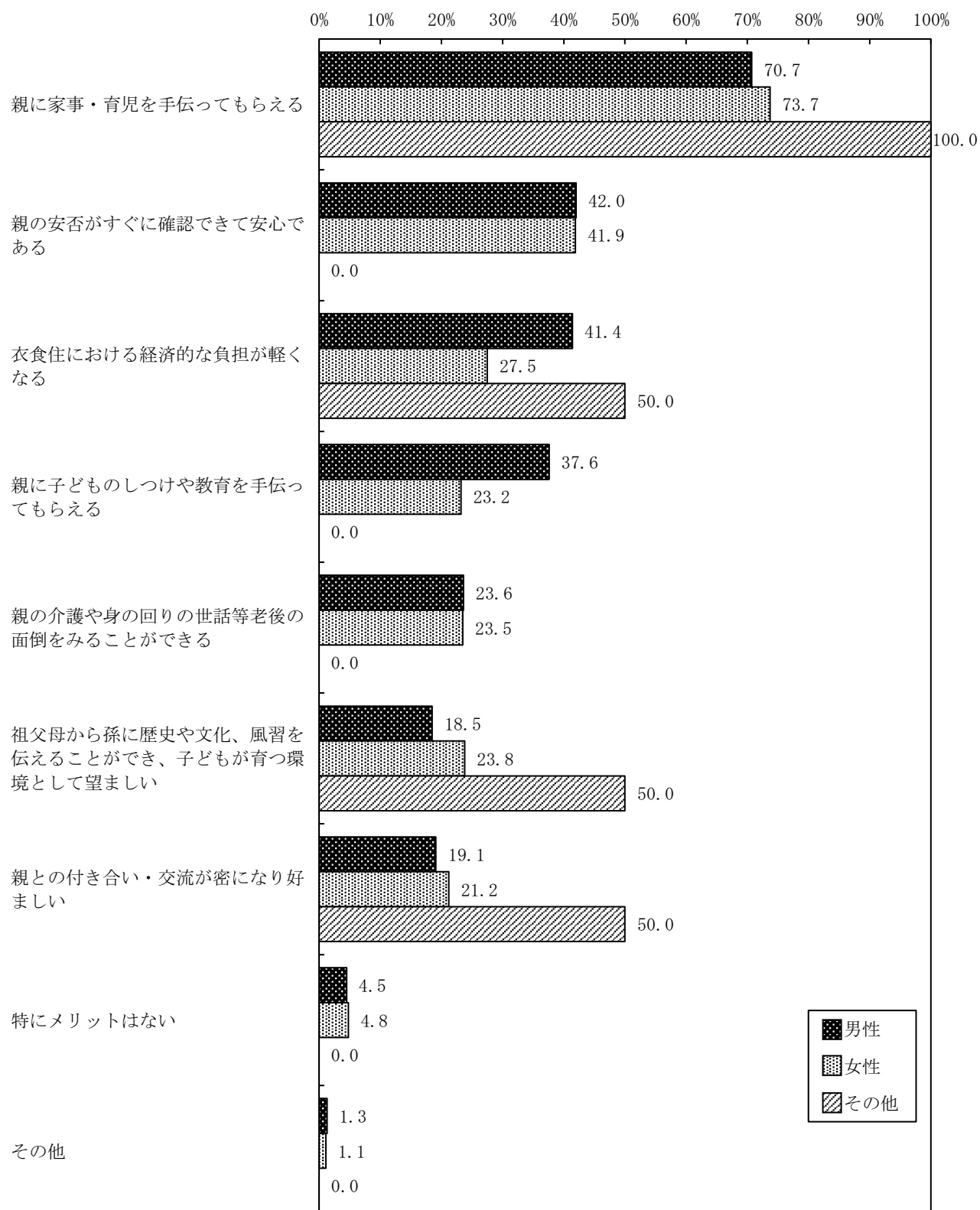
《 総 合 》



【性別】

男女とも「親に家事・育児を手伝ってもらえる」がない」が最も高くなっている。

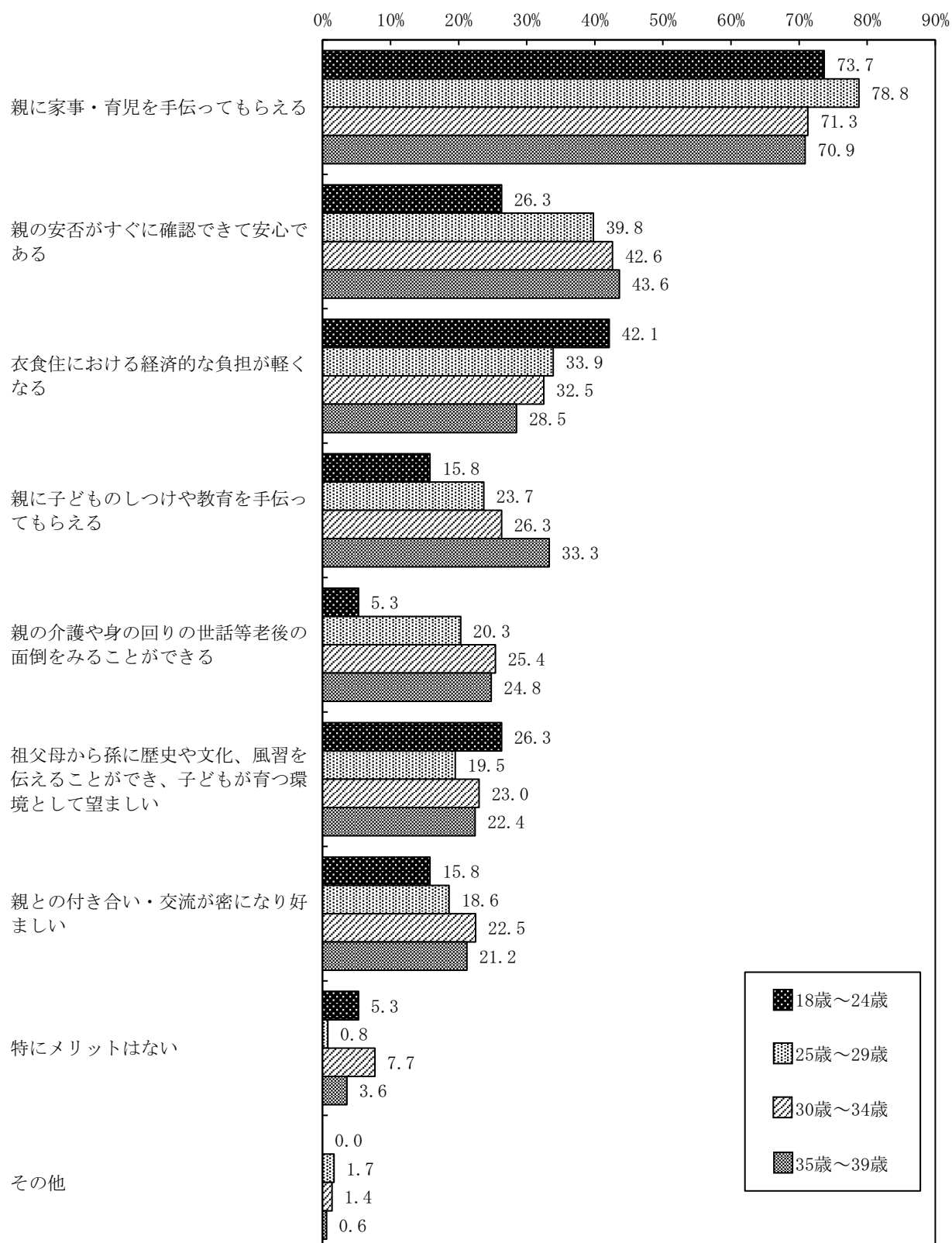
≪ 性別 ≫



【年代別】

全ての年代で「親に家事・育児を手伝ってもらえる」が最も高くなっている。

＜ 年 代 別 ＞



【広域市町村圏別】

高吾北広域圏を除く全ての広域市町村圏で「親に家事・育児を手伝ってもらえる」が、また、同率での嶺北広域圏と高吾北広域圏では「祖父母から孫に歴史や文化、風習を伝えることができ、子どもが育つ環境として望ましい」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

